

285
2
1

茗 溪 會
讀 物 調 查 部 推 薦

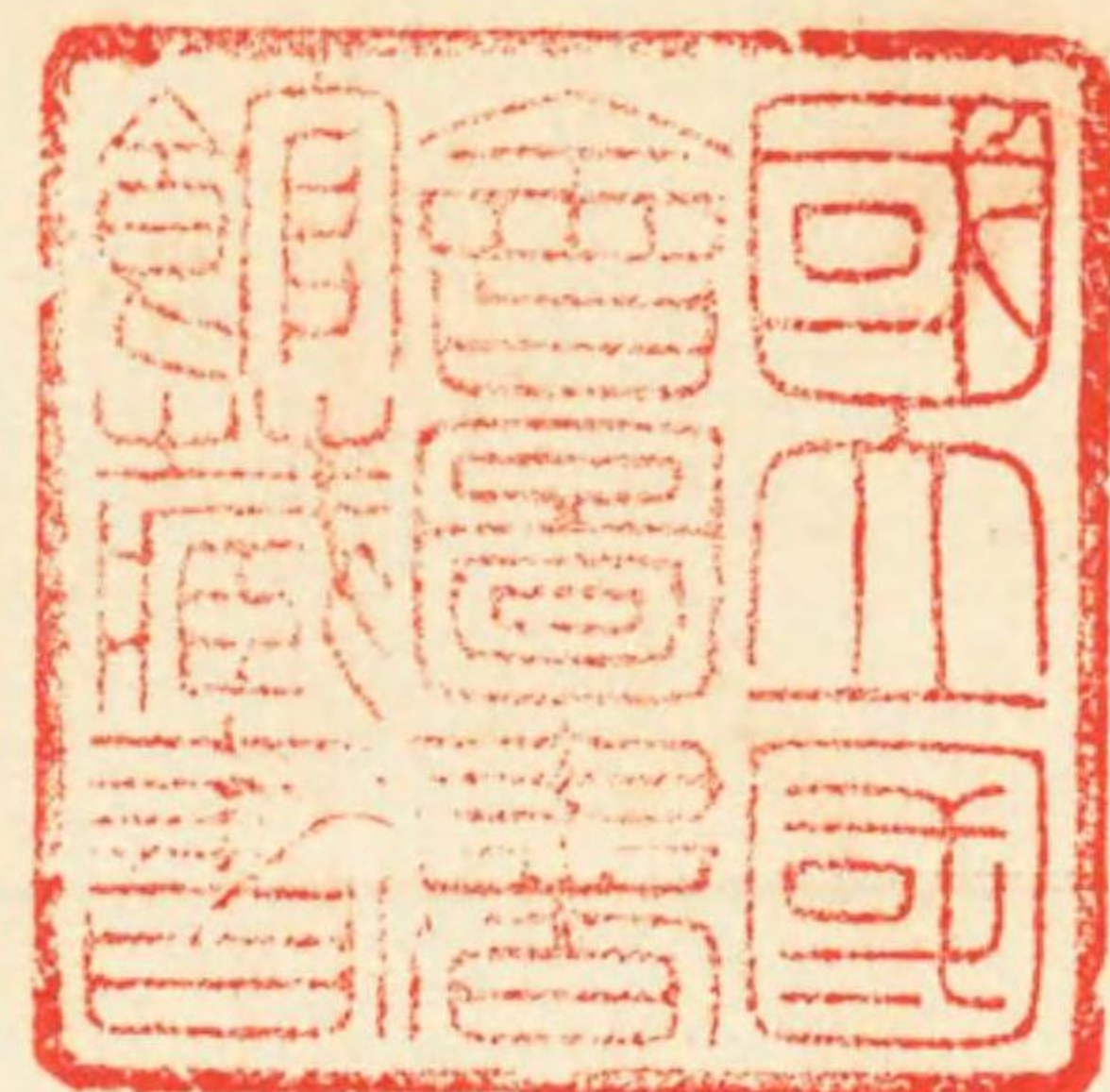
優 良 圖 書 一 覽

東 京
昭 和 出 版 社

茗 溪 會
讀 物 調 查 部 推 薦

優 良 圖 書 一 覽

東 京
昭 和 出 版 社



謹告

本書に掲出されたる書物は勿論、何處發行の物にても、弊社へ御注文を下さいますれば、御便宜のため、前金御送の方に限り、取揃御送本申上ます。

注意

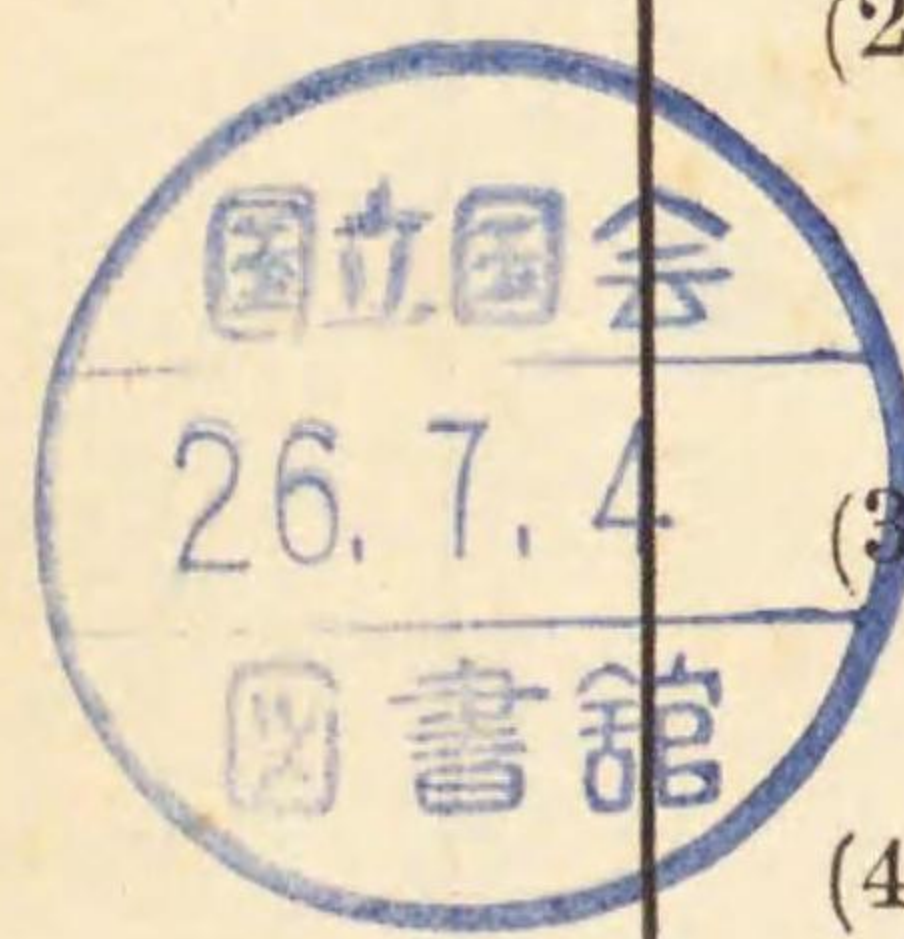
- (1) 御注文は、必ず定價に送料加算御送金下されし方に限ること。
- (2) 御送金は振替東京六四三二八番へ。
振替用紙裏面の通信欄には著者・書名・發行所等精しく御認めのこと。
- (3) 大正十二年、大震災前のものには、絶版・定價改正等、多かるべきこと。
- (4) 御照會は、必ず往復はがき、又は郵券御封入のこと。

東京麹町區飯田町六丁目十二番地

昭和出版社

振替東京六四三二八番

238363



028. M4485y(2)

序言

およそ良書が得られなければ讀まないに如くはない。又不適當な書は子弟をして之を手にしめないので却つて策の得たものである。蓋し、讀書の影響は甚大なものがあるからである。今や毎日刊行せられる書籍は極めて多數に上るがその中で取捨し選擇することは極めて困難なことに屬し、世の父兄はその子弟の爲に、又多くの教育家はその教へ子の爲に、適當な讀物を選定するに常に頭を悩まして居る所である。

わが茗溪會はこゝに着眼し、大正二年七月三十一日普通教育振興事業の一つとして讀物調査會を創設して、此の有用で而かも極めて困難な事に自ら當り、聊かわが國の教育界に貢獻するを念として今日に及んで居る。本調査會の目標は最初、少年讀物のみに限つて居たが、大正七年十二月から、その範圍を擴張して一般讀物に及ぼし、更に一昨年茗溪會に研究部が設けられ本會をその一部に編入するに至つて、教育圖書についても調査することゝした。調査すべき圖書は調査の嚴正を期する爲に寄贈を受けないことを本體として

毎月數十冊を購入し、それに特に調査を希望して來たものを加へて、嚴密に調査選擇することゝして居る。

本會の調査員として依頼したのは總て在京の茗溪會員で、實際教育家又は教育に深い理解のある人々のみである。而して各委員の専門とする所に従つて分擔を定め、毎月一回づゝ會議を重ね、慎重審議して世にすゝめるべきものとさうでないものとを區別し、その結果は之を本會の機關雜誌「教育」に登載する外、毎月別刷數百部を各方面の要求に應じて無代を以て配布して來た。而して今までに配布した別刷の延べ數は實に數萬部に達して居る。然るに従來配布した別刷も品切になつたに拘はず尙多くの要求があるので、本會は此の事業の精神を徹底せしめる趣旨から、こゝに大正二年から昭和三年までに發表したものゝ字句を更訂し、一冊にまとめて世に公にすることゝした。時恰も 今上陛下御即位の御大典を舉げられる年に際會し奉り、本會としては最も意味のある記念出版とすることが出來たことは、無上の

光榮としてよろこぶ次第である。此の後も第二輯第三輯と續々出版して、各種の學校・團體・圖書館、及び一般家庭に於ける圖書選擇上の指針たらしめんことを期して居る。

本書は主として從來長い間委員の任にある東京高等師範學校教諭田口福司朗、東京帝國大學司書畠山源三、本會書記石黒修の三氏の盡力によつて編輯せられたものである。われ等は右三君の勞を多謝すると共に、尙本會の調査委員として前から盡力していただいた諸君に對しても亦感謝の意を表さなければならぬ。本書は實に此等委員諸君の献身的努力の結晶である。

こゝに本書を出版するに當つて、本會事業の經過と本書編纂の由來とを述べて序に代へる次第である。

昭和三年十月三十日

茗溪會研究部主事

田 中 寛 一

例

言

1. 書名を「優良圖書一覽」としましたが、其の優良圖書と云ふのは専ら我が若溪會讀物調査部で調査した範圍内の物に就いての事であり、而も本書には特選・推薦・紹介の三段の物を總て含めましたけれども、此等三段を區別する爲の符號は附けませんでした。
2. 本書に於て少年書類時代、讀物調査時代と分けてゐるのは、前者は少年書類だけに範圍を止めて一般圖書に及ばなかつた時分のもので、從つて偶々一般圖書を取扱つたのは附記として居り、後者は範圍を一般圖書に擴めて以後のものであります。
3. 多數の調査委員が多年に亘つて書いたものを一冊に編纂した爲に、文體其の他に於て統一を缺く處あり、殊に始の頃の批評は殆ど文語體であるのに、中頃からは多く口語體になつて居りますが、これは何れも原の形に従つた爲であります。
4. 種類は實用を主として分けました。程度は大體學校教育を標準にしました。索引は種類分けにして書名を調査の年代順に配列しました。これは書籍購入者の便を主としたのであります。
5. 書名・著者名・發行所・定價・書型等に多少の異同があるかも知れません。又初版か再版か等を示しかねた

のもあります。

6. 組方は審議の結果横組にしました。事務上の便利を思つて別に他意あるわけではありません。

7. 其の他本書の體裁や字句の使用等に就いても編輯者の責任上遺憾に思ふ點があり、特に讀者諸君の冷靜なる批評に待つべきものもあることと思ひます。

忌彈なき御批評を願ひます。猶委しくは巻尾にある「編者の言葉」を御一覽下さい。



優良圖書一覽

第一編 少年書類時代

第 1 回 (大正二年九月より同三年二月に至る)

1 人の運 大町桂月著

初版 1冊 1.20 日本橋區本石町二 至誠堂

大町氏の著書は少しく多きに過ぐるの感あり。「も少し推敲して重厚なる著書を出されては……」と考へらるゝふしなきにしもあらずと雖も、本書はそれ等のものとは選を異にし、頗る面白く、近來の傑作として推薦するに足る。内容は「人の運」の來る所以と、去る所以とを、數多の實例によりて、趣味多く論述したるものにて、青年にとりて教訓となる點少なからず。(中等中級、讀物)

2 兵兒の國 平野秋來著

初版 1冊 0.95 本郷區本郷一丁目 日本堂

内容に於ては薩南健兒の教育氣風あらはれ、文章亦相應の出來なり殊に花田中佐鬼邊見の忘れかたみ等面白し。唯少年讀物としての本書の缺點は、男色に關すること及び人膽取り等の記事あることなるべきも、これとても、之あるが爲に本書の閱覽を禁ぜんとするほどのものにはあらず。(中等中級以上、雜)

3 山中鹿之助 笹川臨風著

初版 1冊 1.10 本郷區元町二 中央書院

少年讀物として、上乘のものにあらずと雖も、忍耐強き山陰の英雄

を傳し、感奮せしむる所あり。其の一字下げたる考證的の部分は、著者の骨折としては感すべきも、讀物としては少年の感興を殺ぐの憾み往々にしてあり。(中等上級、傳記)

4 農村と娛樂 天野藤男著

初版 1冊 1.30 麹町區麹町二ノ二 洛陽堂

地方改良事業に熱心なる著者が、農村と娛樂とにつきての所見を綴りて一冊となせるもの、田園生活の趣味多きを説きて餘蘊なし。唯往々わざとらしき節あるは微瑕といふべきか。青年少年の讀物としては興味多き方にはあらず。されば農村に於ける先覺者に薦奨して其の地方改良上の参考に資せしむるには適當の書なり。内容につきては非難すべき點を見出さず。唯實際の農村には不可能にあらずやと頷かるゝ案も間々含まる。(中等、雜)

第 2 回 (大正三年二月二十七日)

5 一日一善 山本瀧之助著

初版 1冊 0.55 麹町區麹町二ノ二 洛陽堂

これといふ程の事もなければ、文章如何にも平易にして、相當に人を引きつくる力あり。「善は小なりとて爲さざる勿れ。」の主義にて、日常何人にも行ひ易き善行を實行することを勧むる旨意なれば、少年殊に地方の少年などに至極適當なる修養書なるべし。此の書を読みたる結果、日々の些細の事より氣をつけて、次第に善行を勵むといふ事にならんか。學生には兎に角、特に地方の少年に勧めたし。但し、日記體の部は、修身訓話の卑近なる例を斷片的に並べたる如くにて、少年には興味少かるべし。(初等上級以上、修養)

6 六十年 村上專精著

初版 1冊 0.90 小石川區原町六 丙午出版社

本書は、一名を「赤裸々」と題し、博士が六十一年間の懺悔話經歷談等を赤裸々に記述したる一の回顧録なり。換言すれば、師が貧困より身を起したる苦學史なり、奮闘史なり。されば、書中幾多青年の教訓となり、或は青年をして奮起せしむるに足る記事あり。文章亦明快青年の讀物に推薦するに足らん。而して、前の大部分は、中等學校の

初年級にも會得し得べき材料なれど、終の部分は、師獨得の教政論ともいふべきものなれば、中學の上級にても、這般の空氣に遠き者には、聊か興味湧き難からんか。されど、普通の宗教家の如く無理に脱俗的にせる處なくて、生き生きしたる所よし。(中等中級以上、雜)

7 大西郷秘史 田中萬逸著

初版 1冊 1.20 小石川區三軒町 武俠世界社

著者は可なり苦心して書きたるものなるべく、文章は言文一致體にて嫌味なし。大西郷の銅像を上野に建てたる如きは感心なり、難きことにて「此はむしろ撤去したる方宜しからん」との樗牛の意見には賛成なれど、翁の如き無私なる人物の傳記は、今日の如き打算的な世間の空氣中に在る少年には、之を讀ましむるの必要あるべし。大體面白く書き、人物が人物だけに感歎せらるゝ節尠からず。但し地圖を附せざるは缺點にして、又隆盛卿の略歴をも巻頭に附するを可とす。(中等初級以上、傳記)

8 海のロマンス 米窪太刀雄著

初版 1冊 2.00 神田區錦町一ノ一九 中興館

著者が大成丸の練習生として、十五ヶ月間帆船航海をなしたる日記なり。自然・人情・風俗・歴史等を叙し、之に海上生活と自己の感想とを加へ、筆力縦横、詞藻亦見るべきもの多し。唯夏目漱石氏の批評の如くにて、稍書き過ぎたる所あり。又楚人冠氏の批評の如く、英語の發音に正しからざる所あり、地名・人名などにも生徒の學習せるものと一致せざるもの尠からず。而して又、百十一頁、百十九頁、百五十八頁及び其の他諸所に婦人に關する記載あれども、讀物として差支なく、概して淡泊なる書き振りがなれば、好讀物なるべし。(中等上級以上、雜)

第 3 回 (大正三年四月一日)

9 人生是れ戰場 井上圓了著

初版 1冊 1.00 日本橋區檜物町 弘學館

本書は大正國民の心得として、戊申詔書の御聖旨に基きて、平和・人文・國運・協同・勤儉・信義・自彊・一誠等につきて述べたる青年修養訓

にして、我が國の青年は其の天職として、自發自動的に勇進努力して以て國家を富強にせざるべからずとの著者の意見を述べたるものなり。例話其の大部を占め、内外の豊富なる實例を擧げて、中々面白く、而も讀者を發奮せしむる力あり。殊に海外現時の人文の進歩を紹介して我が國の文明が猶甚だ幼稚にして彼に劣ること數等なることを知らしめ、以て國民發奮の自覺を促さんとし、且國民が我が國の文明を過信せる謎を解かんとしたる處等は、是非世の青年に一瞥せしめたし。但し第一段の所説は著者の自慢の如く思はれて快感を與へず。要するに其の所説の通俗的なるは著者自らも自白せる所なるが、著者の希望する如く、全國各府縣の青年會等の讀物として推薦する價值あり。(中等中級以上、修養)

10 白中黃記 内ヶ崎作三郎著

初版 1冊 0.70 京橋區南紺屋町十二 實業之日本社

著者が洋行中見聞したる處のものを、隨筆的に書き綴りたるものにして行文流暢、言文平易に趣味亦多し。他國の人情風俗を知る上に於て有益なることも亦尠からず。文章も可、説も亦可、先づ先づ少年讀物としては手頃のものなるべし。

一體洋行土産的の書物には徒らに龍大なるもの多く、街學的に流るるものなるが、本書は極めてアツサリと書き流し、少しもバタ臭き處なき點殊にうれし。(中等、雜)

11 成功實例 出世物語 實業之日本社編

初版 1冊 0.40 實業之日本社

雑誌「實業之日本」に連載したるものを纏めたるもの。實業家、成功者の傳記にして、其の人物も現に實業界に雄飛し居るもの尠からず。尤も傳記としては斷片的のものなれども、各成功の要素と經歷とを記述せしものにして、通俗にして興味ある讀物なり。青年讀物として採用して可なり。されど上品なる書物にはあらず。十五頁の「薄資を以業した主人の機略よく店に顧客を吸収す」は、誠實を教ふるて開料には反對のもの(商賣には必要あらんも)〇九八頁「何心なく他人の問答を聞きながら好い思ひ付きをした番頭」は商賣人とならざる少年に讀ましめんには多少の不安を感じれども、其の他には良きものもあ

り。一體に野心ある少年には相應なる刺戟を與ふべく、最上の部には入らずとも、青年讀物として推奨するも可なるべし。(初等上級以上中等初級、物語)

12 少年物語 ナポレオン 千頭清臣著、有本芳水編

再版 1冊 四六判 267頁 0.50 實業之日本社

ナポレオンの出生より帝王となる迄の傳記なり。子供向きなる面白い材料を平易に書き表はしたる點は、少年讀物として頗る適當なるものと認む。手頃なる本なり。(初等上級以上中等初級、物語)

13 血煙 浩堂生著

初版 1冊 0.35 牛込區矢來町 新潮社

時代に關せず、歴史上有名なる戦争を題目として記述したるものなり。其の題目の數者を擧ぐれば、義貞北國落を初めとし、山崎合戦、川中島の兩雄、桶狭間の血雨、賤ヶ岳の快戦、關ヶ原快戦より鳥羽伏見に終り、都合十七篇、其の選擇當を得たりと謂ふべし。文章は口語體にして、問答法を用ひたる所多し。題目が題目とて文章にも勢ありて面白し。冒險談を好み、戦争談を喜ぶ小、中學位の生徒には課外の讀物として推奨するに足るべし。(初等上級以上中等中級、歴史)

附記

14 薩摩と琉球 黒頭巾著

初版 1冊 菊判 2.30 本郷區元町二三〇 中央書院

著者の目的は薩摩と琉球との關係を闡明するに在りとのことなれど寧ろ著者の南遊記録なり。記する所該博なれども稍統一の點に於て遺憾を感ず。文章は健堂一流の力あるもの。(中等以上、地理)

15 大隈伯昔日譚

伯の言行經歷に藉りて評述せられたる一編の明治史として見るべきものなり。併し史料としての本書の價值は、其の或部分についてはなほ後代の批判を要すべきものあらん。(大人、雜)

16 政治家としての桂公 徳富猪一郎著

初版 1冊 菊判 256頁 1.00 京橋區日吉町 民友社

名の如く政治家としての桂公を叙したる近來面白き書の一なり。政

治趣味を養ひ、政敵に對する寛容の念を増し、我が國近時の政治變遷の消息に通ずる等は、讀みて得る所なるべし。されど所論往々にして一方に偏し、わざわざ桂公を揚げんが爲に、特に他を非議する等の態度なきにあらず。(中等以上、傳記)

17 英雄と修養

各時代の代表的なる英雄の傳を擧げ、其の武將たり、政治家たり文豪たり、藝術家たる表面的記述をなすに止まらず、彼等の精神修養の方面を説き彼等は皆宗教によりて其の心靈の慰藉を得たるものなることを記し、彼等回天の事業は皆其の修養の結果たる不動の信念に出でたるものなることを述べたり。されど、主として佛教殊に禪の英雄に及ぼせる影響を特に力説せんとせるものにて、歴史的事實の如きは必ずしも穿鑿するを意とせず、人口に膾炙せる多くの事柄を材料とせり。(大人、修養)

第 4 回 (大正三年五月六日)

18 恩師訓話隨錄 岡本貞然著

初版 1 冊 1.00 京橋區南紺屋町十二 實業之日本社

書名の如く、恩師福澤諭吉先生並びに諸先輩より受けたる訓話を隨錄せしもの、極めて眞面目なる著述にして、青年の精神修養上に資する所多し。全篇主張の眼目は、「誠實に勤勞す」にありて勤勞主義、流汗主義を鼓吹し、以て遊手徒食の徒輩を根絶し、國家經濟の基礎を鞏固にせんとするに在り。著者が貧苦より身を起して、現今實業界に於ける知名の士たるだけ、其の主張に重みありて、後進の子弟を鼓舞するに足る。特に實業界に活動せんとする青年には一讀せしめて可なり。(中等初級以上、修養)

19 校訂 少年日露戰史 巖谷小波著

初版 1 冊 1.30 四六判 700 頁
日本橋區本石町三 博文館

日本國勢大發展史上に一エボツクを劃したる此の大戦役を少國民に知らしむるに屈竟なる書なり。かの有名なる「肉弾」「此一戰」等は、或局部の戰を記したれど、此は開戰に立到りし理由より説き起して媾和

のことより、凱旋のことに至るまで、十六編に分ち、著者の言の如く「空前の大偉業に對して」上下擧つて「如何に辛苦を重ねたかといふことを後進の少年諸子に親しく知らしむる」のである。「開戰の卷」の中に「ロシアの無法」「文明と野蠻の戰爭」「學國一致」「三國の干涉」「ロシアは何んな國か」「國民皆兵」「春日・日進の到着」の如き項目を有し、「凱旋の卷」の中に「媾和の難關」「國民の激昂」「大廟參拜」の如きがあるなど、大に意を得たるものなり。唯大局より見て「本國人の戰爭に對しての熱誠」又「交戰中の少國民の有様の實際と覺悟」の如きことにまで、説き及ぼしてあらばと考へらる。

文章は、極めて明快、教科書と同一の法によれる假名遣にて(發音假名)口語文體、地圖寫眞挿畫多し。(初等上級以上中等中級、讀物)

20 へちまのかは 杉村廣太郎著

初版 1 冊 四六判 1.20 日本橋區本石町二 至誠堂

著者が二十年間の小品、隨筆等を蒐めて一冊としたるものなり。之を分ちて五卷とす。一の卷の文章は著者の學生時代より京都本願寺文學寮に教師たりし頃のものとて、著者未だ青年の街氣抜けざる頃の物なるべく、其の文字の上に意を用ひたる跡見ゆ。之を五の卷の垢抜けしたる縦横自在の文章に比較して著者の作文上の徑路を見るも面白し

二の卷は米國公使館在職中の諸作にて、三の卷は、東京朝日新聞の記者となり第一回渡歐(四十年)の前迄に成れるものを蒐む。以上は「旅順の戰跡」一篇の外、皆「七花八裂」より採録せるところ、四の卷は「厲人厲語」を抄出せるものにて、渡歐以後の筆に成る。最後の五の卷は其の以後今日迄に綴れるものなり。(中等上級、雜)

21 偉人論 山路愛山著

初版 1 冊 1.20 神田區錦町一ノ一六 二松堂

著者の偉人評論にして、著者獨特の史論なり。甲越兩雄、大ナポレオンと信長、家康、頼宣、光圀、正雪、忠彌、木内惣五郎、素行、篤胤、定信、直弼、幽學の十二篇あり。從來の傳説的事實をどしどし打ち壊し獨創的のところあるを以て、面白く讀まれ、自然に歴史に興味を有するに至るべし。唯誤植多きは惜しむべきことなり。(中等上級以上、歴史)

22 文子の家事 手塚かね子著

初版 1 冊 四六判 244 頁 0.40 日本橋區鐵砲町六 磯部甲陽堂
一年間の季節の順に年中行事の如くに記述し、元旦に筆を起して歳末に終り、割烹を主として、日常生活に於ける家事上注意すべき事項を、文子といふ少女を主人公として、小説體に綴りたる平易なる著作なり。家事上の趣味と知識とを授くる益あり。

(中等中級以上、家事)

附 記

23 國民性の上より見たる 鏡 の 話 附録 御即位大典と鏡 石橋臥波著

初版 1 冊 0.55 小石川區原町二三 人文社

本書は民俗叢書第四篇。鏡の起源を語れる神話、鏡は何に用ひしか、鏡の形質と紋様、鏡背の模様に現れたる國民性、鏡は如何にして用ひしか、傳説・俗話に現れたる鏡、俚諺に現れたる鏡、歌謠に現れたる鏡、鏡と道德、鏡と婦人、鏡と歴史、鏡と地名、鏡と物名等あり。民俗研究上有益なる著作にして、教員の参考書としても、價值あり。(大人、雜)

24 修 省 論 幸田露伴著

初版 1 冊 菊判 1.60 牛込區神樂町一 東亞堂

本文二十八章、附録三章、皆爛眼に映じたる世態人情を材料として記述せるものにして、健全なる常識を養成するに就いて効果あるべし。但し文章抽象に過ぎたると、用語に學者らしきもの多きとは、青年の讀物としては如何あらんか。二十七章の中、特に興味あるは、「使用する者の苦樂、使用さるゝ者の苦樂」「道程の短縮」「摩軌の減少」「感情の精粗偏圓」「生活の空實疎密」の五章にして、「三毒」の一章は痛快なれど、思想の薄弱なる者を迷す弊あらんかとも感ぜらる。他の三章も一讀の價なきにはあらず。(中等卒業以上、修養)

第 5 回 (大正三年六月四日)

25 我 が 國 土 小田内通敏著

初版 1 冊 1.00 麹町區富士見町六ノ一〇 長風社

舊國土は山地、平野、海濱、氣候、産業、交通、居民、都會等、多く地形に

よりて人文發達の有様を尋ね、新國土は、地方別によりて特色を説き國土の特殊研究には、名の如く特殊の題目につきて、著者の研究を披歴せるものにして、土地を観察する方針、地人の關係等を知るに適當の書なり。地方誌的區分に對する側面より見たるものとして興味を惹かん。細密なる局部的挿圖と寫眞挿繪とあり。(中等上級以上、地理)

26 歴史物語 織田信長 笹川臨風著

初版 1 冊 1.50 本郷元町二三〇 中央書院

稗史と云ふべきか、先年の露伴氏の源頼朝に似て、更に碎けたるもの、文章も力ある面白き書き方なり。史實としては如何と思はるも所謂物語として讀んで學生にも興味あらん。只全篇殆ど談話體にて叙述文少く、やゝ單調の感あるを遺憾とす。(中等中級以上、歴史、雜)

27 少年日本歴史讀本 萩野由之著

明治四十四年春より大正二年十二月に至る間順次刊行 15冊

各冊 0.18 日本橋區本石町三 博文館

史學者文學者として、定名ある萩野博士の著にして史實の詮索及び文章修辭の點共に採擇の價值あり。四號活字に總振假名を施し、處々挿畫あり。(初等上年以上、歴史)

28 奮闘立志傳 實業之日本社編

再版 1 冊 1.50 京橋區南紺屋町十二 實業之日本社

現代有数の實業家四十氏の奮闘立志傳にして、青年の志氣を鼓舞し忍耐勤勉の美德を養成するに適當の良書なり。曾て「實業之日本」に登載せるを蒐めたるものなり。只六百有餘頁の大冊なれば、價の稍高價にして青年の購求に適し難きの憾あり。若し縮刷となし挿繪をも用ひなば、更に可ならん。何れにしても青年讀物として推薦するを憚らず。(中等中級以上、傳記)

29 紐 育 原田棟一郎著

初版 1 冊 2.00 芝區南佐久間町二 政教社

新聞記者たる著者が久しく紐育に滞在し、其の間に見聞したる事實を基礎として自己の感想、殊に新聞記者特有の批評を以て、輕快に記したる書なり。世界の大都市たる紐育の繁華の狀態、市内の生活の有様名所及び之と關係ある短篇の史實人情等を寫し、都市を記述したる

良好なる讀物たるを失はず。されど、少年の讀物としては筆を延ばし過ぎて、價格は貳圓の大冊となりて不適當なるが上に、社會の裏面の觀察につきて少々鋭利に過ぎたるを覺ゆ。特に支那町イーストサイド鼻つまみの紐育等の篇は、中學卒業生位には差支なけれども、少年の讀物としては過ぎたるの感あり。(中等中級以上、雜)

附 記

30 立志論 村上專精著

初版 四六判 435 頁 1.40 京橋區南橫町一八 廣文堂

青年と立志、修養の模範、人の運命、壽命論、精神の修養、苦は樂の種子、犠牲的精神の必要、人生觀の先決問題、父母の十恩、知恩、報德、國民道德、修身訓の十二章につき、談話體に平易に説きたるものなり。所論穩健にして多くの實例を含みたるは喜ばし。實例中にて公慶上人鑑真和尚の如きは特に力あるを感ず。後半は博士の佛教道德論ともいふべく、人物の引例も上人、和尚など多し。(大人、修養)

31 小泉八雲 田部隆次著

初版 1 冊 菊判 1.80 牛込區 早稻田大學出版部

本書は愛蘭人を父とし、希臘人を母として地中海中の美しき島に生れたるラフカジオ・ハーンの傳記なり。血統的に神經質にして多感なるハーンは、又境遇上より奇抜なる運命に弄ばれ、亞米利加に渡り西印度諸島に生活し、最後に日本に渡り非常に日本を愛し、遂に小泉氏を娶りて日本に歸化せり。此の人の傳記は、既に興味ある小説にして、而かも此の書は、十分の苦心によりて出来たるものと察せらる立派なる價值ある書なり。(大人、傳記)

第 6 回 (大正三年六月三十日)

32 内外歴史講壇 玉井幸助著

初版 1 冊 0.55 牛込區白銀町二〇 榎本熊藏

斯の種の書に稀に見る所の注意を以て書かれたり。例へば、文章に於ては讀む上の調子及び史實に留意し、又句讀點、送假名、符號等皆小學教科書に準據したる等是なり。中學程度の生徒の家庭に於ける讀物

にして、又一般の青年が業務の餘暇の讀物ともなるものなり。(中等初級以上、歴史)

33 折にふれ 新渡戸稻藏著

初版 1 冊 1.20 麹町區麹町二ノ五 丁未出版社

英文にて書かれたる新渡戸氏の感想録を櫻井鷗村氏の翻譯せられたるものなれば、頗る譯文の臭味あること本書の缺點なり。内容は「隨意録」の訂正増補ともいふべきものなり。中に就きて「日本國の時刻」「收穫」「亡びんとする國家」などは面白し。(中等上級、雜)

34 天保物語 森 林 太 郎 著

初版 1 冊 0.95 日本橋區濱町二ノ十一 鳳鳴社

護持院ヶ原の敵討、大鹽平八郎の二篇より成れる歴史小説にして、前者は姫路の城主酒井雅樂頭忠實家來大金奉行山本三右衛門が、天保四年十二月廿六日上邸表小使龜藏といふ者に殺されし事に始まり、三右衛門の弟九郎右衛門及び女リヨが天保五年六月神田橋外元護持院原に於て敵を打つ迄の顛末を叙せり。後者は平八郎が暴動を起した天保八年二月十九日の事を書くを主とせしものなれども、終に附録として平八郎の年譜を附したり。爲に、著者が、本篇に活動せる人物の外的生活を臚列するに止まらずして、幾分か内的生活に立ち入りて記述せられし筆の跡を理解するに便なり。(中等上級以上、物語)

35 戦争中の隠家 田 山 花 袋 譯

初版 1 冊 0.35 日本橋區本石町三 博文館

少年世界文學の第四編として翻譯せられたるものなり。此書の本旨は、戦争の悲惨、戦敗國の惨めなる有様の側面を、描寫するに在りと思はる。主人公はロビンソンといふ畫家にして、普佛戦争の際に佛國方敗戦し、巴里に籠城となりたる際足部に負傷したる爲巴里に入ること能はず、已むを得ず森の隠家にかくれ居て、種々の事件に遭遇し觀察するといふ趣向なり。而して、之に配するにギリヤアル爺さん及び其の一家百姓グードルー、醫師ドラエを以てし、一般人民の戦争中の避難、豫備後備の召集、プロシヤ兵の侵入掠奪、掠奪せらるゝ佛國民の憤慨復讐の心理、巴里城へ入らんとする冒険、醫師のかくまひ、プロシヤ兵の傍若無人の狩獵、講和談判成立後の悲惨の有様等可なり

面白く描寫せられたり。(中等初級以上、小説)

36 文藝思潮論 厨川白村著

初版 1冊 四六判 1.00 京橋區銀座一ノ二十二 大日本圖書株式會社

本書は、現代文藝思想の據つて起れる歴史的觀察研究をなしたるものにて、希臘の時代より説き起し以て、現代に至る迄如何にも面白く説述せり。而して、本書は著者の「近代文學十講」と併せ見るべきものにして、興味あり且有益なり。(大人、文學)

第 7 回 (大正三年十月二日)

37 明治孝節錄 昭憲皇太后の御撰 福羽美靜、近藤芳樹奉命輯

初版 1冊 1.20 神田區錦町一ノ十九 中興館書店 文學協會

本書は、題目の示す如く、明治(初期)に於ける日本全國の孝子、節婦等の事蹟を輯めたるものなり。而して、此の書の編纂は、「畏くも時の皇后陛下(即ち昭憲皇太后)の御旨に出で、侍講福羽美靜氏其の内旨を稟けて事蹟を收輯し、宮内文學員近藤芳樹氏其の文を整理したるものなり」とは元田永孚先生の序文に明かなる所、読みもて行くに、文章平易簡明何となくシツトリとして巻をすて難し。一般の繙讀を勧めたし。(中等、修養)

38 源九郎義經 中村孝也著

初版 1冊 1.50 本郷區駒込坂下町四八 大日本雄辯會

平安時代より武家時代に移る大勢を知り、この時勢に於ける義經の飛躍を叙せるものにて、よく義經の人格を描寫し、周圍の人物を評論し、自我の發展と人格的努力との貴むべきを知らしむ。文章又可。(中等上級、傳記)

39 武士道の華 箕作元八著

初版 1冊 0.80 日本橋區本石町三 博文館

所謂武士道の華と稱せらるゝ黒太子(英王エドワード三世の王子)の事蹟を中心として、第十四世紀に於ける英佛兩國の勢力の消長を述べ依つて以て封建制度と武士道との關係及び近世制度と謠詐術策横行の世態との關係を示し、中世末期の制度、戰術、風俗等の推移を述べ、時勢變遷の真相を知らしめんことを力めたること、著者自身の言に背か

ず。されば武士道教育の概要、ノルマン人の英國征服、英國憲政の起原及び議會の勢力、ガーター勳章の起因、百年戦争に於ける英佛兩國の一進一退、其の戦争の状態、戦費の調達の様態等細大洩さず記述せられたり。而して、其の書き方無味乾燥なる學術的書籍の如くならず加之、當時の事柄を日本歴史に比較せられたるは好都合のものなり。(中等上級以上、歴史)

40 大石内蔵之助 福本日南著

初版 1冊 1.10 日本橋區本石町一 養賢堂

健全にして興味ある良著なり。歴史考證の多き傾あり。故に大人には興味多し。中等學生ならば上級生向きなるべし。要するに、歴史としては餘程價值あるを覺ゆ。(中等上級以上、歴史)

41 西郷南洲 長谷場純孝著

初版 1冊 1.00 日本橋區本石町三 博文館

長谷場前文相の口授にして、栗原文學士の筆録せるもの、事實の敘説に忠實にして、人格的方面の描寫はやゝ少し。しかし徒らに抽象的文字を以て誇張的に抽出せる如き弊なく、極めて穩健眞摯にして、南洲の事業功績の一般を知り、其の裏面に先生の面目を窺ふを得べく殊に口授者の親炙せし事とて、一層の興味を覺えしむ。偉人傳既刊中の白眉と思はる。(中等上級、傳記)

42 奈翁と其元帥 千頭清臣著

初版 1冊 1.00 博文館

年少子弟の讀物として著したるものにして、ナポレオンの傳記は、其の露西亞遠征より筆を起して終焉に及び又十四人の元帥の略傳及び人格を記述したるものなり。例言に云へる如く、本書前編は、曾て雑誌「冒險世界」に大奈翁運命廻轉史等と題して掲載せるものなるを更に訂正して一冊としたるものなり。文章平易にして、少年の讀物に適し内容淡泊にして嫌忌すべき所なし。されど、少年を引きつくべき活氣には乏しき憾あり。(初等上級、讀物)

43 吐雲錄 和田垣謙三著

初版 1冊 四六判 1.20 日本橋區本石町二 至誠堂

「兎糞錄」の續稿とも見るべきものなり。例によつて警句澤山の解願

的文字なり。(中等上級、雜)

44 動物の世界

木村小舟著

初版 1冊 0.90

牛込區神樂町一 東亞堂

普通の動物約四十八種を選び、最初に其の動物に因めるお伽話を挙げ、次に卑近なる説明を加へたるものにして、文章も平易に解説も當を得、少年の讀物として適當なり。唯挿繪の内、寫眞版ならぬ方に拙劣なるもの三四あり。又解説中「らくだ」の章、「くぢら」の章の内に改訂を要する節あり。(初等、讀物)

45 歐米都市とびとび遊記

田川大吉郎著

初版 1冊 1.10

神田區錦町一ノ一六 二松堂

著者が歐米行の遊記を都新聞に通信せるを輯録したるものにて、見聞隨録なれど、歐米の文明風習に學ぶべきことの多きを眞面目に傳へたるものにて、有益なる讀物なり、中に京城、奉天、西伯利亞、倫敦、グラスゴー、伯林、紐育、華盛頓、市俄古、桑港、ポートランド、晚香坡等より通信せるものを含む。(一般、紀行)

附 記

46 世の中

三宅雪嶺著

初版 1冊 1.80

麹町區有樂町 實業之世界社

言ふことに無理なく、すべて眞なり。大人には至極面白けれど、少年にはさほど興味を惹起せざるやも知れず。且少しく價の高きを憾とす。(大人、修養)

47 向上論

南條文雄著

初版 1冊 菊判 2.00

牛込區神樂町一 東亞堂

師の修養、感想、靜思を合せて「向上論」として發行したる佛教の講談なり。その説く所穩健にして眞に修養の良書たり。(大人、修養)

48 靜思健闘

田中穂積著

初版 1冊 1.80

京橋區南橫町十八 廣文堂

何等奇抜なるものなしと雖も、所論極めて穩健にして、首肯せしむる節多し。殊に生活難救濟策の條の如き可否は兎もかく、大人が是非一讀すべきものたるを失はず。(大人、修養)

49 自修論

安部磯雄著

初版 1冊 1.80

京橋區南橫町一八 廣文堂

文章は達意明快、思想も概して穩健なれど、著者一流の稍僻したる所はあり。中學の總べての教科に英語を主として用ひんとするが如し。野球界に對する新希望其の他二三は、自修論中の一項としては如何にやと思はるゝ節あり。(大人、修養)

50 通俗講話 國民性と宗教

加藤咄堂著

初版 1冊 菊判 1.30

本郷區元町二ノ三〇 中央書院

國民思想の變遷に關する手稿と、宗教に關する講話と、さらに現代國民に關する講演とを蒐録したるもの。通俗教化を目的とし、高遠を避けて卑近に、難解をはぶきて平易に叙述せるところよろし。(大人、修養)

第 8 回 (大正三年十一月六日)

51 人類の過去現在未來

丘淺次郎著

初版 1冊 0.70

小石川區表町一〇九 日本學術普及會

人類の過去に關しては博物學上の研究を記し、現在と未來とに關しては博士の所説を述べられたるもの。文章明晰にして一讀よく了解せらる。人間は退化して遂に滅亡すといふ博士の所説は、猶議論の餘地あらんも、説として此の事を聞くは學問見識乃至修養上に益する所尠からず。(中等上級、博物)

52 サン・ファンシーユ

野口援太郎譯

初版 1冊 四六判 571頁 1.00

下谷區櫻木町二 岩田僊太郎

レミといふ棄兒の自叙傳にして、レミがバルバランといふ勞働者の家に在りしが、バルバランよりヴィタリスといふ猿犬芝居師に賣られヴィタリスに連れられて興行し旅行し廻はる中、ヴィタリスは饑寒の爲に野たれ死をし、レミがアカンといふ植木屋に救はれ、アカンが天災の爲に失敗して終に入牢する様になりて一家離散し、レミは又犬を連れて興行旅行に出發する迄を叙せり。文章は平淡にして精細、悠々迫らさる中に面白き所あり。記述の土地は凡て佛國なる爲に我が國の少年には興味を殺ぐこと少なからざるべし。(初等、讀物)

53 元祿四十七士 村上浪六著

初版 2冊 各1.20 日本橋區本石町二 至誠堂

大正名著文庫の一なり。上卷には赤穂開城までの顛末と四十七士列傳とを載せ、下卷には列傳の殘部と討入までの事蹟とを載す。而して拾遺として「信行筆記」「堀内傳右衛門覺書」「四十七士親類書」等を附す。文章は浪六流のキビキビしたもの、事實は百代武士道の龜鑑、何れ面白からざる筈なし。史的事實に至りても亦相應に穿鑿したるものらし。考證にはせず、演義に流れず、青年の好讀物なり。(中等初級以上讀物)

54 若尾逸平 内藤文治良著

初版 1冊 1.00 日本橋區本石町三 博文館

明敏なる知慧と温厚なる感情と、特に秀でたる意力を兼備せる人格たるを寫せるものにして、數多の不幸失意に遭遇して七仆八起遂に成功を來せる立志傳。文章も相應に面白く、涙を禁じ得ざる所屢々あり附録として翁の逸話を録せるもの一三六頁、何れも有益の文字なり。(中等、傳記)

55 リンコルン 實業之日本社編

再版 1冊 0.50 京橋區南紺屋町 實業之日本社

偉人の傳記なれば讀んで修養に資する點多けれども、文章には今一ふし興味を添ふる工夫ありたし。(初等、傳記)

56 次の一戰

七版 1冊 1.20 麹町區平河町五ノ五 金尾文淵堂

「此の一戰」の著者水野海軍中佐の著なりといはるゝだけに、文章も面白し。内容は嘉永年間米艦渡來より今日に至る迄の我が國國情の發達を簡単に説き、進んで軍備の状態を明かにし、且米國の東洋政策と排日想思に深く根をすゑて支那の澳門問題に及び、遂に國交斷絶して我が海軍はヒリツピン及びグアムを襲ひて之を取り、陸軍亦ヒリツピン群島に上陸してマニラを包圍したるが、海軍力の微弱なる爲遂に布哇の近海に於て我が海軍は全滅し、マニラ陸軍も亦不幸なる運命に立至るといふ經過を述ぶ。好著なり。(中等二年以上、小説)

57 少年文學 日本人の弓矢 大町桂月著

初版 1冊 0.60 日本橋區本石町二 至誠堂

少年讀物として記述したるものなれば、少年に推舉して差支なけれども、「僕の幼時」「僕の多摩川である」「狸征伐」などいふ幼年向きの物も雜れり。(初等上級、雜)

時事叢書

58 伯林と巴里

59 歐洲文明の没落

60 世界大戰の中心人物

61 ビスマルクとドイツ帝國の建設

初版 各冊四六判120頁内外 0.20 神田區裏神保町 富山房

本叢書は世界大戰を好機として世界の地理歴史人物等を紹介するのが其の目的なるべし。それぞれ相當の興味を以て讀まる。就中第二編「歐洲文明の没落」は最も興味あり。(中等上級以上、雜)

62 世界列強大戦争實記 吉堀毅著

初版 1冊 1.20 神田區錦町一ノ一六 二松堂

世界大動亂の遠因近因、關係諸國の軍備經濟並びに西洋東洋に於る大正三年十月一日迄の戰況等概括して記述せるものなり。史實上の確否は保し難きも、大體正確なる報道を基としたるが如し。系統的に概括して簡明に記述したるものにして、時局に關する少年の讀物として適當なり。(中等三年以上、歴史)

63 ホーマー物語 松山思水著

五版 1冊 0.40 京橋區南紺屋町 實業之日本社

世界名著文庫第一編。イリアツド、オデツセイ二編の梗概をもつもの。世界的古典文學の大體を知らしむる好著。(中等初級、文學)

第9回 (大正三年十二月八日)

64 内外歴史講壇下 玉井幸助著

初版 1冊 0.55 牛込區白銀町二〇 育英書院

本書は(上巻は既に第六回の審査に於て採定)赤壁の戦、阿新丸、鎌倉討入、トラファルガーの海戦、ワーテルローの激戦の五篇を載す。活氣ある口語體の文章にして良好の課外讀物なり。唯希望をいはい挿畫の改善にあらんか。(中等初級以上、歴史)

- 65 忙 中 隨 感 水野鍊太郎著
九月初版 1冊 1.20 京橋區南横町 廣文堂

地方自治の研究と自治教育とに熱心なる水野博士の著にして、書中收むる所「人間の一生は研究の生涯」といふより、「最も感服したる歐米の執務法」「近時歐米の進歩と自治教育」「自治制の擁護」等面白き題目尠からず。此の種の著書甚だ乏しきを以て、地方の青年には是非推薦したきものなり。(中等上級、雜)

- 66 傳 説 の 時 代 野上彌生子譯
再版 1冊 2.00 神田區南神保町一六 尙文堂

米人トーマス・ブルセンチ氏の原書を忠實に譯出したるもの、文章平易にして、世界各國の神話の大略を了解せしめ得べき良書なり。(中等上級、雜)

- 67 新 常 識 論 加藤弘之著
初版 1冊 1.80 京橋區南横町 廣文堂

倫理道德に關する博士の論文七十一を集めたるもの。文章敢て人を惹く力ありといふにはあらねど、議論には有益なるもの多し。學生の讀物としては恰好のものなり。少々定價の貴きを憾みとするのみ。(中等上級、修養)

- 68 活 修 養 前田慧雲著
初版 1冊 1.20 日本橋區本石町二 至誠堂

面白く讀み得る書なり。佛教信仰の力によりて眞正の道德的觀念を得しめんとする著者の主義には、尙研究の餘地あらんも、一應讀みたる上にては、さまで佛教臭味あらず、青年子弟に直益なる著述なり。(中等上級、修養)

- 69 武 田 信 玄 萩野由之著
70 安 土 城

- 初版 各冊 0.18 日本橋區本石町三 博文館

共に少年歴史讀本的一篇にして、材料もよく、面白く書けたり。少年讀本として可なり。されど挿畫は十分ならず。(初等上級、傳記)

- 71 大 正 新 イ ソ ツ プ 高木敏雄著
三版 1冊 0.80 京橋區南紺屋町十二 實業之日本社

相應に面白きお伽噺なり。全然新しきものとはいひがたく、隨分翻案的のものもあれど、所謂幼年圖書の少き今日、推選に値す。但し價は少しく高きに過ぐ。(初等中級、童話)

- 72 修 養 二 十 講 高島平三郎著
初版 1冊 1.20 日本橋區鐵砲町六 磯部甲陽堂

心理學の立場より、修養上の問題を平易簡明に論述せるものなり。(中等上級、修身)

- 73 神 の 馬 巖谷小波著
初版 1冊 0.13 日本橋區本石町 博文館

世界お伽文庫の第三十七篇なり。本篇中に「神の馬」と「鵲の卵」との二篇を含む。「神の馬」は原題を「神知」といふ。無邪氣なる童話にして人生の一部を縮圖せる趣あり。「鵲の卵」は原題は「灰取羅密」といひ孝道を説きしお伽噺なり。字音假名遣を用ひたり。(初等中級、童話)

- 74 小 北 極 探 検 家 巖谷小波著
初版 1冊 0.13 博文館

グスタフ・ワージヒ氏の著書「影法師」の中より採れり。快少年ヤコブ、祖母の許を辭して、森中に一匹の栗鼠を助けたり。このもの人に化し、胡桃の殻を與ふ。之に入れば何處にても至るべし。即ち之に乗じて北極に至り、冰山を見、裂目に入りて、地球の軸の回轉せる所に油を注ぐ所を見たり。白熊の背に乗じて走り、或は氷塊に乗じて走り北風に乘じて飛びかへり、祖母に會し、世界中自分の家が最も宜しとの感を懷きたりとの話なり。無邪氣にて北極を知らしむる效あり。但し假名遣は表音的なり。(初等中級以上、童話)

- 75 旗 實業之日本社編
初版 1冊 0.20 京橋區南紺屋町一二 其の社

續少年文庫の第一編にて、各國の國旗の記述をなし、旗を中心に興味ある物語を綴りたるものなり。歴史的事實多し。(初等上級以上、歴史)

76 日本刀 實業之日本社編

再版 1冊 0.20 京橋區南紺屋町一二 其の社

日本刀に關する著名なる昔話を集めたるものなり。第一に名刀正宗の由來より、宗匠正宗の出世譚又は神劍草薙劍の由來、或は長光、三池、兼光、鶴屋正宗、蜻蛉、不留守の名刀に縁ある面白き昔譚を集めたるものにて、刀劍の解剖的智識をも載せたり。最後に劍刀に關係を有する將校斥候の小説を擧ぐ。日本刀に對する趣味と崇敬心と智識とを與ふる點よりも、文筆の面白き點よりも、價の廉なる推薦の値ある書なり。(初等上級以上中等初級まで、物語)

77 リンコン物語 宮地竹峰譯

初版 1冊 0.30 東京市外巢鴨町上駒込一九 内外出版協會

平易なる行文を以てす。適當なる少年書類なり。但し價の少しく高き嫌あり。(初等、童話)

78 日本昔噺續話 巖谷小波、黒田湖山共編

初版 1冊 0.10 日本橋區本石町三丁目 博文館

日本昔噺。桃太郎、浦島太郎、大江山、花咲爺、雲雀山、一寸法師、猿蟹合戦、安達原等の續話を収む。兒童の親炙せる材料を、出發點として其の後の成行、出來事等を構想し、面白く記述せるものなり。一は其の追求的興味を満足せしむるに於て、一は着想の嶄新多趣味なるに於て、兒童の歡迎を得るや必せり。八冊既刊。(初等上級以上、童話)

79 鶏飼姫 巖谷小波著

初版 1冊 0.13 博文館

グルントキヒ氏の集めたるデンマルクお伽噺中のイルレガンク王子とミゼリイ姫の話を原として綴れるものなり。ミゼリイ姫の貞操を述べたるものにして、上出來のものなり。(初等中級以上、童話)

80 百合若大臣 巖谷小波編

初版 1冊 0.10 博文館

日本お伽文庫の第八編なり。梅若丸、文正草紙、天竺徳兵衛、鉢かつぎ等を収む。中にも百合若大臣上出來なり。(初等中級以上、童話)

81 幼年ポンチ 木村小舟著

初版 1冊 0.18 日本橋區本石町三 博文館

十二卷の中、飛行機活動、茶目の泣面、笑ひの先生、いたづら小僧、けんか大將、自働車活動、びつくり箱等何れも滑稽に満ち、幼年兒の讀み物としては面白きものなり。されど、假名遣の誤多く、全卷を通じて統一なく此の點よりは幼年生に害なしといふべからず。ポンチも、「いたづら小僧」の如きは、兒童に惡戯を教ふることとなり、又眞面目なる思想を養ふの害をなすことなきにあらず。(初等初級、童話、繪本)

82 オトギウタエ 巖谷小波著

初版 2冊 各0.48 神田區表神保町二 中西屋

桃太郎、坊のお家、お馬づくし、曾我兄弟、花咲爺、かちかち山、お月様猫と鼠の如き諸題を捕へ、繪に歌を附し、歌詞によりて話を進むるものにて幼年の讀物、見物として面白きものなり。表装も丈夫なり。唯價の高きに過ぐる憾あり。(五六歳より初等二三年頃まで、童話)

83 少船長 生方敏郎著

初版 1冊 0.35 日本橋區本石町三 博文館

世界少年文學の第六編なり。佛蘭西の文豪ドオテエの「ベル・ニベルネス」を意譯せるものなり。セーヌ河を上下して材木を商ふお人好しにて、しかも貧乏なるルーボー翁が拾ひ來れる孤兒ピクトルの上を叙す。全編波瀾に富み、情趣豊かなる善良なる家庭の讀物なり。(初等上級以上中等初級、物語)

84 獨逸及獨逸人 片山孤村著

初版 1冊 0.20 神田區裏神保町九 富山房

時事叢書の第六編にして、獨逸民族の性格風俗より獨逸帝國の過去及び現狀等を簡潔に記述せるものにて、讀んで面白く、時節柄彼の國を紹介するに足るべき好讀物なり。(中等上級、雜)

85 三國同盟と三國協商 林毅陸著

初版 1冊 0.20 富山房

三國同盟と三國協商の成立、兩者の抗爭より、今回の戦局に至る迄の外交關係を述べたるものにて、簡潔明瞭に右事項を知るに便なり。時事叢書中優良なるものなり。(中等上級以上、歴史)

86 飛行機大將

澁澤素風著

初版 1冊 0.16

京橋區南紺屋町一二 實業之日本社

フタバお伽の第一編にして、飛行機を種にしたる冒險のお伽話なり。讀んで害あるものに非れども、此の種類の書を多く讀ましむれば、徒らに妄想を好む兒童となるべし。故に分量に注意すれば、讀ましむるも可なり。(初等中級以上、童話)

87 女傑ジャンヌ

水野仙子著

初版 1冊 0.35

日本橋區本石町三 博文館

世界少女文學の第八編なり。ジャンヌ・ダークのことを抄譯したるものにして、原著者はシルレルなり。神秘的なる物語にして現代離れのしたる讀物なり。譯相相當に面白く出來たり。(初等上級以上、童話)

88 手負の鴨

加能作次郎著

初版 1冊 0.35

博文館

不運なる家庭を背景として描かれたるものにて、薄命なる優しき少女の愛の光はうつくしと感ぜしむ。花やかとか面白いとかいふ如きことはなけれど、しんみりと讀んで味のある物語なり。但し人情、風俗、宗教を異にしたる異郷の物語なれば、多少同情を起し難き點はあらん。(中等初級位、物語)

89 天才の少技師

前田晃編

初版 1冊 0.35

博文館

譯文は餘り上手とは思はれざれど、漸次讀み來るに従つて興味を増す。内容はジャワツスといふ一少年が鑛山に雇はれ、一時は鑛夫等の惡仲間誘惑せられて、酒を飲みイタヅラをなし、將に墮落の底に沈まんとしたる頃、主人の親切に動かされて良心に歸り、誠實と勇氣とを以て仕へたれば、漸次その運命展開して、其の天才をも人々に知られ、巡回講師の從者となり、時には講師や、支配人に疑はれたることあれど、誠實は遂に人を動かし、益々尊重せられ印度に入りては、チブ

ス王の爲に鑛山を監督し、漸次巨萬の富をなしたる自己の譚を書きたるものなり。要するに、一、善人は榮え惡人は亡び、二、誠實と勇氣とは人の運命を開拓し、天才を役立たしむるを得、三、又人に善を施せば其の報あり、といふ様なる教訓、又は四、鑛夫杯の生活狀況等を知らしめ、五、酒の害をも知らしむるものなり。(初等上級以上、小説)

90 ドンキホーテ 冒險廻國

片山伸著

初版 1冊 0.35

日本橋區本石町三 博文館

世界少年文學第五篇。スペインの文學者セルバンテスの原作「ドンキホーテ」を少年に適する様に抄譯したるものなり。ドンキホーテは主人公の名にて、若き時より花やかなる武勇談又は義俠談に富める古の廻國騎士物語を耽讀心酔し、感奮の餘り、正氣を逸して、自ら騎士のしたることを試みんとし、他の制止するをも聞かずして、古の騎士通りに装ひて、諸國を遍歴し、處々にて冒險や滑稽を演じ、時に生命の危険をも氣に止めず、彼の友人は之を憂へ、一策を案じ、遂に彼をして思ひ止つて歸宅する様にしたり。歸宅して靜なる生活をなしをる間に、漸次正氣となり、固より無邪氣なる善人なりしかば、其の後郷人に敬慕せらるゝ人物となれりといふ筋の物語なり。いやみなき無邪氣なる讀物。(初等上級以上、小説)

91 歐洲の傳説

松村武雄著

初版 1冊 1.80

麹町區平河町五ノ五 金尾文淵堂

歐洲の傳説中、代表的にして興味あるものを汎く集めたるものにして、傳説としての學術的研究(歐洲の民族心理、信仰等を知る上に)の價値は十分ありと認む。且文章も亦面白く、單に物語として讀むも感興の湧くを覺ゆ。(中等上級以上、雜)

92 人喰ひ征伐

松山思永著

初版 1冊 0.16

京橋區南紺屋町一二 實業之日本社

フタバお伽の第二篇にして、冒險のお伽話なり。或少年が父に伴はれて世界漫遊の途中難船して人喰ひ島に着し、玩具に依りて人喰ひ人種を征服することを夢に託して書きたるものなり。思想比較的着實にして、文章も亦初篇より優れるを見る。(初等中級、童話)

93 八つの夜

興謝野晶子 著

再版 1 冊 0.40

京橋區南紺屋町 實業之日本社

母の膝下を離れて神の手に委ねられたる少女が、八つの夜、夜毎に異なる境遇に身を置きて、異なる経験を味ふことを叙す。身分に高下あり境遇に幸不幸あれど、心正しく情優しからば、人生到る處光明に充ち歡樂溢るべきを感じ得せしむるに足る。構想清新、文章亦流麗、好箇の読みものなり。(初等上級以上中等初級、童話)

94 人形の望

野上彌生子 著

初版 1 冊 0.40

實業之日本社

愛子叢書の第五編。華子といふ少女が有する數個の人形仲間の小波瀾ある生活を面白く書き、其の中の一つの人形が、自分等の身の上を悲観し、自分等も亦、自分を愛する主人の如く成長して、永く其の愛玩を續かしめんと希望を起し、二人の人形仲間を誘ひて、相共に希臘のヂュピター及びヂュノーの神の處に至り、靈魂を授けて貰ひ、猶智慧の神、美の神よりも智慧や美を授けて貰ふといふ筋を平易なる文章にて面白く叙し、數個の人形の經歷・性格・希望乃至人生觀を述べ、己の希望を達したるものあり、達せざるものあり、其の思構極めて無邪氣にして多少教訓的の處あり。(初等上級以上中等初級、小説)

附 記

95 人間生活史

茅原華山 著

初版 1 冊 1.80

日本橋區檜物町 弘榮館

頗る面白き讀物たるを失はず。文章の趣味多きは言はずもがな、觀察頗る肯綮を得たるを覺え、一讀再讀の價值あるを思ふこと切なるものあり。(中等以上歴史)

96 船と人

米窪大刀雄 著

初版 1 冊 1.30

神田區錦町一ノ一九 中興館

海のローマンスの著者が鹿島丸にて、歐洲航路を航海せる途上の所感及び所見を綴りて一冊となせるもの、前者に比して更に筆致の深刻なるを見る。されど船中の生活を露骨に曝露せる點は、大人には興味

あれども、少年に讀ましむるものとしては聊か遠慮せらるべきか。(大人、雜)

第 10 回 (大正四年二月四日)

97 佛蘭西及佛蘭西人

五來欣造 著

初版 1 冊 0.20

神田區裏神保町九 富山房

時事叢書の第二十篇。著者が滯佛九箇年間の實見實聞を基礎として佛國の國民性を述べたるもの。全篇を二十二章に分ち、前半は主として其の國民性の情的方面を示し、後半は其の知的方面を叙べたるものにして、文章平易簡明讀んで面白く、佛人の性質及び佛國の社會、人文の模様を知るには良好の書なり。(中等中級以上、雜)

98 雷の生捕

巖谷小波 著

初版 1 冊 0.10

日本橋區本石町三 博文館

日本お伽文庫の第十一編にて、小子部栖輕の話に、雄略天皇の御事迄附け加へて面白く書きたるものなり。栖輕の話は尋常小學讀本にも出でたるが、具體的に詳しく描かれたるだけに此の書の方遙に子供向なり。(初等上級、童話)

99 平和の巴里

島崎藤村 著

初版 1 冊 0.55

京橋區木挽町 佐久良書房

著者が、歐洲戰亂以前に見たる巴里に關して記したる小品文集なり文章淡々として特に心を引立たしむるが如き趣なけれども、穩當なる文章の中に、掬すべき詩趣乏しからず。中學上級生などには、かゝる趣味をも解せしめたきものなり。(中等上級、雜)

100 その前夜

岩下小葉 著

初版 1 冊 0.13

京橋區南紺屋町一二 實業之日本社

有名なるクリスマス・カローを小兒に讀ましむる様に抄譯したるものなり。一人の強慾なる老爺がクリスマスの前夜幽靈に伴はれて、自分の過去、現在、未來の有様を見せつけられ、大に悔悟して善人にかへるといふ罪のなき物語にて、中々面白く譯せられたり。(初等上級、童話)

101 雷の神 巖谷小波著

初版 1冊 0.13 日本橋區本石町三 博文館

世界お伽文庫の第四十二編。ルウドキヒ氏の西比利亞お伽、隣同士の」を簡約にせるもの。正直なる情深き人が、慾深き隣人の惡みによりて財産を巻きあげられたる上に牢屋に入れられしが、その娘種々に苦心し、且奇なる卵を食して、奇妙なる力を得、遂に正直なる不幸の父を救ひ出したり。然るに、慾深き隣人の息子は頗る實直なる男にして、深く此の二人に同情したりしが、遂に娘と夫婦になるといふ筋なり。(初等、童話)

第 11 回 (大正四年三月四日)

102 少女小説 紅ほほづき 尾島菊子著

初版 1冊 0.45 京橋區疊町一 東京社

短篇小説十種を集めたるもの。孤兒、繼母等に關する悲哀なる物語などあれば讀者の心を哀愁に導くが如き個處もあれど、無邪氣にして愛らしき物語もあり、文亦讀心地よく書かれたり。(初等中級以上、小説)

103 世界歴史 秘密の曝露 水主増吉譯

初版 1冊 0.80 牛込區通寺町一四 南北社

原著者アレン・アップワードは自ら多年國事探偵に従事して、歐米政局に關する機密事件に關與したる人にして、今や歐洲各國の國交斷絶せるの際、其の秘密を曝露したるもの。(大人、雜)

104 獨探日記 馬場恒吾譯

初版 1冊 0.55 京橋區日吉町 民友社

獨逸の秘密探偵たりしアームガード・カールグレーヴスの著書を抄譯したるもの。秘密探偵の如何なるものか、各國陸海軍の秘密行動、國際政局の機密等に關する知識を得るに足る。現代の真相に就いて多少得る所あるべし。前項の秘密の曝露に似たるものなり。(中等中級以上、讀物)

105 戰陣スケッチ 五郎著

初版 1冊 0.35 京橋區南紺屋町一二 實業之日本社

古今東西の戦争の話を六つばかり集めたるもの。(初等上級以上)

106 國民政治讀本 板倉卓造著

初版 1冊 0.70 慶應義塾出版局

先づ爲政家篇として自由民主の政治、自由寛容の政治、君民同治の政治の三項を説明し、次に「人民」篇として、代議政治の由來、民意と選舉、候補者の選定、投票と落選、議員と選舉民の五項に分ちて、之を評定し、最後に「政治篇」三項を説きたり。此の種の書物としては從來の物に見ざる興味ある文章もて記さる。(中等上級、政治)

107 支那に於ける列強の競争 今井嘉幸著

108 南洋 井上雅二著

定價各 0.20 神田區裏神保町 富山房

時事叢書の十八篇と十九篇となり。前者は支那に於ける列國の利權競争の由來より説き起して、現今に於ける利權割據の狀況を記し、支那の難局に對する我が國民の覺悟を促せるもの、後者は南洋諸島に關する諸般の知識を記したるもの。何れも文章平易にして、又感興を惹くに足る。(中等中級、前者は雜、後者は地理)

109 一五叢書

1冊 0.15 毎月一回發行豫定 神田表神保町三 永文館

古今東西の通俗讀物を、平易なる談話風の口語に書き直したるものの中には趣味の低級なるものあれど、「女戰士」「地獄の蟲」「怪談十三鐘」などは相當に讀みごたへあり。(中等中級位、小説)

110 立志立功 幸田露伴著

初版 1冊 0.90 牛込神樂町 東亞堂

著者が少年の爲に書きたる物語及常識を養ふに足るが如き文を數篇集めて一冊としたるもの。淡々として平々たる筆つき、少年の心を躍らす如き文にてはなれど、常識を擴むる上には多少の益あるべし。(中等初級以上、修養)

111 偉人叢書

大奈翁、カイゼル・ウキルヘルム二世、彼得大帝、提督ネルソン・鐵血

宰相ビスマーク等

定價も安く、内容も相宜に面白し。

112 東西武士道の比較

高木武著

初版 1冊 1.30

神田區表神保町一〇 通俗圖書中央販賣所

東西の武士道を比較し、その特質異同を論じ、以て彼我民族性情の特徴を明かにしたるものなり。挿畫鮮明にして引用したる士法、士規頗る多く、武士道を研究するものにとりては好参考書なり。されど大同小異の士法、士規の引用多きは却つて讀むに嫌厭を生じ、所論亦批判的なるを以て青年の感興を惹かんには遺憾多し。(中等上級以上、雜)

第 12 回 (大正四年四月六日)

113 大帝奈翁 (第一卷)

五來欣造著

初版 1冊 1.10

日本橋區本石町一 養賢堂

那翁の出生より伊太利征伐の終までを叙す。材料も面白く文章も宜しけれど、五來素川氏の文としては鑒かず覺え、又振假名には粗漏の點も見ゆ。(中等上級以上、傳記)

114 生殖と戦争

山内繁雄著

初版 1冊 0.20

神田區裏神保町 富山房

時事叢書第二十二篇。先づ「生物界の二大事實」として、生存と生殖との生物學的解釋を施し、次に生殖の結果として「生存競争」の止むを得ざるを述べ、其の生存競争にも個人的と團體的との別あるを説き最後に團體的競争の結果として戦争の免るべからざる事を力説し、戦争は遂に永久に止むべからざるものなる事を斷定せり。所論簡明に價亦廉。(中等上級、雜)

115 素六主義

堀川善治編

初版 1冊 0.50

神田區今川小路一 修文館

江原素六翁言行録とも稱すべきものにして斷片的の材料を蒐集したるものなれども、事々凡て教訓の意を含み變化ありて面白く讀まる。(中等上級、雜)

116 やまと心

佐々木信綱著

再版 1冊 0.80

日本橋區本石町三 博文館

明治天皇御製の中より三百餘首を謹録し、最も簡潔なる註解を加へて世に公にしたるものなり。猶卷末に附録として、芳賀博士以下七博士の御製に關する論文を掲げたり。謹選の當を得たと註の簡潔なるとに於てすぐれたり。進んで推薦す。(中等中級、國語)

117 大鳥圭介傳

山崎有信著

初版 1冊 2.50

小石川區櫻木町六 北文館

すべてを網羅せんと努めたる結果、ページ數、多すぎ、随つて定價も高き憾あれども、文章は平易にして極めて着實に記述せられ、又相當に興味を惹起す。(中等中級以上、傳記)

118 後藤象二郎

大町桂月著

初版 1冊 2.50

神田區裏神保町 富山房

伯爵後藤象二郎を中心としたる米艦渡來より明治三十年迄の政治史なり。伯が大政奉還の議を提げて、七百年來の政體を更めんとせし所或は民選議院設立の建白をなす所、伯板垣と共に自由黨を創立して野に嘯き、以て國會開設の機運を促進する所等すべて伯の政治的生涯は著者桂月の筆によりて紙上に活躍せり。書中に諸人物の寫眞、畫を掲げ諸名士の筆蹟を挿したるも良し。されど、伯の才華を記してその由つて來る所を示さざるを以て、見識なき青年は之を讀んで所謂「畫虎不成、反類狗」如きの失なきを保せず。(中等中級以上、傳記)

119 お話の種上編

幼年世界編輯部編

初版 1冊 0.75

日本橋區本石町三 博文館

お伽噺と歴史上の物語とを組み合わせたるものにて、其の話の數が約百種、何れの話も皆教訓的にして且面白し。又家庭學校などにて兒童に讀み聞かせるものとしても適當なるべし。(初等、童話)

第 13 回 (大正四年五月七日)

120 道は近きにある

大内青嶽著

初版 1冊 1.00

牛込區神樂町 東亞堂

佛教の教義を教育勅語其の他の詔勅、勅語等と相配して平易に説明せるものにして文致にも味ふべきもの少からず。(中等上級、修養)

121 オルレアンの乙女

箕作元八 著

初版 1 冊 1.00

日本橋區本石町三 博文館

西洋史新話の第七冊にして、オルレアンの乙女即ちジャンダークを中心として百年戦争末期の西洋史を叙したるものなり。記事詳密にして、ジャンダークの正傳としては、本邦出版物中未だ嘗て見ざる程の詳しきものなるべし。(中等中級以上、歴史)

122 民族競争

大類伸 著

初版 1 冊 0.20

神田區裏神保町 富山房

時事叢書の二十三編。前編には世界史を五期に分ちて民族の異動競争の關係を叙し、後編には現代民族の競争を叙す。文章も明晰にて頗る要を得たり。但し世界史に關して一般の智識なき讀者には稍々興味少からんか。(中等上級、歴史)

123 土耳其及土耳其人

長瀬鳳輔 著

初版 1 冊 0.20

富山房

時事叢書の第二十四編なり。歐洲にて常に國際問題を惹起する國にして、而も邦人には餘り知られざる土耳其の國情民情を五篇に分つて簡潔に記述したり。著者が其の地を踏み其の國民に同情を有する點讀者の心を牽く。就中、第三篇民族的觀察などの中に述べたることには吾人が鑒戒とすべき點も見出さる。(中等上級、地理)

124 雁の叫び

肝付兼行 著

初版 1 冊 1.00

日本橋區檜物町 弘學館

青年に對して常識の養成の必要なること、海國男兒は海に親しまざるべからざる所以とを訓へたる極めて眞面目なる著述なり。(中等中級以上、雜)

125 林檎の落つる音

渡邊忠吾 著

再版 1 冊 0.75

麴町區一番町三三 大成堂

新發明、新考案、新製作等をなせる人々の話を平易に書いて科學的思想を鼓吹せんと努めたる書なり。文章輕快にして面白けれど讀んで後に纏りたる印象の残らざる缺點あり。但し此の種の書物の少なき今日採用して可なり。(中等中級、理科)

126 チェノイロイタ

鈴木江南 著

初版 各冊 0.18

京橋區墨町四 壬辰舎

種々の形を組み立つる色板の材料と形の手本とを、纏めたる書なり。先づ材料を組み立つる爲には、豫め糊と小刀と厚紙とを用ひて材料を整理するものなるが、此の整理は手工の補助として面白く、愈々手本と合はせて組み立つるは慰みとして興あらん。とにかく結構なる思ひつきなり。(初等中級位迄、手工)

127 モンキリヌキ

鈴木江南 著

初版 2 冊 0.18

壬辰舎

紙を折り鋏を入れて種々の紋形を切り出す方法を示したるもの、小學兒童の慰みとして高尚なるものなり。(初等中級位迄、手工)

128 圖解 キリヌキ十二月

鈴木江南 著

初版 3 冊 0.15

壬辰舎

種々の紋形や、物の形を紙にて切り抜く手工材料を一月より十二月迄の季節向に詳しき説明を附して排列したるものなり。惜しきことには説明文やゝむづかし。而して切抜きはナイフ又は鋏をよほど巧みに用ひねば出來ざる如きものあり。又手工科教員の資料たるべし。(小等中級以上、手工)

129 拈華微笑

釋宗演 著

初版 1 冊 1.00

小石川區原町六 丙午出版社

著者が南滿洲に於ける講演の筆記なり。専門的の禪書にあらざるも、人生の修養を禪的に説けるものなり。従つて難解の處あり。殊に第一編然り。第二編以下は割合に解し易し。(中等以上、雜)

第 14 回 (大正四年六月三日)

130 東照公傳

中村孝也 著

初版 1 冊 1.20

日本橋區本銀町三ノ二 鍾美堂

正確なる考證と、流麗なる行文と相待ちて、公の生涯を活寫せるもの。青年の讀物には恰好のものなるべし。但し高調に達せるところは存外に少きやの感あり。(中等上級、傳記)

131 大勢史眼

福本日南 著

初版 1 冊 1.20

日本橋區本石町二 至誠堂

歐洲大亂に關して其の大勢の推移する所を綜覽して編述したるものなり。上下二編に分れ上編には専ら近世列國の關係を述べて大亂の遠因を尋ね、下編には大亂の禍根は繋つてカイゼル及び其の統治する獨逸にあること並に大亂の近因を説述し、進んで大亂勃發後に於ける列國の形勢、日本の參戰を敘し、終に大亂後における注目すべき諸問題を提供して筆を止めたり。政治、外交等に興味を有するものには讀ませて面白かるべし。(中等上級以上、歴史)

- 132 進 取 論 鎌 田 榮 吉 著
初版 1 冊 1.30 京橋區南橫町一八 廣文堂

青年の修養、教育、政治、實業等に關して、著者の嘗て發表せられたる論説を編纂せるものなり。其の言ふ所、論する所は福澤翁の獨立自營を標榜したるものにて、一々穩健なる議論なるが、而も毅然として遙に時流を抜いて現代社會の浮薄を警醒せんとする著者の意氣窺はる。修養書なれば敘述面白しとはいふ能はざれど、著者の該博なる見聞より東西の實例、社會上の事實を捕へ來つて論じれば、讀者を飽かしめざる用意あり。(中等上級、修養)

- 133 人 生 雜 感 新 渡 戸 稻 造 述
初版 1 冊 1.80 京橋區尾張町二 警醒社

著者が處々にて演説せしものを同氏の崇拜者國井通太郎氏の編纂せるものなり。國井氏は基督教徒にして、其の採録せるものは皆之に關係あるもののみなり。此の道に志すものには一讀の値あるべし。極めて自由なる基督教の倫理觀より修養上の問題を説きたるもの、處々に適當なる道歌を挿み、行文亦流暢にして、とうなづかるゝところ多し。(中等上級、宗教)

- 134 少年 立志 貧 兒 の 門 出 水 島 佐 久 良 著
五版 1 冊 0.38 神田區錦町三 長文館

良吉といふ小學優等生が立派なる船員とならんと決心して、海岸の家に母と伯父とを残して、舊師の世話にて東京へ苦學に出づるといふ筋なり。中に金持の子の亂暴に對して、男の血をわかつて、堪忍袋の緒を切つて相争ひ、遂に金持の子は良心に咎められて良吉におわびをし自分の母に告げるとその母は良吉の家にことわりに行くといふ如き

芝居じみたるわざとらしき所あり。されど全篇進取的にして快活に、可なり變化あり。子供には喜ばるべし。(初等上級以上、小説)

- 135 ほ と の た び 巖 谷 小 波 著
初版 1 冊 1.00 小石川區白山御殿町 抒情詩社

著者の明治三十六七年以來の旅行日記二十一篇を集めたるものなり。北は北海道より西は九州、朝鮮に至り、更に滿洲、北米合衆國に渡る。文輕妙にして、内容に厭味少しもなく、所々に著者自吟の俳句を挿入し、風景・人事を敘し、間々自己の感想を述べ、意見をはいて而もくどき所なし。日記文範として推薦の値あり。(中等中級以上、紀行)

- 136 偉 人 渡 邊 華 山 伊 奈 杏 太 郎 著
初版 1 冊 0.45 日本橋區本石町三 寶文館

華山の郷里田原に教員たる著者がその奉職滿十年を記念する爲に作りたるものなり。華山の傳と遺芳餘談と附録とに分ち、卷頭に華山の畫や絶筆や椿山筆華山の肖像をのせ、又書中に華山の孔子像田原侯康直の報民倉の額面を挿入したり。一面には華山を歴史的に知らしめんとして、欄外には書中にあらはれたる人々の系圖年代までをも記入し華山の年表をも載せたり。又一面よりは青年子女をして華山の孝行忠義について感憤興起せしめんとて其の逸事をも載せたり。遺芳餘談には鄭老蘭・中秋歩月・辛丑元旦之詩などの解釋及び俳句と和歌との解釋をもなせり。附録には退役亂書稿・慎機論・駄舌小記を輯めたり。大體青年の讀者をして感激せしむる所あらん。(中等中級以上、傳記)

- 137 精神 逸 話 の 泉 高 島 平 三 郎 編
初版 1 冊 1.00 洛 陽 堂

日本の昔の人々の逸話二百餘を秩序なく並べたるものなり。序文によれば本書は高島氏の編に非ずして監修なり。(中等初級以上、修養)

- 138 講演 逸 話 集 大 日 本 雄 辯 會 編 輯 部
再版 1 冊 本郷區駒込坂下町四八 大日本雄辯會

我が國は勿論東西古今の偉人傑士の言行中尤も興味ありて價值ある逸話の一節一節を集めたるものなり。尙齷齪には金言一束として古今

の名士の金言數百を集めたり。元より斷片的のものなれど講演の際の挿話として興味多き材料を蒐めたるものにて、修養資料とし又常識養成の資料として、隨時繙き見るに宜しかるべし。(中等初級以上、雜)

139 僕達のおとつさん

堀内新泉著

初版 1冊 1.10

日本橋區本銀町一 文正堂

主人公が、あらゆる貧苦困難と戦ひつゝ二十餘年間數人の子供を養育して、遂に成功の喜びに達せし迄の經歷を骨子としたるものにして一種の家庭小説として面白し。主人公夫妻は、信仰心深くして疑はず惑はず、真正直に其の日其の日を勵み行き、如何なる困難に會ひても世をはかなみ恨む如きことなく、幸も不幸も常に感謝の念を以て迎ふるといふ處に教訓的意味深し。又かゝる貧苦の中にも夫婦・親子間の愛情の流露するものあり。友人への親切・情義の麗はしきものなど殊に面白し。(中等上級、小説)

140 處世講話

加藤咄堂著

初版 1冊 0.90

牛込區神樂町一丁目 東亞堂

處世に關する諸問題を平易に記したるものにて青年の讀物として採用する價值あり。(中等上級、修養)

附記

141 文明の世

先づ文明の意義を明かにして、社會の進化を論じ、次に國家の本質を説きて政治と道德との關係に及び、道德に二種ある所以を述べ、立憲政治の本義に入り轉じて藝術家の人生觀を記し、以て新道德の要件特質を説き、更に轉じて裏面文明の異同を論じ、其の遂に歸一すべきを觀、終に新日本文明の融合を説き、尙附録として著者が最近に「太陽」誌上に掲載せる論文八種を録せり。(中等上級以上、雜)

第15回 (大正四年六月二十四日)

142 理科物語

堀七藏著

初版 1冊 0.50

神田區小川町 敬文館

飛行機と飛行船、音の罐詰等の題目の下に日常吾人の耳目に觸るる事五十項を集め、其の説明をなし、或は實驗方法を教へて理科的智識を與へ兼ねて教訓に資せんとしたるもの。理科に關する少年讀物の乏しき今日、洵に好箇の著書といふべし。(初等上級以上中等初級、理科)

143 東西御伽訓話

日比省吾編

初版 天地 2冊 各 0.55

神田區表神保町 中西屋

教訓に資すべき東西の實話、傳説を取合せて編したるもの、文章頗る平易にして趣味豊富なり。(初等上級以上中等初級、童話)

144 心の力

高橋正慈譯

初版 1冊 0.85

神田區表神保町一〇 通俗圖書中央販賣所

米國「成功」誌主筆マードン博士の著 Everyman a king を譯したるもの。心身の關係を論じ、心の力の偉大なる事を説き、心の統御、性格の陶冶は成功と光明とを齎らす事を教へたるもの。譯文平易なれば青年の讀物として好適のものといふべし。(中等上級、修養)

145 かちかち山續話

小波、湖山共編

初版 1冊 0.10

日本橋區本石町 博文館

かちかち山の惡狸が兎に退治せられて後、更に一匹の惡狐現はれて此の兎に退治せらるゝ話。(中等初級、童話)

第16回 (大正四年九月七日)

146 青年修養 着手の個所

山本瀧之助著

初版 1冊 0.95

洛陽堂

全篇五十章、悉く卑近にして實行に資すべき修養訓なり。文章も亦面白し。(中等初級、修養)

147 無絃琴

村井知至著

初版 1冊 0.80

神田旅籠町一ノ三〇 四方堂

著者が過去數年に亘りて折々に感知したる心靈的閃光を其のまま筆にして雑誌「道」に發表せる二百有餘篇の語録なり。言稍奇矯に走れるが如き點なきに非れども青年の思想を啓發するもの尠からず。(中等上級、雜)

148 セーヌの流

星野辰男譯

初版 1 冊 0.75 神田區表神保町一〇 通俗圖書中央館販賣所
佛蘭西の作家スーヴエストル、ドオデ、ユウゴオ、ハレヴィ、コツ
ペ、ペロオ、リシュテンベルジェ、リル等の傑作中の一節又は短篇を
譯したるもの。概して不純なる點なく、譯文も相當に流暢なり。(中等
中級、文學)

149 國聖としての日蓮上人 志村知鑑著

初版 1 冊 0.40 牛込區矢來町 新潮社

著者は日蓮を目して單なる一宗の開祖とせずして、日本を中心とし
て道義的に世界を統一せんとする大目的を抱ける聖人とせり。日蓮の
偉大なる一面を知るに適當なる書なり。唯書中日蓮の遺文を引ける處
一般青年には難解の感あり。(中等四年以上、傳記)

150 悅 樂 幸田露伴著

初版 1 冊 1.20 日本橋區本石町二 至誠堂

大正名著文庫の第十六篇。冒頭に「悅」の章あり、立志・學問・習熟の
順を追うて悅の境地に入る事を教へ、次で「樂」の章あり、志學・爲學・
時習・得功・有朋遠來の樂地に入るの順路を教へ、共に儒道の鼓吹な
り。其の文丁寧親切に過ぎて多少冗漫に流れたるの傾あり。青年少年
の讀物としては餘りに生氣を缺き、且學究に走りすぎて趣味の幾分を
殺げるが如き節なきに非ざれども、常識・修養に資する點少からず。
(中等上級以上、修養)

151 第二教育道話 安藝愛山著

再版 1 冊 0.40 本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會

通俗に、しかも面白く修養上の説話をなせるもの。青年子女の道德
的知識に資するもの多し。(中等初級以上、修養)

152 山東遍路 遲塚麗水著

初版 1 冊 0.65 日本橋區 春陽堂

著者が山東に遊びたる紀行文を集めたるもの。文章には難解の漢語
など比較的多く、聊か流暢を缺くが如く思はるゝ節もあれど材料が材
料だけに讀みて面白し。(中等上級以上、紀行)

153 徹底せよ 西村二郎譯(マーデン博士著)

初版 1 冊 0.55 神田區表神保町一〇 通俗圖書中央販賣所

米國の雜誌成功主筆マーデン博士の原著 “Do it to a finish.” を譯
せるもの。青年の弱點を指摘して熱烈なる忠言を與へたるものなり。
譯文亦流暢、讀んで解し易し。(中等中級、修養)

154 子規居士と余 高濱虛子著

初版 1 冊 0.90 本郷區元町二ノ二五 日月社

子規と著者との關係を明かにしたる書にして、詩人子規の面目を窺
ふには最も良好の書なり。文章も淡泊にして趣味多し。(中等上級、文
學)

155 椰子の葉蔭 川上瀧彌著

初版 1 冊 2.50 六 盟 館

臺灣總督府技師たりし著者が明治四十四年中南洋視察に出張したる
時の旅行記なり。記事中南洋に於ける殖産事業、熱帶植物等に関する
専門的の部分少なからざれども、著者の趣味と暢達なる筆とは一般讀
者をして、興味を以て讀過せしむるに足る。(中等上級、紀行)

156 人類進化の研究 丘淺次郎著

初版 1 冊 1.00 神田區鍋町 大學館

著者が、中央公論其の他の雜誌に載せたる論文を、集めたるもの。
「理科の精神」「人類に對する自然の復讐」「精神的思想的方面の自然の
復讐」「人類の將來」「人類退化の傾向」「生物の壽命」「團體の生存競争」
「文明の弊の源」其の他十四項あり。(中等上級、理科)

157 青年の進路 遠藤隆吉著

初版 1 冊 0.70 神田區駿河臺袋町 國民書院

「希望の青年」「立志」「常識の學問」等十二項に分ちて青年に向上發
展の道を説きたるもの。文章質實にして平易なり。(中等上級、修養)

158 歷史物語 血吹雪 平井晚村著

初版 1 冊 0.60 神田區神保町 一橋堂

武士の悲劇的短話を多く集めたるもの。文章遒勁にして流暢大に興
味あり。たゞ漢字の當て字を多く使用せる事、送り假名の亂雜なる事
等は聊か遺憾なる點とす。(中等中級以上、歷史、文學)

159 ラジウムとエックス線 高田徳佐著

初版 1 冊 0.50 牛込區白銀町二〇 育英書院

輓近の二大發明にかゝるラジウムとエツキス線とを平易通俗に説明せるもの。文章明晰にして且挿繪鮮明なるが故に、愉快に讀了するを得。(中等上級、理科)

- 160 松山鏡續話 金太郎續話 小波 湖山共編
初版 各 1 冊 0.10 日本橋區本石町 博文館

前者は美醜二人の姉妹の心を松山鏡で立派になほすといふ話、後者は本物の金太郎が都へ出た後、第二の金太郎が足柄山へ入つて來る話。(初等中級、童話)

- 161 男の中の男 大町桂月著
三版 1 冊 1.00 牛込區神樂町 東亞堂

主として山中鹿之助を傳し、添ふるに惡源太義平、那須與一、曾我兄弟、阿新丸、熊王、楠正行、甲賀孫兵衛、森蘭丸等を以てせり。鹿之助を叙する最も力ありて興味を覺ゆ。(中等中級、傳記)

第 17 回 (大正四年九月三十日)

- 162 筆のまにまに 芳賀矢一著
初版 1 冊 1.00 神田區裏神保町 富山房

諸所の會合に於ける講演、雜誌に寄せたるもの等を集めたもの、論文あり、感想文あり、有益にして面白く、氣品あり。(中等上級以上、隨筆)

- 163 家庭学校 お話の種 下篇少年の部 少年世界同人編
初版 1 冊 0.75 日本橋區本石町三 博文館

訓話に資すべき、傳記逸話に配するに、自然界の趣味ある題材を以てす。各篇短きに過ぐる嫌はあれど話の種を多く得るに便益多きもの。(初等中級以上中等初級、雜)

- 164 恩賜の義脚 大塚文雄著
初版 1 冊 1.20 下谷區清水町 修養會出版部

日露戰役に於て右肺貫通銃創を受け堆雪の上、伏屍狼藉の中に曝露する三晝夜、具さに人生の苦楚を嘗め、幾多忠烈の最期を目睹し、切に國魂の敬重すべき事を感知したる著者なれば、軍事精神、戦場の凄慘等感激に満ち、戦傷者に對する國民の同情を涌かしむ。(中等上級以

上、修養)

- 165 アイヴァンホー 大町桂月著
初版 1 冊 0.80 神田區佐久間町四 植竹書院

世界名著選の内。スコットの原文を抄譯せるもの、行文穩健、挿畫の利用も相當に出來たり。(中等初級、小説)

- 166 ボンベイ最後の日 大町桂月譯
初版 1 冊 0.80 植竹書院

世界名著選第一篇。英國の政治家にして小説家たるリットン卿が、親しくボンベイに臨みて研究思索、靈感一度到つて筆を呵したる原著結構の雄大莊嚴にして、波瀾重疊、興趣窮りなきは既に世の認むる所而して此の譯は克く此の趣を傳ふ。希臘の貴族グローカスとアイオンとの戀物語を骨子として、之に配するに盲目の少女ニヂアと、埃及の王孫魔術師アーベセスとを以てす。神人純正の愛を説けるものながら、第十五頁、第三十五頁等、全篇通じて漲る戀愛の氣の内に、特に際立ちて甚だしき個所もあれど、以て一篇の功を没する程の罪にあらじ。(中等、小説)

- 167 久堅町にて 安井哲著
初版 1 冊 1.00 京橋區 警 醒 社

著者が明治四十二年以降雜誌に發表せるを集めしもの。女史は海老名氏の教會に屬する熱心なる基督教徒にて、基督教と家庭とを結合して説を爲す。若き女子の思想を理想化し過ぐる患なきにあらねど、先づ先づ穩健。(初等卒業以上、修養)

- 168 牛 岡本米藏著
初版 1 冊 0.85 日本橋區本石町三 博文館

牛といふも「牛に牽かれて善光寺詣り」といふ所より呼べるのみ。國家と人生とを主眼として、民族發展と海外事業とを諸方面より論究す。青年壯年を誨へ勵ます所あるべし。文章簡易明晰。(中等中級以上、修養)

- 169 立志故郷 堀内新泉著
初版 1 冊 0.95 本郷區弓町 成功雜誌社

横岡勇作といふ少年、赤貧の家に生れ、刻苦して小學校の首席を占

む。偶々弟の死に發憤し、良醫となりて世を濟はんと志し、備に辛酸を嘗めて、臆て開業醫の試験に及第し、南清のペスト流行地に到りて資金を得、遂に故郷に歸りて開業し、地方の爲に盡力せりといふ筋。著者の序文には實際に基づく旨記したれど、文章にも事實にも態とらしき節制からず。されど趣意形式共に可ならむ。(中等中級以上、小説)

- 170 **日本一の畫噺** 巖谷小波著 岡野榮畫
初版 4冊 各 0.13 神田區表神保町 中西屋

ムシノセカイ、ウシ、クマ、ウラシマと一冊宛なり。題目の如く畫を主とし、美し。只シルエツト式が往々今一筆と思はるゝ點なきにあらず。言葉が自然に歌の如くリズムを爲し、形式内容稍々高尚に過ぐる事あるも、自然に覚え込ましむるを得べし。(五六歳位の小兒向繪噺)

- 171 **英語 夏休みの読み物 第四年用** 片山寛著
再版 1冊 0.35 麹町區富士見町 研究社

アラビヤ夜話中のエンチャテツドホース、ユーゴーのラ・ミゼラブル中のデャンブルヂャン、ホーマーのオディシー中のユーリセス、セルヴァンテスのドンキホーテといふ四篇を集む。片山氏の加筆其の度を得、註釋と共に中學生自習書として感興多からむ。凡て有名なるものにして、事實を動かすは容易にあらずと雖も、エンチャテツドホースに於ける波斯王子が印度王女の寝顔に見惚れて戀慕に陥るなど、西洋の讀物には斯る類の事、多ければ、指導者に於て然るべき注意を要すべし。(中等上級、語學)

- 172 **蒙古及滿洲** 鳥居龍藏著
初版 1冊 0.20 神田區裏神保町 富山房

時事叢書第二十六編。南滿及び內蒙古を主題とし地理學人類學の上より觀察し、人情風俗等を詳述し、旅行者への注意をも加ふ。蒙古學の權威たる著者が、三年間實地踏査したる蒐録なれば、我が國人を啓發する大なり。著者の自ら撮影せる寫眞と地圖とは、又此の書の重大要素なるも、その地圖の甚だしく不鮮明なるは惜しむべし。(中等中級以上、地理)

- 173 **巴奈馬運河見物** 鳥谷亮輔著
初版 1冊 神田區裏神保町 富山房

時事叢書の内。巴奈馬運河と世界の交通、米國が經營するに至れる迄の變革、巴奈馬の地形、運河建設に就いての米人の苦心努力、運河の構造及現況、鑿設の經費、通過料、運河地帯の防備、巴奈馬の古今等著者の實見を記す。巴奈馬運河そのものの知識のみならず、我が海運業に何等か暗示する感あり。紀行文風にあらずして學術的、組織的隨つて數字を挙げ沿革を述べ、外交經濟等の方面に亘り、幾分難解の感あれど、文明晰。(中等上級以上、地理)

- 174 **ピット** 島田三郎、栗原元吉共著
初版 1冊 1.00 日本橋區本石町三 博文館

偉人傳叢書の第十一篇。先づ老ピットを叙して序幕となし、二十一歳にして下院に列し、二十四歳にして內閣總理大臣となり、渾身の精力を英國世界政策の樹立に傾倒する二十年、奈翁の雄を以てして一指を英國に染め得ざらしめし曠古の大政治家少ピットの偉勳を論ず。背景たる世界當時の形勢が現今に類するものあり、今日の青少年に讀ましめて益する所大なるべし。文亦可。(中等上級以上、歴史)

第 18 回 (大正四年十月二十八日)

- 175 **タゴールの思想及宗教** 江部鳴村著
初版 1冊 0.70 本郷區元町二ノ二五 日月社

タゴールの思想を平明流暢に叙述したるもの、興味深き著述なり。殊に其の「文明評論」中に東西文明を比較して東洋文明の爲に氣焰を擧げたる所など、共鳴せしむるもの少からず。(中等上級以上、思想)

- 176 **世界に於ける自然の奇觀** 横山又次郎著
初版 1冊 1.50 京橋區南橫町 廣文堂

世界地理中、人の拾ひ讀みに値すべき要項を蒐めたるもの、地理、理科の補ひとして興味多く、有益なり。稍々難解の個所なきにあらねど概ね可なり。(中等上級以上、地理、理科)

- 177 **南洋記** 島津久賢著
初版 1冊 0.90 日本橋通 春陽堂

新附の南洋、日尙浅くして、雨後の筍の如く出づる幾多の記録、多くは數週月餘の巡遊中見聞せる所、随つて根據薄弱、何れも正否相半するは遺憾なり。本書亦其の選に漏れず、筆致輕快、讀んで面白きも、輕浮誇大の嫌なき能はず。本書を特に採擇する所以は、類書中の白眉たりと云ふに非ず、其の筆の美しく、方面の廣きを採れるのみ。事實に於て疑を存するの條件を付す。(中等以上、雜)

- 178 健 男 兒 上 井 磯 吉 譯
初版 1 冊 0.35 本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會

人口に膾炙せる伊太利のエドモンドドアマチスのクオレの中「母を慕うて幾千里」等數章を譯出す。原著は既に世界各國に紹介せられ、少年讀物として定評あり。随つて本書の我が少年に適する亦言を俟たず。文章もよし。(初等上級以上、物語)

- 179 人 生 訓 衛 藤 利 夫 編
初版 1 冊 1.00 牛込區神樂町 東亞堂

三宅博士の著書中、絶妙の個所を集めたるもの、趣味あり利益多し。稍々高價の感あり。(中等上級以上、修養)

- 180 賢 母 物 語 渡 邊 白 水 著
初版 1 冊 0.60 京橋區南紺屋町一二 實業之日本社

和漢洋に亘りて賢母の事蹟二十餘種を叙述し、世の母たる人及び母たらむとする人の教訓たらしめむとするもの。所謂偉人の蔭には賢母在る事實を、興味ある筆を以て眞面目に記述したるものなれば、母徳修養の上に良き書物なり。(高女初級以上、物語)

- 181 旅 か ら 旅 加 藤 咄 堂 著
初版 1 冊 1.20 日本橋區 玉誠堂

著者が日本中を旅行して、随時に抱きし感想を経とし、其の見聞せる口碑傳説を緯とし、山水の美、國民性の地的分布、名所史蹟の由來地方人情の趣等を窺はしむ。徒らに、古人の文を點綴して雜駁の嫌なきにあらずと雖も、内容の豊富、文章の絢爛、讀んで益多く、趣深し。(中等初級以上、雜)

- 182 ニコニコ處世法 牧 野 元 次 郎 著
初版 1 冊 1.00 麹町區飯田町 中山春秋社

著者年來主張の處世法を鼓吹する物、沈鬱者多き現代には良藥たるべし。面白く平易に讀まれ、實世間に立ちたる人に特に適するが如し。(中等初級以上、修養)

- 183 青^の自 省 訓 平 田 東 助 述
初版 1 冊 0.80 神田區錦町 平和社

平田子爵の講演を藤澤衛彦氏の編纂せるもの。國民の美德良風を養成し、道德經濟の協同一致を計る所以を述ぶ。勅語、御製、御歌等を引用し、皇室と國民とを結付けんとせる跡著し。行文平易、思想穩健。(中等上級以上、修養)

- 184 狸 爺 家 康 長 田 偶 得 著
初版 1 冊 0.70 本郷區弓町 成功雜誌社

第一、家康と秀吉とは壽命の一點に於て勝敗の決したること、第二家康の天下統一の成功が用意の綿密周到に因すること、第三、家康の道德が老子道德經を活用せること等を説き、文章痛快、一讀三歎せしむるものあり。天海僧正、春日局等讀むべき大文字に滿つ。(中等中級以上、歴史)

- 185 動 物 繪 噺 石 川 千 代 松 藤 澤 衛 彦 共 著
初版 1 冊 0.65 神田區裏神保町 中西屋

海陸及空中の動物二十五種の彩畫に、御伽話風の解説を附し、其の下に石川博士の手になれる各動物の戸籍表(性質、原籍、住所、特徴、備考)を添へたり。有益にして趣味あり。缺點は虎の顔の滑稽なる、ナマケモノの四肢の毛の生え方の誤れる、ハリネズミがヤマアラシの如く描かれたる等なり。製本の堅牢最も嬉し。但し子供の本としては價今少し安からばと思はる。(初等中級以上、理科)

- 186 豪 俠 傳 伊 藤 仁 太 郎 著
初版 1 冊 0.90 仁友社

頼山陽、徳川慶喜、山内容堂、大西郷、桐野利秋、三浦觀樹等近世の人物を側面若しくは裏面より觀察し、時代の背景を巧に用ひしもの、痴遊獨得の高等講談、趣味と實益とを併せ得たるもの。(中等上級以上、雜)

- 187 家 庭 百 話 安 藝 安 山 著

初版 1 冊 0.50 本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會

社會改良に幾分の貢獻をなさんとて、其の根本たる家庭を改良せんとする本書は、女子の品位を高めん爲に、女子日常の心得、一家經濟の持ち様、來客に對する注意、子女教育の注意等一百項に亘りて、平易に面白く記述せるものなり。(中等上級以上、修養)

188 兩京去留誌 徳富猪一郎著

初版 1 冊 1.50 京橋區日吉町 民友社

著者が明治四十三年夏寺内總督赴任以後、京城に往復せる舟車中の出來事、京城滯留中の遊行、諸會合等を記し、朝鮮の風光を論じ、人情風俗を細抒す。其の雲養集の評論、朝鮮統治の批判等、著者の力癪の入りたるピースにして、吾人を啓發する所多し。文體に變化あれど著者特有の信實を免れず。されど其の着眼の非凡と造句の妙とは、能く之を補ひて一氣に読み去らしむ。少々高價の嫌あれど、表装題字挿畫等何れも由緒あり。高尚なる書物なり。(中等上級以上、紀行)

189 栗山大膳 福本誠著

初版 1 冊 1.60 京橋區南紺屋町一二 實業之日本社

先づ栗山大膳の家系を述べ、次に其の傳記を叙し、附録として大膳に次ぐ黒田家の名臣堀平右衛門、吉田久太夫を傳し、又研究の一斑といふ章を設けて、從來流本せる大膳の傳記書類を考證したり。大膳が忠誠非凡にして學識を具へ、稀に見る英傑なりしことを知り得るのみならず、幕府對諸侯の關係を知るにも大に利益あり。且著者が此の著によりて暗に一國の宰臣たるものを諷する所、讀むべき文字なるべし。著者一流の難語句ありと雖も行文力強し。(中等上級以上、歴史)

190 今日印度 山上曹源著

初版 1 冊 0.85 玄黃社

著者が曹洞宗大學の留學生として七年間印度に居り、其の間の見聞と研究とを披瀝せるもの。印度の日英、印度の不穩、その他教育、思想、言語、社會組織、軍政、政治、政治運動、宗教、文學、女子等十四項に亘り、比較的面白く平易に書きたり。宗教、文學の方面に特に深きが如しと雖も我田引水に走らず、先づ先づ公平に一般的觀察を傳ふるものといふべし。今日の印度は我が國上下の研究を要する地域な

り。此の意味に於て専門的ならぬ此の類の智識は、一般の注意を向けしむべきもの。(中等以上、地理)

191 クォヴァチス 大町桂月譯

初版 1 冊 0.80 植竹書院

世界名著選第三編。シエンキウキツチ原著。勇士ヴィニチウスと少女リヂャとの戀愛といふ題材に問題あらむもローマ帝政の末路に泣きクオヴデス、ドミノ(我が主よ、何處へ行く)の結びに於ける信の力に憧がるゝ美しき情緒は、洵に千古不朽の名著。譯者の之を抄出するにあたり、家庭讀物として特別に注意し、省略せる所も尠からざれば、青少年讀物として適當なり。(中等上級以上、小説)

192 戦に使用 杉村楚人冠著

歐洲大戰に就いての書多き中に最も上品にして力あり愉快なるものの一。單なる紀行文と異なり縦横活躍の文字。「白耳義の運命」「Wait-and See ism」など、特に日本に取りても大に考ふべき事項。二三戀愛物語あれど決して不味のものにあらず。語學上にも啓發の力ある所多し。(中等中級以上、雜)

第 19 回 (大正四年十一月二十九日)

193 國民道德訓 徳川達孝述、平塚雉鳩編

初版 1 冊 1.20 日本橋區本石町二 至誠堂

元々奇抜なるべからざる事柄の叙述なれば、讀むに多少の意思を要するは云ふに及ばず。漢文口調の口語文に、名文、名詩、名歌、名句金言等を多く引用して、文學趣味を添ふるに苦心せる跡歴然たり。重大なる問題を内容とする書物として、用意十分に近し。(中等中級以上修養)

194 間牒の最後 松山思水著

初版 1 冊 0.35 京橋區南紺屋町 實業之日本社

亞米利加の間牒が日本に入込み、科學の力を以て軍事秘密を探らむとするを、日本の少年が非常の苦心を以て極力妨害し、遂に之を殺すといふ如き筋にて、恐ろしく架空的のもの。知らず知らず読み終る程面白く、而も國家觀念を固め、科學を尊重するの志を養ふ力甚だ大な

りと認む。(中等初級以上、小説)

195 墜落の日まで

星野米三著

初版 1冊 0.60

麴町區一番町 大成堂

米國に遊びて飛行機熱の旺なるに感じ、あらゆる辛苦を嘗めて彼の地の飛行學校に學び、歸朝後濱松に於て墜落せる民間飛行家なる著者が、其の間の曲折を記せるもの、附するに通俗飛行機講話、實行飛行の二項を以てす。文章平易にして趣味あり、現下少年の愛好すべき書物。(中等初級以上、雜)

196 大學出の兵隊さん

奥野他見男著

再版 1冊 0.35

日本橋區鐵砲町 磯部甲陽堂

兵營生活のスツパヌキ。されど軍隊の威嚴を損ふものにあらずしてテキパキと無邪氣に、飽くまで男性的なる氣分に満ちたる生活としての軍隊を寫す。筆の稍とまわり過ぐる感あれど、少年には面白く讀まるべし。(中等初級以上、雜)

197 をりをりぐさ

跡見花蹊著、實業之日本社撰

初版 1冊 1.30

京橋區南紺屋町一二 實業之日本社

著者の女子に對する教訓、感想、追憶、和歌、紀行を集めたるもの。雜然たる感あれど部分的に有益なり。(中等上級、雜)

198 獨逸從軍記

宅家壽男譯

初版 1冊 0.80

大倉書店

前編は西部從軍記にしてスヴンヘデン博士の原文を、後篇は、東部從軍記にして、伯林日報の記者パウル・リンデンベルグ氏及び漢堡報知のロツルブランド氏の原文を、譯したるもの。共に獨逸側の美點のみを擧げたる所大に割引して讀むべきもの。されど又聯合軍側の報導を主として知れる吾等日本人には、又大に參考となるべし。(中等中級以上、雜)

199 修養實訓

友田宜剛著

初版 1冊 0.50

本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會

禪の内觀の法と岡田式靜坐法とを比較論評して、岡田式は岡田氏の獨創にあらず、又一層の精彩を加へたきを陳べ、禪の内觀の法が精神修養上偉大の効果ありとし、忠孝も之に因つて全きを得べしと論じ、

結局大正の帝國をして健全なる發達を遂げしめんには、禪に俟たざるべからずと説く。用語稍と難かるべきも、青年讀物として振假名頭註等極めて親切なり。(中等上級以上、修養)

200 枳の落葉

天野弘一著

三版 1冊 0.65

京橋區銀座三 天野法律事務所

枳木縣の人なるが爲め、又は嘗て下野新聞に掲載したるものなるが爲に、此の名あらむ。酌婦論、盆踊論、藝者の手踊論等隨分裏面を抉ぐるものあり、又活教育、國民覺悟、唱歌體操、學校掃除等の問題あり。一般青少年よりも寧ろ、教育事業に志す青年にとり有益有趣の書なりと認む。(中等以上、教育)

201 アマゾン探検記

中村直吉著

初版 1冊 1.00

日本橋本銀町 啓成社

著者自らの探検を簡易輕快に記せるもの、動物に偏する傾あるも、趣味が青少年に適するのみならず、地理博物の知識を養ひ、大陸的氣魄の培養に効力大なるべし。(中等以上、地理)

202 教訓叢書 第二編 處世講話

足立栗園著

初版 1冊 0.35

神田區 文陽堂

教育勅語中の「夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己ヲ持シ博愛衆ニ及ホシ」の御趣意を敷衍して通俗的に説けるもの。下篇に關係の古歌金言を附録に教訓俚言を採る。(中等上級、修養)

203 靜感

水野鍊太郎著

初版 四六判 344頁 1.20

神田今川小路 清水書店

錄する所三十九篇、何れも政治行政に關するもの、著者が官に在る二十年の感想を基礎とす。大人特に政治に關係ある大人の讀むべきものなれど、「世界に於ける獨逸魂」「大獨逸帝國の建設」「師弟の情誼」「地方青年訓」等、中學卒業生等の讀むべきものもあり。(中等以上、隨筆)

204 東西魂鏡 日本魂と獨逸魂

東西比較研究會編

初版 1冊 0.50

麴町區飯田町 法文館

世界の驚異獨逸帝國の力ある所以を歴史的に説き、米國魂を引合せ日本魂の特質を論ず。極めて眞摯の筆、而も熱情あり、讀みて割合に厭かず。各民族の長短を知り、國粹の自覺を促すに力大ならむ。(中等

上級以上、雜)

205 歐洲動亂史論 吉野作造 著

初版 1 冊 1.80 京橋區座銀 警醒社

嘗て中央公論に連載せる物を集む。奥國皇太子遭難に筆を起して、關係列國の人種的政治的葛藤を細叙し、伊太利參加に筆を收む。活きたる事實の面白きに引替へ、文章あまり宣しからず、且西洋歴史地理の素養を特別に必要とするの缺點あり。(中等上級以上、歴史)

206 至誠と努力 澁澤榮一 著

初版 1 冊 1.20 京橋 榮文館

いかめしき題目も此の著者によりて態とらしき感なし。論語一卷是れ著者の羅針盤たる事此の書にも窺はる。人生論、人格と社會、學問と社會、青年に對して、處世策、生活難について、事務處理法、教育の眞面目、慈善と救濟事業、社會の弊風と改善策、肉體の鍛鍊等翁自らの修養談。最後の父母の倂は一語千金。(中等上級、修養)

207 獨逸落ち 小田部莊一郎 著

初版 1 冊 0.95 京橋區銀座 警醒社

醫學研究の爲めハルレに在りし著者が大正三年八月十九日に同地を出發して和蘭に逃れんとし、翌日シベアテ驛にて捕へられ、諸方の監獄に苦しみ、十一月十一日放免せられしといふ間の經驗、感想、見聞等を記す。開戰當時の獨逸の狀況、戰時國民の心理狀態を窺ふに足る。平易にして興味あり。(中等中級以上、雜)

第 20 回 (大正五年一月二十七日)

208 立命順逆論 中野天心 著

初版 1 冊 0.95 麴町區有樂町 實業之世界社

前後二篇に分れ、前篇は逆境を論じ後篇は順境を説く。逆順は環の如く極りなしと雖も眞に順境を楽しまむ爲には逆境を経、之を超脱せざるべからずとの趣旨なり。漢文口調の生硬の嫌はあれど力あり、引例は稍々難駁の感を起すも有益なり。(中等上級以上、修養)

209 道家修養芳譚 熊田子之四郎 著

再版 1 冊 0.70 麴町區富士見町二ノ二四 三才社

道歌四百首を選択し、之に解釋を附し、實例を加ふ、興味あり、興起奮闘せしむる力あり。但し實例の表題課目に合はざるもの尠からず、又斷片的にして實なき嫌あり。特に教師の材料として適するを覺ゆ。(中等中級以上、修養)。

210 家庭日本歴史 内海弘藏 著

初版 1 冊 2.30 神田 中西屋

開闢から大正初代までの日本歴史を平易に表せる者、少年に日本歴史の智識を供給し、併せて國史の趣味を養成する良書。多少贅澤過ぎる様なるは惜し。(初等上級以上中等初級、歴史)

211 田園訓 高山秀雄 著

初版 1 冊 0.50 洛陽堂

田園の、趣味よりも寧ろ人生、特に日本國民に取りて貴重なることを知らしめむとの企の如く、巻頭には崇神天皇以來歷代勸農の詔を掲げたり。本文項を立つる五十七、賢君明相の訓言、爲政者の勤儉質素の諭告等を始め、農業に従事するものゝ心得を説くこと適切なり。農村青年に取りて誠に恰好の讀物。俗謡の改良を叫び居るあたり、著眼多とすべしと雖も模範として示されたる歌は往々理に走る嫌あり。ポケット型なるもよし。(中等初級以上、雜)

212 列強の不要と野心 岡成志、中澤權藏共著

初版 1 冊 0.60 神田區表神保町 安田書店

十章に分ちて歐洲列強の國情と、其の相互關係を説き、離反併盟の原因、人種的争闘を述ぶ。軍事、政治、文學等の各方面より叩きて面白し。但各章大抵一部の書の抄譯なるを以て、同一問題に同じからざる見解あり、前後重複を免れざるは遺憾なり。(中等上級、雜)

213 日和下駄 永井荷風 著

初版 1 冊 1.00 麴町區有樂町 叔山書店

一名東京散歩記といふ。江戸趣味の荷風氏が、淫詞、露路、空地、崖など散歩しつゝ味ひたる詩趣詩情を書付けたるもの。而して現代の東京の繁昌を觀ずして、江戸時代の物の亡び行くを慨する態度なるは元より其の所。一代の作家として文の妙は勿論、北齊廣重等浮世繪の引合されたるなど、藝に遊ぶの心懷を高尙に満足せしむる佳作。特に

東京人及び特別の嗜好家に奨む。(中等上級以上、文學)

214 大典記念國民訓

長澤林太郎編

初版 1冊 袖珍93頁 0.20 衆議院構内議員俱樂部内
御大典記念國民訓編纂會

壊敗せむとする現代社會に覺醒劑として成るべく廣く讀ませむとの企圖ならむ。編纂査定會といふがありて、徳富猪一郎、床次竹二郎、川村景明、大倉喜八郎、田所美治等多數の名士を網羅す。内容は國體を辨ふる事、皇室を尊ぶこと等、而して最後に國民の本分を守ることありて、其の内に武勇、操持、自恃等の主徳を説けるも、亦、現代の通弊を知る者、文暢達。(中等中級以上、修養)

215 軍國主義

蜷川新著

初版 1冊 1.00 神田區裏神保町 富山房

軍國主義の意義より起し、日本固有の軍國精神を歴史的に説き、白哲人の内面夜叉の如き假面を憎み、將來の帝國は國民自ら覺醒して軍力の充實を計り、軍國主義を確立するを要すと論じ、終に平和との關係を以て結ぶ。(中等上級以上、雜)

216 祖國を顧みて

川上肇著

再版 1冊 1.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社

熱烈なる日本主義者にして經濟學の見識高き著者が西洋文明と日本文明とを比較し、英獨國情の相違の研究を以て地山の石たるを教ふ。觀察鋭敏、文章暢達。國民性涵養に益多し。(中等上級以上、雜)

217 日の丸御伽文庫

小波山人編

初版 5冊 四六判半裁 1冊 0.25 神田 中西屋

各八乃至十の御伽話を集めたり。大體面白く讀まる。製本例の通り堅牢高尚なれど、價頗る廉ならず。(初等中級以上、童話)

218 國史八面觀

久米邦武著

初版 1冊 1.20 日本橋區鐵砲町六 磯部甲陽堂

凡そ崇神天皇より天武天皇頃までの國史中表面に表はれざる諸種の事實を記載したるものにて、歴史思想の常識を養ふに適す。但し一通り日本史を終りたる後ならざれば讀んで益少からむ。(中等以上、歴史)

第 21 回 (大正五年二月二十九日)

219 詩傳乃木大將

兒玉花外著

初版 1冊 菊判半裁 620頁 0.89 麹町區平河町 金尾文淵堂

乃木大將一生の逸事等を熱血詩人の稱ある花外氏が約百五十篇七五調本位の長短の詩に歌へるもの。語法修辭に花外式の無理あり。又嚴肅なる可きものに殊更めきたる比喩かけことば等あるも、材料が材料にて、殊に學習院長時代の將軍の逸話は、幾度何處に讀むも常に新しき印象を與ふ。五十頁、百四十二頁、百五十四頁、百七十九頁、二百十二頁、二百卅七頁、二百四十五頁、三百廿一頁、三百七十二頁、四百四頁、四百五十頁等は、語法修訂の上にて國語讀本に入れたきもの也。(中等初級以上、傳記)

220 我が南洋

山崎直方著

初版 1冊 四六判 208頁 1.10 京橋區南横町十八 廣文堂

南洋占領後、官命を奉じて之を視察研究せる著者が、其の實地見聞を該博なる知識と趣味ある筆致とを以て書き表せるもの。南洋諸島の成因、珊瑚礁、占領地附近の海底、椰子の利益、燐礦の産出、土人と其生活、獨逸の南洋經營と我が施設等地理學見地に政治、經濟等の方面を加へ、頗る有益多趣味のもの。學術的なれども固苦しからず、面白けれども教育家的態度を忘れず、南洋記類の隨一。(中等初級以上、地理)

221 日蓮上人

熊田宗太郎著

初版 1冊 袖珍 609頁 1.20 牛込區市谷見付 良書刊行會

奇蹟に満ち靈性に溢れたる日蓮上人、何人が之を述ぶるも人を動かして止まざる材料、然も本書は取材の範圍も文章の洗鍊も相當によし。佛典を引きたる點、稍難解の感あれども了解を助くるに十分の用意あり。(中等上級、傳記)

222 清澤先生の教訓

浩々洞篇

初版 1冊 袖珍 184頁 0.60 東京府下巢鴨2ノ35 無我山房

他力の信仰に絶對の安心を得たる清澤滿之氏の倫理宗教觀を其の全集三卷中より抜萃したるもの。集る處短文一百、我と絶對との關係、生死を脱せる絶對境、等の問題に關し心眼を開かしめらるゝもの少からず。(中等上級以上、修養)

- 223 佛教お伽噺 第一篇 荒井涙光 著
初版 1 冊 四六判 250 頁 0.50 小石川區大塚窪町 大樹園
佛典中青少年少女に興味ある如き譬喩譚を骨子として一話の前後に教訓を付したり。往々間の抜けたるもの、説教臭きもの、我が國情に合はざるものなきにあらねど、大體はお伽の目的にも叶ひ、多少の教訓ともなるべし。(初等以上中等初級、童話)
- 224 北方の流星王 箕作元八 著
初版 1 冊 菊判 274 頁 0.85 日本橋區本石町 博文館
西洋史新話第八篇にして、スエーデン王チャールス十二世の活動を叙述せるもの文章少々嫌たらぬ所なきにあらず。(中等上級以上、史傳)
- 225 シャーロット・ホルムス(1) 加藤朝鳥 譯
初版 1 冊 四六判 203 頁 0.70 牛込區西五軒町 天弦堂
我が國の英語讀物として人口に膾炙するサー、アーサー、コナン・ドイルの探偵小説メモアズ、オヴ、シャーロット・ホームズ中、鴉片窟、老嬢赤頭組、蜜柑の種子五つ、といふ四篇を採りて收む。アメリカのエドガー・アラン・ポーと共に科學的數學的觀察を入れて有名なる Doyle、其の探偵ホームズの神祕不可思議なる活動の興味深きは世既に定評あり。而して譯文は平明暢達、讀みて厭くことを知らず。(中等、小説)
- 226 徳川家康言行録 百目木智璉 著
初版 1 冊 四六判 164 頁 0.30 牛込區神樂坂町 東亞堂
修養史傳の第四篇なり。時代と生涯、逸話と遺訓の二部に分ち、家康の傳記を叙しつつ其の武勇、智略、仁慈、節儉、謙抑等の實質を顯すに努めたり。只あまりに家康を高徳の人とし、月旦の正鵠を失するの嫌あり。又語句の難解の所なきにあらず。されど内容の採り方も趣味あり、文章も雅麗に出来たり。(中等初級以上、傳記)
- 227 熊の嘯 河合裸石 著
初版 1 冊 菊判半裁 372 頁 0.50 京橋區本材木町 求光閣
著者は小樽の新聞記者かと思はる。自然と人、熊と人、社會と人、三篇、主として北海道の風景、熊との争鬭、情趣に富む傳説等を採れる北海道文學なり。文章稍穉氣あれども、材も筆も共に近來の好書ならむ。(中等以上、紀行)

- 228 新作お噺學校 少年文學研究會編
初版 1 冊 四六判 277 頁 0.60 神田區小川町 敬文館
淡水、冷光、蘆村、小峽、萍水、美佐雄、秋生、絲遊、鳴秋、佳水十氏の作を集む。日本物、西洋物、翻案物、ドラマ等百花爛漫、大部分新作にして、古い時代を慕はしむると同時に、最近文化にも觸れしむ。「闇の鳥」(蘆村)「鳴る鐘の音」(小峽)の二篇は子供には少しく味ひ兼ねる様思はる。(初等中級以上中等初級、童話)
- 229 青年義勇讀本 遠藤隆吉 龜岡泰辰共著
初版 1 冊 菊判 190 頁 0.35 牛込區飯田町 軍友協會
皇室、國體及國民、國民の記念と尊重、義勇奉公、崇高、青年の修養等各項皆適切の内容なり。自由に讀む書としては稍々興趣に乏しき嫌あらむも今日の青年に薦めたき書なり。(初等、修養)
- 230 海賊街 松山思水 著
初版 1 冊 四六判 356 頁 0.35 京橋區南紺屋町 實業之日本社
痛快小説と銘打ちたるもの、小野といふ青年が海賊を退治して南洋の一島を開拓する物語。少年にはおもしろかるべし。(初等上級以上、小説)
- 231 エムデンの奮戦 宮家壽男 譯
初版 1 冊 四六判 200 頁 0.75 神田區千代田町 如山堂
エムデンの名は今日の吾人に一種強烈の響を傳ふ。其の奮闘、其の剛膽、海に陸に獨逸魂の發揮せらるゝ所本書傳へて遺憾なく、吾人の情氣を治するものあり。エムデン艦長ミュツケの著とあれど、其の談話を集めて譯述せるなるべし。價少しく廉ならず。(中等中級以上、雜)
- 232 久米の平内 小金井蘆州 著
初版 1 冊 四六判 206 頁 0.50 京橋區柳町 通一舎
武勇傳、講談物、別に上々と云ひ難し。讀んで面白く、壯絶快絶の内に讀破する所其の長所なり。中に挑發的の所あれど、少年には寧ろ感ぜず武勇談の筋のみ彼等を忙殺するなるべし。(初等上級以上中等初級、講談)

233 野の花

ハーデイ夫人原著 黒岩涙香譯

初版 1冊 縮刷版 502頁 1.30 京橋區北嶺町 扶桑堂

ハーデイ夫人の「母の心」は、純良無垢なる田舎育ちの娘が貴族に嫁して種々の波瀾と曲折とに弄ばるゝ間に女性の清き愛をあらはすと云ふ趣意にて、家庭小説として聲價あり。本書は其の譯として既に定評あり。婦人讀物として可なるべく、又一般少年少女に推奨すべし。(初等上級以上、小説)

234 目と耳と口

巖谷小波著

初版 1冊 ポケット形 345頁 1.00

京橋區元數寄屋町三 耕文社

著者の隨感隨想を集めしもの、目の部は旅行中の觀察、耳の部は按摩との對話、珍聞奇談、口の部は議論的のもの、文何れも輕妙洒脫、別に有益とも思はれねど好讀物。「左様なら」の一篇稍々缺點あれど、全體として推奨すべし。(中等中級以上、隨筆)

235 人としての道

小原要逸 山内節三共著

初版 1冊 四六判 275頁 0.80 京橋區因幡町 大日本青年團本部

全篇二十章、平易にして履踐し易き徳目を選びて、極めて簡明に説けるもの。物足らぬ感なきにあらざれどもわかり易く厭味なく、實例亦可なり。(中等初級、修養)

236 Seiyô-monogatari

田丸卓郎著

初版 1冊 四六判 084頁 0.30

本郷區駒込曙町 日本のローマ字社

ローマ字の記し方は日本式にて、内容は西洋の寓話、童話、傳説等英語讀物に共通なる材料、初め短くして次第に長くなり、「十年目」「鼻物語」「西洋浦島」等用意周到なり。(中等初級以上、童話)

237 都會生活と村落生活

建部遯吾著

初版 1冊 ポケット形 236頁 0.30 四谷區笹塚町 通俗大學會

都會と田舎との長短利弊を説き、都鄙生活の調節を述ぶ。議論の骨子は、都會文明の弊を歎き田園荒廢の傾を憤り、國民を誡め爲政家を叱するにあり。所説肯綮にあたり、都鄙の青壯老年皆讀むべく、爲政家、警世家、又大に聴くを要す。唯著者一流の奇拔なる引例と深刻なる皮肉と相當教育なき者には解し難きものあるべし。(中等上級、雜)

238 還元錄

相馬御風著

初版 1冊 菊半截 172頁 0.60 日本橋區通四 春陽堂

藝術界の寧馨兒御風氏が忽焉稻園の椅子を見棄て淵明の心懷を郷里越後に味ふに至りしは、斯界に驚愕と痛惜と疑問と教訓とを與へ居る所、本書は昨日まで藝文壇上に時めきし已が中空虛偽なりし悔の悶えを懺悔し、飄々として理想なきが如き今日、田園の生活の充實健全平和偉大なるを説けるもの。まだ悟り切らぬ、泣きごとたるの感なきにあらねど滔々文に游ばむと夢みるの多き現代青年少年に一股の氣つけ藥たるべく、又一部研究者の爲に一新材料たるべし(中等上級以上、雜)

239 お伽口演集

巖谷小波著

再版 1冊 四六判 363頁 0.95 日本橋區通一 大倉書店

著者が過去十數年間諸處に口演したるものゝ速記なり。十六箇のお伽中「譽の決闘」といふ男性的の尤なるもの一篇を除きては、總て婦人向なり。「バラ姫」其の他に如何はしき人物の紹介あれど輕快なる取扱と其の議論と教訓と克く之を活かすが如し。(初等上級以上、童話)

240 通俗郵稅物語

田中次郎

初版 1冊 四六判 286頁 0.80 麴町三の四 丁未出版社

郵便事務にたづさはること年あり、其の事情に精通すること天下隨一とも云はるゝ著者が、現在の我が郵便事務を面白く記せるもの、斯る材料を無味たらしめざる點に於て近頃珍しき書、有益と認む。但し製本は粗惡なり。(中等、雜)

241 歐洲文壇印象記

野口米次郎著

初版 1冊 菊判 278頁 1.00 市外西大久保二〇一 日月社

大正二年の秋より三年の夏にかけての歐洲漫遊中の印象。彼の地文學者藝術家の性格、生活、又其の背景たる一般社會の狀態等を窺ふに足る有益且有趣。但し、稍むつかしくして一般的にはあらざるべし。(中等以上、隨筆)

242 十字路

櫻井忠溫著

初版 1冊 1.20 京橋區出雲町一 新橋堂

著者のスケッチ。「波止場鴉」に於ける悪戯や「Kの死」及び「屋根裏」に於けるロマンスは稍々問題なるべけれど「崖下の水」「落第生」「兵隊閑話」などは是非青年少年に讀ませたきもの少からず。(中等初級以上、雜)

243 明智光秀 武田仰天子著

初版 1 冊 四六判 416 頁 0.70 本郷區駒込坂下町 講談社

高等講談、面白きこと既に定評あり、其の光秀に同情し辯護甚だ努めたる所、史論上の問題たるなきにあらねど、著者の目的は十分達せられたる以所。製本悪し。(中等中級以上、小説)

244 國體の精髓 大隈重信述

初版 1 冊 ポケット形 102 頁 0.10 市外下濫谷 公民同盟出版部

御即位禮より説き起して我が國體の萬國に冠絶する所以を述ぶ。説方に往々粗笨を免れぬ所あるも、國民道德涵養の資料として有益なり。印刷上の粗漏多きは惜し。(中等上級、修養)

245 熱血團 宮崎一雨著

初版 1 冊 0.38 神田區裏神保町 大屋書房

著者は「飛行少年」の主筆。勇猛冒険の材採るべくむば此の書亦其の一として推すべし。筋は、松原雄亮といふ青年士官が、日露戦争に従軍後馬賊の群に投じて、敵に大損害を與へ、戦争終決後支那革命軍に主腦者の一人となつて働き、大に日本武士の精鍊を發揚すといふにあり。而して之に配するに少將令嬢との奇縁を以てす。此の令嬢亦女傑として日本人の意氣を示すも、用語態度下品なり。(初等上級以上、小説)

246 アラビヤナイト 故杉谷代水譯

初版上下 2 冊 各菊判 460 頁 上巻 1.80 下巻 2.00

神田裏神保町 富山房

アラビアン夜話の由來外數篇を譯出し、挿畫、装禎等に特別の用意を致せる美本。内容上如何はしきものをも収めたれど、昔譚として毫も差支あるを認めず。(中等初級以上、童話)

247 海賊街 松山思永氏著

初判 1 冊 0.35 京橋南紺屋町 實業之日本社

冒険小説、少年小説寂寥の今日なれば推薦す。筋は南米に密航を企てたる青年の一團が海賊船に搭載せられて幾多の冒険をなし、遂に海賊島に着し、之を略取して自由都市となすといふにあり。(初等上級以上、小説)

248 蹄響 長崎武著

初版 1 冊 菊判 310 頁 0.80 京橋區南傳馬町 厚生堂

騎兵中尉たる著者が聯隊旗手として青島戦に参加し、其の間に得たる紀行感想等集めて此の一書を爲す。文章内容共に佳し。(中等初級以上、雜)

249 發明家と發明界の進歩 瓜生康一著

初版 1 冊 菊判 316 頁 1.35 神田區錦町 二松堂

古今東西の大發明、發明者、年代、發明の苦心等を平易に記せるもの二十五項を藏め、附録するに特許に關する法令を以てす。内容簡潔に過ぎて稍々物足らぬ感あり。筆致亦感興を惹くに不足ありと雖も、我が國の現状に照して有益の書と認む。(中等初級以上、理科)

250 奮闘主義 森村市左衛門述

初版 1 冊 四六判 300 頁 1.20 京橋區南紺屋町 實業之日本社

勤儉、努力、誠實、奮闘の主義を鼓吹するもの、著者の今日ある其の修養努力尋常一様にあらず、本書はその活教訓を垂るゝ物なれば言々空虚ならず、適切有力の刺戟たる事言を俟たず、一般青少年にも可なれど、特に實業に志すものに對する教訓たらむとする趣意の如し。基督教を勧むる所一部に問題ならむも、以て本書の價值を動かすに足らず。(中等初級以上、修養)

第 23 回 (大正五年四月廿七日)

251 大悟一番 飯塚哲英編

初版 1 冊 四六判 340 餘頁 1.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社

南天棒として出家在家に名を知られ、偉人乃木大將の歸依厚かりし中原鄧州禪師の口述を筆記編纂せるもの、禪の用語に難解のものあるは勿論、得道見性の域に達せざれば通じ難き節あれども、又南天棒の

修養時代乃木大將の發心等一讀の價值あるもの多し。(中等上級以上、修養)

252 無駄なき生活

加藤美命編

初版 1 冊 ポケット型約 400 頁 1.00 牛込區神樂坂 東亞堂
山脇房子女史が、年來雜誌其の他に發表せる女子教訓に關する談論を拾集せるもの、平凡なれども隱健、文章も平易なり。女子の讀物として好著なり。(中等中級、修養)

253 一喝錄

大町桂月著

初版 1 冊 四六判 320 頁 0.85 芝區虎の門 中外社出版部
自然に人事に數百の題目を捉へ、數行數言の斷案を下せるもの、煩悶者を鼓舞し、不平者を慰藉し、正義を教へ、社交を説き、吾人の胸奥に共鳴するもの頗る多し。文章は氏一流の俗調ながら、讀んで面白く肩の凝らぬもの。(中等上級、修養)

254 征空

尾崎行輝著

初版 1 冊 四六判 220 餘頁 1.20 興文館
民間飛行家たる著者が飛行機に對する國民一般の注意を向上せしめむと企てゝ作れるもの。空飛ぶ鳥、飛行船、飛行機、發動機、飛行術、航空界の元老、天空の奇禍、比較いろいろ、諸種の表、航空語彙等の諸項に分たれ、比較的平易に讀まる。(中等中級以上、雜)

255 陸海軍人物史論

安井滄溟著

初版 1 冊 菊半裁 500 餘頁 1.20 本橋區本石町 博文館
太陽誌上に連掲せるものを集め、更に日露戰爭外記を合せたるもの人物史部の章は明治二十年頃より我が陸海軍の發達活動を舞臺とし、其の花形役者數百を拉し來つて縦横の批論を企つ。調査の綿密なる批評の妥當なる、人選の適當なる讀む者をして趣味深からしめ、修養に資する所亦多し。(中等上級、評論)

256 戦争と國民性

芳賀矢一著

初版 1 冊 0.30 神田區裏神保町 富山房

歐洲の動亂に際し、我が國民が他山の石以て我が玉を磨くの自覺を起さむことを希ふ心より出來たる書。東西武士道の比較、我が武士道の長短等より我が帝國將來の使命等に論及す。其の説一々肯綮に中り、

健全高雅なる青年讀物なり。(中等中級、雜)

257 戦争と巴里

島崎藤村著

初版 1 冊 四六判 0.75 牛込區矢來町 新潮社

フランス遊學中の著者が、歐洲大戰の見聞觀察を朝日新聞其の他に寄せたる通信、集まつて此の一卷を成す。輕快淡泊の章句、中に豐滿の詩趣を藏し、人を感動せしめ、啓發するものあるは勿論、戦時に於ける彼の地の社會状態を知るに便する所あり。(中等上級以上、雜)

第 24 回 (大正五年六月五日)

258 ニコニコ論語

牧野元次郎著

初版 1 冊 三六判 288 頁 0.70 京橋區銀座一 靜思館

ニコニコ宗の開山たる著者が、ニコニコ主義の處世法を益々弘通せむとするもの。ニコニコ處世法以下、人格修養訓に至る迄全篇十七章、或は實例により、或は信仰によりて幾多の信條を平易に記述せり格別新奇の金條なしと雖も讀みて益多し。(中等上級、修養)

259 中山大納言前篇

碧瑠璃園著

初版 1 冊 0.90 麴町區平河町 金尾文淵堂

公家の人傑中山大納言愛親卿を中心とし、之に武家の偉人松平伊豆守定信と町人の義人洲本家兄弟とを配合したる歴史小説。忠孝節義を骨子とするは材の然らしむる所なるべきも、愛親と定信と何れにも偏せざる立論は著者の意を多とせざるべからざる所なり。前半に比して後半が、尊號事件の正史を讀むが如く稍本書の趣に固味を加へ過ぎたるは惜し。殊に口繪は無くもがなと思はる。(中等上級、小説)

260 實地一日一善講話

山本瀧之助著

初版 1 冊 菊判半裁 355 頁 0.79 洛陽堂

發芽、成長、根柢、成果の四篇に分ちて、著者が世に聞えたる今日の一日一善主義者たる由緒來歴を、實例、日記、所感等によりて説く。今日は此の主義の漸く廣く世に行はるゝ事とて、其の奉教者の日記殊に某高等女學校生徒の一日一善日記等有力なるものあり。多少無理の様なる殊更めきたる一善もあれど、全體として今日の青少年の放埒に流

れむとするを救ふに適す。(中等、修養)

261 **名人物男** 大町桂月著

初版 1冊 四六判 248頁 1.00

京橋區南紺屋町 實業之日本社

著者が長き間に書きたる人物評論を集めたるもの。出版は新らしけれども古き本を読む心地す。漱石を論するに「猫」を以てし「草枕」を以てして、「三四郎」「門」にも及ばざる如き、「冥途文壇消息」の如き「文壇名勝誌」の如き、「常陸山君足下」の如き、其の當時にありては面白き文なりしならむも、今に於ては無きに若かず。されど全篇を通じて氏一流の氣概流れて面白し。後藤象二郎、岩崎彌太郎二氏の逸事談の如きは有益なり。(中等中級以上、隨筆、傳記)

262 **教育講談** 早川貞水著

初版 10冊 第一篇乃至第十篇 四六判 50頁内外各 0.10

日本橋區吳服町 大江書房

第一篇中江藤樹雪のわかれ(幼時の孝行)、第二篇馬のわらぢ(三河の青年甚兵衛の立志談)、第三篇中吉の忠義(柳里恭の雲萍雜誌中の、主家再興の苦心)、第四篇人の母(悪小年の感化)、第五篇千人針(閑院宮妃殿下の仁徳と一等卒中村熊吉の母)、第六篇人の一心、第七篇二宮金次郎第八篇般若面、第九篇宮本武藏、第十篇木村長門守。何れも讀みて涙を催さぬはなし。(初等上級以上、講談)

263 **第三通俗教育道話** 安藝愛山著

初版 1冊 四六判 90頁 0.35 本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會

通俗と號するだけに碎けて俗受けのするものなり。従つて用語に粗野の譏を免れず。例話には譬喩品より出づるもの多く、材料悉く面白し。之によつて深き教訓を得むとするは誤なれど、有益にして有趣なり。(中等初級以上、修養)

264 **岡本米藏** 峯間信吉編

初版 1冊 三六判 130 0.30 神田區表神保町 中興館

茗溪會發行「教育」の附録たる内堀維文編「新帝國の建設者岡本米藏君」改め「理想的海外雄飛者岡本米藏君」の一篇と、大阪毎日新聞所

載「岡本米藏氏の事業」の一篇とを合して一冊子とせるもの。岡本氏は一の立志傳的人物、本書はその生立と事業とを明かにせり。(中等、傳記)

265 **大正少年傑作文** 春の巻 葛原 繭 編

初版 1冊 四六判 198頁 0.30 日本橋區本銀町 文正堂

(初等上級以上中等下級、國語)

266 **山岡鐵舟** 高橋淡水著

初版 1冊 0.70 本郷區本郷 日東堂

幕末の國士山岡鐵舟の傳を講談風に述べたるもの、其の赤誠其の努力、其の修養、本書の中に活躍し、懦夫をして立たしむ。史實に差したる牽強を認めず、只文の孱弱なるを遺憾とす。(中等中級、傳記)

267 **少年斥候** 原田政右衛門著

初版 1冊 四六判 174頁 0.30 牛込區矢來町 新潮社

日露戦争の時聯隊旗手たりし著者原田中尉が、自ら實見せし所を骨子として、雄勁の筆に叙述したるもの。主人公は露軍に破壊せられし家庭の一少年にして、不圖大義に感じ渾身を日本軍に捧げて、斥候として働く。美人を配したれども極めて手際良く綺麗に扱はれたり。上品なる武勇小説に渴ける現代青少年に好適の材。(初等上級以上中等下級、小説)

268 **花鳥風月** 枝元枝風編

初版 1冊 四六判 534頁 0.95 神田區北神保町 弘道館

日本の自然界に於ける各種現象を各専門諸博士に請ひて通俗的文學的に述べ、古來の自然文學に科學的觀察點を與へむとの趣旨より、東京日々新聞に連載せるもの、中九十編を集めたり。(中等、理科)

269 **獨逸と東亞** 通俗大學會譯

初版 1冊 0.10 通俗大學會

世界政策、經濟政策に造詣深く、曾て我が國にも來遊せるウエルトハイメルの著を譯せしもの。今回の大戰は列強が獨逸の發展を嫉視せし爲に起れる事、日本の参加は英國の煽動と内憂を外に轉ずるの政策とより來れる事を説き、支那に於ける列強の商業上及び政策上の地位

を論じ、東亞に於ける日米獨を縦横に議す。(中等上級以上、雜)

270 傑人佳人 大町桂月著

再版 1冊 四六判 350頁 1.10 日本橋區通四丁目 春陽堂

著者が年來蒐めし和漢の偉人烈女五十餘人に關する趣味ある史傳なり、志士の忠烈、仁人の義憤、傑士の氣概、貞女の意氣、烈婦の苦節、紙上に活躍して自ら景仰の念、崇敬の情を起さしむ。少年少女に是非推奨したきもの。(中等中級以上、史傳)

第 25 回 (大正五年六月二十八日)

271 哲窓茶話 井上圓了述

初版 1冊 菊判半裁 285頁 0.40 日本橋區鐵砲町 磯部甲陽堂

著者が其の經營せる學校に於て茶會の席上談話せしものを佐村八郎氏の筆記せるもの。題して「哲窓茶話」と云ふと雖も信解難解のものにあらず、時に應じ所に應じてなせる修養學術の雜話にして、事例適切、説叙懇切、青年の知徳鍊磨の好資料たるべし。(中等中級以上、修養)

272 楠正成 渡邊霞亭著

初版 1冊 四六判 523頁 0.40 大阪市西區久寶寺町 霞亭會

忠臣大楠公の生立より戰歿に至るまでの事蹟を小説的に叙ぶる物、大人の頭には史實に疑問を起し筆致に不自然を感じる所ありと雖も、少青年には何等其の顧慮なく、只偉人の跡を偲び、其の苦衷に感激せしむる所あるのみ。(中等初級以上、傳記小説)

273 生物哲學 土田杏村著

初版 1冊 1.00 牛込區神樂町 東亞堂

著者は高師に博物を修め、帝大に哲學を專攻しつゝある人。書名は嚴めしきも内容筆致共にくだけたり。生物學の現象生物體の組織、分化等十篇を收め、平易明快、雄勁妙趣の筆を以て叙ぶ。一通り生物學を修めたるものに最も適すと雖も、初心者も亦之によつて生物に對する趣味を養ひ得べし。(中等上級以上、理科)

274 曉の小鳥 小野小峽著

再版 1冊 0.50 本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會

著者は御伽噺を改良して現代生活と接觸せしめむとの希望を以て立てる人、本書は著者の理想の一端を示すもの、曙姫、平和の木の實等數篇を收む。(初等上級以上中等初級、童話)

775 グリムお伽噺 中島孤島譯

初版 1冊 菊判 484頁 天金美裝 2.20頁 神田裏神保町 富山房

文中往々お伽噺として稍程度高き辭句あれど總じて譯文は流暢に、挿畫亦此の種のものに好適なり。(初等中級以上童話)

276 修身教科書 藤川淡水著

五版 5冊 第二年より第六年に至る 各四六判 200内外
0.30 神田區小川町 敬文館

修身科教科書の徳目によつて新に作りしもの、内容として不可なるもの一もなしと雖も、お伽噺としての面白味は大なりといふべからず特に五六あたりは今少し下級の兒童に讀ますべきものなりとの感あり此の著眼は吾人の著者に感謝する所なれども、程度を十分に精察すべく、あまり臭くならぬ用心をなすべき事、吾人の希望する所なり。(童話)

277 霧の王國へ 別所梅之助著

初版 1冊 四六判 347頁 1.00 銀座尾張町 警視社

著者があちこちの山に登りしときの紀行を集めたるもの。冒險的にも研究的にもあらず、趣味の山登なり。故に事實の報告としては差したる長所を認め難しと雖も、折々の感想は面白し。文は流暢にして頗る洗鍊せられ、所謂纖巧の域に近きものと云ふべきか。(中等初級以上、紀行)

278 佐久間象山 象山先生遺跡表彰會編

初版 1冊 四六判 228頁 1.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社

前篇を傳記に、後篇を主張に充て、昨年京都に開かれたる記念講演會に於ける諸家の講演を附録したり。幕末に於ける先覺の偉業を述べて、其の大志を不朽に傳へむとの趣旨にして、随つて記述に誇張なく、爲に或は感興を殺ぐ恐ありと思はるる點あれども、現代少青年の必讀すべきものなるべし。(中等中級以上、傳記)

279 小學課外の讀物 友納友次郎稿、垣國三郎共著

初版第四・五・六年 各上巻 3 冊 菊判 90 頁乃至 130 餘頁
0.20 乃至 0.25 京橋區南傳馬町 目黒書店

小學兒童に課外讀物を供給せんとする著者の企圖は吾人の賛成する所なり。但し實際本書を検するに程度の高きもの、文章の生硬なるものなどあり。折角の讀物なれども、今一段の工夫ありたし。(讀本)

280 少年動物園 本間久著

初版 1 冊 四六判 238 頁 1.00 本郷一丁目 日東堂

動物に關する知識を面白く教へむと企てしもの。種類によりては日本の兒童に適するか否かを疑はざるべからざるものありと雖も、大體結構なり。殊に挿繪は大に可なり。(初等上級以上中等初級、博物)

第 26 回 (大正五年九月六日)

281 獨逸戰前の真相 町田梓樓譯

初版 1 冊 四六判 362 頁 0.85 早稻田大學出版部

白耳義外務大臣前駐獨公使男爵ベーエンス卿の原著。今次大戰勃發に至るまで滿二年間柏林に駐割して、具さに要路の人物を研究せるもの本書の材を爲す。報國の赤誠と、後世史家への資料供給の希望とより成れる大文字。論評概ね公平なりと云ふべきか。譯者は横濱白耳義總領事館在勤し、此の方面の事情紹介に適したる人、文に譯臭極めて少し。只「は」と「が」との變用及び一二の癖あれども大過なし。(中等中級以上、雜)

282 新アラビアンナイト 三上節造譯

初版上 1 冊 菊半裁 320 餘頁 0.95 麻布區阪下町 阿蘭陀書房

スチーブンソンの名篇ニユーアレイビアンナイツを上中下三巻を以て全譯せむとするその上巻なり。長篇「自殺俱樂部」の三節と「一夜の宿とを收む。原作は純文學として既に定評あり、且つ少青年讀物としても、適當なるもの。譯文亦堅實にして推獎するに足る。(中等初級以上、小説)

283 お伽一學年 藤川淡水著

初版 1 冊 四六判 170 頁 0.30 神田區小川町 敬文館

さきに採擇せるお伽六學年の最下篇なり。繪を挿み、片假名のみを

用ゐ、お伽の本領を失はずして訓誡となり興味を興ふ。但し一年生には讀むこと困難なるべし。(初等下級、童話)

284 江田島生活 海の中尉著

初版 1 冊 四六判 480 頁 1.20 麻布區東島居阪 武俠世界社

海軍兵學校の生活を説けるもの、文字豊富、叙説自在、讀んで甚だ面白し。空虚なる議論を好み、誇張の筆を弄する街氣と、海軍萬能と海軍榮達とを説くの不公平と、多少嫌焉の點なきにあらず。(中等中級以上、雜)

285 英雄史談 上田萬年著

初版 1 冊 四六判 350 頁 1.20 京橋區南橫町 廣文堂

英雄の傳記のみならず詳に史實を稽へて、變遷の因と盛衰の理とを説く。内容凡て九章、壇浦海戰と源義經、曾我兄弟と源頼朝、文武の名將加藤清正、鬼柴田と秀吉、八幡船隊の活動と山田長政、蒙古襲來と北條時宗、旗下奴と幡隨院長兵衛、開國の犠牲高野長英と渡邊華山日露國境談判と北門經營の偉人。各章皆興味津津たり。(中等中級以上歴史)

286 兒童文學 馬淵冷佑編著

初版 1 冊 二・三・四・五・六年 各四六判 120 頁位 0.25 乃至 0.30

牛込區甲良町 東京出版社

兒童讀物に缺くる今日、綴方教授と關聯して誠に優良のものと認む但し敬語の使用法、思想の纏め方個性の取扱ひ方等に多少の遺憾あり。(初等、雜)

287 トルストイ民話集 塚本弘譯

初版 1 冊 四六判 325 頁 1.10 洛陽堂

トルストイ伯が人生の甘酸共に味ひ盡して後田園に起臥し、深き信念と廣き思想とを以て農民教化の實を學ぐ。其の材料となりしもの此の小話なり。宗教臭味ありと雖も何人にも面白く、且有益なり。「愛ある所に神います。」以下九篇凡て可。(中等初級以上、童話)

288 強膽術 渡邊約山著

初版 1 冊 四六判 300 頁 0.90 京橋區南橫町 廣文堂

人生、修養、信仰、處世の四部に分ち、著者の深奥なる學識を以て

縦横に強膽の方法を説き、古今東西の名僧賢人の至言佳行を取つて其の説明を助け、頗る興味あり。然れども佛書の引用多きを以て了解稍困難なり。(中等卒業以上、修養)

289 日本 の 精神 杉浦重剛 著

初版 1 冊 四六判 300 頁 1.20 廣文堂

杉浦氏は現代の國士、其の日本主義は克く滔々たる輕浮を戒むるの力あり。本書は其の精神を宣傳せむが爲に、巖谷小波、猪狩史山兩氏がその自筆と演説談話の筆記數十篇とを集めしもの。(中等中級以上、修養)。

第 27 回 (大正五年十月五日)

290 母 と 子 下田次郎 著

再版 1 冊 四六判 230 頁 0.75 京橋區南紺屋町 實業之日本社

女子教育家下田氏が「母の自覺を喚起しその重大なる責任を感悟せしむるの助とも」として編みしもの。母の讃美、妊娠と出産、母の喜、母の情、日本文學に現はれたる母、西洋文學に現はれたる母、子の恩母の進化、愛、母としての教育、子の養育、子の教育、母子の救済等の各章、何れも古今の典籍に照し、穩健の思想を傳ふるに絢爛の筆を以てす。(中等以上、修養)

291 幼年百話 お話の庫 夏の巻 少年通俗教育會編

初版 1 冊 菊判半裁 500 頁 0.50 日本橋區本石町 博文館

小坊主物語、世界の電氣王、パイロンの幼時、都の鼠と田舎の鼠等有名のもの、未だ廣く知られ居らぬもの等、無慮百篇を藏む。家庭に備へて教育娛樂の好資料なり。子供ならば小學上級より。(中等下級、童話)

292 少年百話 歴史の庫 夏の巻 少年通俗教育會編

初版 1 冊 菊判半裁 500 頁 0.55 博文館

和漢洋に涉り、名將賢哲豪傑等の少年少女に趣味深き逸話傳記等を集めたるもの。行文稍流暢を缺けど面白く稗益多からむ。(初等上級以上中等下級、歴史)

293 曾 我 兄 弟 平井晩村 著

初版 1 冊 菊判半裁 350 頁 0.60 神田區駿河臺袋町 國民書院

大體會我物語を翻案せるもの。對話の用語に當時の言葉を用ゐたれば、少年には隔靴搔痒の憾あるべけれど、大意を汲むには敢へて差支なかるべく、文章は氏獨特の遒勁なる文字にて満たされたれば、讀んで中々面白く、感奮興起する所なきにあらず。(中等初級以上、講談)

294 世界的人物 第二輯 龍口了信 著

初版 ポケット型 188 頁 0.55 日本橋區鐵砲町 六盟館

高峰、久原、澁澤、エヂソン、田村又吉といふ努めて各方面に傑出したる人物を選び、叙述極めて穩健、所謂成功熱を煽る如き憂少し。一身一家の繁榮に名あるものを採らずして、凡て公共的事業に盡瘁せる之等人物の行路を叙したる著者の意ある所を察すべし。唯憾むらくは皆成年後の経路を主としたると、描寫に人を奮起せしむる力少きとは、一層の改良を著者に希望せざるべからざる所なり。(中等中級、傳記)

295 お伽噺 日本 巖谷小波 著

初版 1 冊 0.90 日本橋 大倉書店

珍竹齋物語以下六編を収む。何れも日本勃興の過去現在及び未來を寓意して綴れるもの、著者の序文にもある如く、稍程度高きお伽噺なり。大人に大に向くべきも、少年には唯のお伽噺としても例の行文齒切れよく頗る興味あらむ。(初等上級以上中等中級、童話)

296 冷 汗 記 大町桂月 著

初版 1 冊 四六判 388 頁 0.50 神田區裏神保町 富山房

題目は其の第一項の長篇の名より来る。他は何れも隨筆短文なり。冷汗記は、著者が少年時代より學生生活を終ふるまでの思出なり。記事青年の心琴に觸れ、先年の「運命論」と共に著者有數の眞摯なるものなりと云ふを得べし。(中等上級、隨筆)

297 イソップ物語 楠山正雄 譯

初版 1 冊 菊判 444 頁 2.20 富山房

立派なる書。イソップの譯も澤山あれど、篇數に於て、譯風に於て美裝に於て恐らく本書の右に出づるものなからむ。少年讀本としての

外、譯者の研究の加へられたるを以て、成人にも大に参考とならむ。
(初等上級以上中等中級、童話)

第 28 回 (大正五年十一月六日)

- 298 巨人南洲 山崎櫻岳著
初版 1 冊 四六判 235 頁 0.75 京橋區銀座一丁目 靜思館
大西郷の面目を傳ふるに足る幾多興味深き説話を選び、其を連絡するに正史上の事件の推移の大要を以てす。叙述繁簡宜しきを得て面白く有益なり。(中等中級以上、傳記)
- 299 絶島探險 十五少年物語 葛原幽、女屋秀彦共編
初版 1 冊 四六判 458 頁 0.58 日本橋區本町 博文館
佛の冒険小説家ジュールヴェルヌの原著を翻譯翻案したるもの。二十年前森田思軒の譯ありたれども、青年以上のものにのみ持てはやされしが、今少年文學の専門家たる兩氏の此の舉は、吾人の大に多とする所なり。十五歳を頭に九歳まで十五人の少年が、南洋絶海の孤島に漂流し、二年の間友誼人情の美を盡して此所に自由立憲の小獨立國を營みたりと云ふ筋にして、少年の志氣を振作するの力大なり。(初等上級以上、小説)
- 300 人生悟りの道 渡邊約山述
初版 1 冊 三六判 470 頁 0.90 京橋區南橋町 廣文堂
悟道の基礎、念覺の公正、善意の徹底生活の真相てふ四章に分ち、禪的修養を勧めたる書。語句難解の所なきにあらざれど、概して臭味を脱し、例話の如きも剴切巧妙なるものあり。(中等上級以上、修養)
- 301 日記から 佐々木弦雄編
初版 1 冊 四六判 218 頁 0.80 京橋區出雲町 新橋堂
米國の飛行家アトスミス氏が横濱上陸より札幌負傷歸國まで四ヶ月の日本滞在日記を譯したるもの。飛行日記と云ふべきも大部分彼が日本觀なり。學者にあらず、又未だ二十幾歳の青年なる彼の觀察なれば大人にはあまり感興なからむも、少年には大に讀ませたき、又大に

讀まるゝ書なり。特に彼に對する邦人の熱狂的態度を彼が如何に觀察せるかなど面白し。(初等上級以上、雜)

- 302 修養經典 村山熊太編
初版 1 冊 ポケット型 143 頁 0.15 東京府下淀橋町柏木 國民法制學會
主として我が國古今の人傑凡そ八十人の壁書、箴言、家訓、座右銘等を集めしもの。通讀すべきものにあらざれど、之を懷中にして時々誦唱せば修養に資するもの蓋し尠からざるべし。殊に作文演說等の參考としては輕便此の上なからむ。(中等上級、修養)
- 303 歐洲義勇講談 第1編 日高藤吉郎、吉田名川共著
初版 1 冊 四六判 138 頁 0.30 半込區市谷富久町 通俗教育會
今次大戰に際し義勇奉公の行爲ありし實例を文部省版行時局教育資料第七輯其の他より採りて講談に叙述せるもの、英獨佛及び日本と合せ十四席、皆忠貞節義の談、人をして奮起せしむるものあり。長く通俗教育に専念せる著者等の勞を多とすべし。(初等上級以上、講談)
- 304 大正少年傑作文 秋の巻 葛原幽編
初版 1 冊 四六判 200 頁 0.30 日本橋區本銀町 文正堂
少年世界應募の文中不幸選に洩れたるものゝ内、適當と認むべきものを採り一々訂正批評するの親切に成れる葛原氏のシリーズの秋の部なり。收むる少年文百六十題、附録模範文二十七篇。毎篇適切なる短評を加へ、破格、拙劣、誤謬等を指摘したる外、上欄に和歌俳句の挿入せられたる大によし。(初等上級以上中等初等、國語)
- 305 山の犠牲 小山博編
三版 1 冊 菊判半裁 460 頁 (非賣品、但し實費六拾錢にて頒布) 京橋區南傳馬町 目黒書店
天下を震駭せし今夏甲武信嶽の慘事、其の靈を弔し、併せて漸く勃興の機運に向へる我が國の登山精神を阻害せざらむ事を希ふのみならず、益々其の振興せられむことを期せむ爲め、犠牲者の一人小山秀三君の兄なる博氏の編せるもの。幸に生存せる中村君の顛末記、小山博氏の探索記、小山憲二氏(博氏の弟)の登山心得等、大に讀むべきも

のあり。死者に對する禮には相違なきも、四犠牲者諸君の追悼の辭は
稍事々しき感あり。(中等中級以上、雜)

第 29 回 (大正五年十二月四日)

306 幼年百話のお話の庫 秋の巻 少年通俗教育會編

初版 1冊 菊判 504頁 0.55 日本橋區本石町 博文館

和漢洋に亘り、面白き話、珍しき話、爲になる話、長短百篇を集む
挿畫粗なれども子供によし。(初等中級以上、童話)

307 名犬物語 コナンドイル原著 加藤朝鳥譯

初版 1冊 四六判 411頁 0.95 牛込區神樂町 天弦堂

男爵チャルスバスカビュの變死についてシャーロット・ホルムスが
其の名探偵振を發揮して、惡漢並に其の使用せし妖犬を突止むといふ
筋、面白く品もよく、譯文は流暢なり。誤植稍多し。(中等初級以上、
小説)

308 聲 村井知至著

初版 1冊 四六判 398頁 1.30 日本橋區本石町 至誠堂

大正名著文庫第二十七篇。物來村井氏は同志社出身にして外國語學
校教授たる英學者、基督教を信する深く、儒佛に造詣亦淺からず、か
ねて宗教の臭味を脱して眞乎修養の根本を究めむとす。本書は、斯る
態度に立ち、宗教觀を提げて、自ら律し世人の修養に資せむとする衷
情より發せる隨所の感想なり。見解の相違、或は宗教的相違等に幾分
の問題ある如しと雖も、大體に於て中心の聲なり、其の力、其の熱、
其の誠意、其の信念、其の囚はれざる識、微を穿つの明、かの實文の
徒の決して企て及ばざる所にして、修養に志す者をして共鳴を感じし
むること大、今後の青年に讀ましめずむばあらず。(中等以上、修養)

309 自警 新渡戸稻造著

初版 1冊 菊判 416頁 1.70 京橋區南紺屋町 實業之日本社

「男一匹」より「夢の實用」に至る二章、博士一流の訓誡を、平易なる
用語と適切なる實例と犀利なる歌證とを以て述ぶ。所説平凡、筆力不
足の憾なしとせざるも、青年修養の好材料たらむ。(中等上級以上、修

養)

310 大戰に現はれたる雄辯 室伏高信譯編

初版 1冊 三六判 192頁 0.45 神田區神保町 上田屋

今次大戰の當初に於ける關係各國民の緊張せる愛國的精神を窺ふべ
き雄辯多き中より、アスクキス、ロイドジョージ、カイゼル等の雄を
選びて譯述せるもの、邦語にて演説すとせむも優に名演説たり得る程
の譯文なれば、開戦當初程にはあらずとも、其の内容と共に青年の好
讀物ならむ。値段稍高すぎたり。(中等上級、雜)

311 楠公誠忠記 山田得翁齋述

初版 1冊 四六判約 300頁 0.50 牛込區富久町 米山堂

山田得翁齋の原著を坪内博士監督の下に翻刻せるもの、史實に疑問
なきか、技巧に問題なきか、等小やかましく云はゞ批評も出づべけれ
ど、我が國少年には是非薦むべきもの、只用語古き爲め隔靴搔痒の憾
あり。(中等中級、歴史)

312 小波お伽新百話 巖谷小波著

初版 1冊 四六判 770頁・年譜 38頁 1.80 博文館

明治四十四年の「小波お伽百話」以後の諸作を集め、之に今年六月
青山御所に於て東宮殿下に申し上げたる「指輪大名」「水地獄」の二篇
を附録す、百話は凡て讀み切り、短けれども、附録は長篇、而して「水
地獄」の如きは今次大戰に於ける佛國少年の事實にて極めて實あり。凡
て品よし。(初等上級以上、童話)

313 大正の青年と帝國の前途 徳富蘇峰著

初版 1冊 四六判 696頁 0.80 京橋區日吉町 民友社

著者二十年來の持論たる「平民主義、國民主義、國家社會主義を貫
申したる皇室中心主義、君民徳を一にし、舉國一致的の帝國主義」の
結晶。國民新聞連掲時代より世評既に定まる。特に地方青年を重き對
象とせるは見逃すべからざる所なり。(中等以上、修養)

314 世界の大戦と日本の海運 今岡純一郎著

初版 1冊 四六判 126頁 0.25 神田區裏神保町 富山房

海運の盛衰と國民の隆替とは大なる關係あることを力説し、日本海
運の發達史を簡明に述べ、進んで今次の大戦と海運との關係を論じ、

最後に海運發展策を講ず。簡易にして要を得、初學者によし。(中等中級以上、雜)

- 315 少年希望を抱いて 水島尺草著
初版 1冊 四六判186頁 0.35 神田區錦町 長文堂

明治四十五年文部省の認定を得たる「貧兒の門出」に其の後の發展三十頁を追加し、挿畫、題目等を加へたるもの、筋は千葉町に生まれたる豊島良吉といふ貧しき漁夫の子の心術優れて、紆餘曲折具に辛苦を嘗め遂に海軍士官となるまでの立志小説。あまりわざとしやかの所もなく、折々涙を呼ぶものあり。(初等上級以上、小説)

- 316 少年古戦場物語 須藤寒泉著
初版 1冊 四六判278頁 0.65 京橋區南紺屋町 實業之日本社

一の谷以下旅順口に至る十四の古戦場に關し、歴史上の事實を叙したるもの、好著と云ふべし。(中等初年級以上、歴史)

- 317 沓手鳥孤城落月 坪内逍遙著
再版 1冊 菊判150頁 0.55 日本橋通四丁目 春陽堂

淀君と且元とを中心として大阪の没落を叙したるものにして、「桐一葉」の續篇とも見るべきものなり。文章結構共に宜しく、上品なる戯曲といふべし。(中等上級、戯曲)

- 318 増訂 化學と人生 龜高德平著
四版 1冊 菊判580頁 2.00 麴町三丁目 丁未出版社

吾人の日常生活に最も密接せる「空氣」「燃料燈火」「水」等十六項を基として一々化學上趣味ある説明を興へたるもの。理科思想に乏しき國民に對して好個の通俗讀物たるべし。(中等上級、理科)

- 319 露西亞紀行 西田博太郎著
初版 1冊 菊半裁326頁 0.50 麴町區内幸町 日本工業通信社

著者が大正四年六月より數ヶ月に亘る滯露中の紀行なり。文章は其の専門にあらざるを以て、物足らぬ感なきにあらずと雖も、學實なる觀察と研究とは時節柄有用の材たるべし。殊に實業に關する記述面白し。「露西風呂物語」「夜の歡樂」の二章は少青年には稍好ましからずと雖も、以て全卷の價值を没する程にあらず。(中等上級、紀行)

第30回 (大正六年二月五日)

- 320 新らしき命 野上彌生子著
初版 1冊 菊判522頁 1.50 神田區神保町 岩波書店

新しき命(二度目に病院内の人となりて出産せる、其の前後の光景)五つになる兒(急病にて死せる前後の描寫)、小指(下女が小指の短きを苦にして投身し、其の主人夫妻の不安甚だしきを材とす)、渦(女中の盜癖を直さん爲の女主人の苦心)、死(女同志茶話の間の數種の死)二つの話(女史の人生觀を通して見たるマイダス王と聖シャブレエ)、運命(良人の發狂を看護しつゝ郊外に閑居せる一夫人の運命)、洗禮の日(他人の受戒を見たる感想)、飼犬(主人の心)、二人の幼兒(養育の心づかひ)といふ十篇を集む。女流新進作家たるだけに癖もあれど内容極めて健全なり。就中最後の「二人の幼兒」の如きは、此の一篇のみにても優に全篇推獎の價值十分なり。(中等上級生以上、文學)

- 321 現代の亞米利加 原口竹次郎著
初版 1冊 三六判132頁 定價0.25 神田區裏神保町 富山房

時事叢書第二十九篇。米國の帝國主義の萌芽より説き起し、米國の歴史を述べて其の氣風習慣の長短を論じ、最後に現時の諸問題、殊に我が國との關係を議す。現代の米國を知るにはあまり簡單なれど、兩國の關係益々多忙となり、國民一般に此の種の智識必須なる今日、本書の如きは蓋し輕便有用のもの。(中等上級以上、雜)

- 322 小兒學 課外の讀物 友納友次郎、稻垣國三郎共著
初版 尋常四、五、六年各下巻 各1冊 菊判各100頁内外 0.20

京橋區南傳馬町 目黒書店

現代名家の文を刪修し、著者自作の文と交へて、大體國定讀本の體裁に排列せるもの。方面を廣くせる爲め却つて興味を殺ぎ、又如何にしても程度高きことは、考ふべき所なれど、課外讀本として研究的に出來たるだけ良書として推すべし。(初等、讀物)

- 323 お伽一日一善 藤川淡水著
初版 1冊 四六判300頁 0.40 神田區錦町 慶水堂

最も卑近なる道徳を勧むる爲にお伽噺を創意せるもの。趣味と實益とに富む。(初等上級、童話)

324 嘘の皮 松本 苦味 編

初版 1 冊 菊半截 110 頁 0.25 神田 富山房

世界童話新集第一編支那童話集と註せらる。「嘘の皮」以下「石の猿」に至る十三編、珍しき材料にして結構も奇拔、筆致亦凡ならず、愉快なる書物なり。(初等上級以上、童話)

325 涙の花籠 高田尙賢 松本雲舟共譯

初版 1 冊 菊半截 172 頁 0.40 東京市外巢鴨村宮仲 愛人社

獨逸近世の物語作者として有名なるクリストツフェシュミドの「花籠」を佛譯を通じて佛語學者高田尙賢氏が譯出し、通俗文學の大家松本雲舟氏が訂正したるもの。伯爵領内の正直なる父と娘との堅き信仰が終に娘の身に幸福を齎すといふ筋。宗教臭味を免れずと雖も、波瀾に富みて面白き内に、教訓を含む。極めて健全なる讀物なり。用語に譯文口調を脱せざるは惜むべし。(中等初級以上、小説)

326 杖の跡 大町 桂月 著

初版 1 冊 四六判 378 頁 1.50 日本橋本石町 至誠堂

大正名著文庫の第二十八篇として東京附近の遠足記、長文短文、淡泊にして趣味あり。近代文の女性的傾向に嫌らざる折柄心地よし。彌次的分子と女性を扱ひたる所と一二あれど、至誠剛毅にして温情隨所に溢る。「電車の東京」など稍煩瑣に過ぎたる感あるに反し、今少し詳しからまほしと思はるゝ所あり。附録甚だ重寶なるも、地圖寫眞の今少し加へられたらばと思はる。(中等中級以上、紀行)

327 シベリヤの少女 野村 壽恵子 譯

初版 1 冊 四六判 253 頁 0.60 日本橋 大倉書店

國事犯人として遠くシベリヤの荒野に追放されし父の助命を請はんとして、十七歳の小女が苦心せる孝行美談の翻譯。筆は、譯文口調の生硬なる所もあれど、原作内容の美を讀む妨とはならず。(中等初級以上、雜)

328 平凡道徳 棟居 久馬 著

十一版 1 冊 袖珍 132 頁 0.25 麹町區麹町二 丁未出版社

眞理は平凡なり、就中日常生活の法則は、極めて平凡にして然も行ひ易からざるのみ。逓信省電氣局長たる著者此に觀る所あり、道を近きに求め、言を易きに採りて擧げたるもの「世渡りの道」以下廿四題。附加するに日々の心得以下六題を以てす。(初等以上、修養)

329 詩集旅人 有本 芳水 著

初版 1 冊 菊判 260 頁 0.45 京橋區南紺屋町 實業之日本社

全篇三部より成る。初に旅行中得たる印象を語り、次に花鳥等耳目に觸れたる題材に就いて美しき想を叙べ、終に子供に適したる口語調の歌を載す。雅麗豐潤の筆致、格調も亦佳、推獎に價す。(中等初年以上、文學)

330 ヲグネル物語 松山 思水 譯

初版 1 冊 菊判 328 頁 0.60 京橋區南紺屋町 實業之日本社

歌劇作家として美妙なる偕調と艶麗なる色彩とに満ちたる筆を有し、芳醇なる感情と幽玄なる神秘との讚美者たるヅキルヘルムリツヒアルトワグネルの歌劇中、我が國に稍廣く知られたる「呪の指輪」(ニールンデンの指輪)「白鳥の騎士」(ローヘングリン)「王女の死」(タンホイゼル)の三篇を譯出す。原作は人を夢と幻との國に遊ばしむる神秘靈妙のもの。譯文先づ無難、趣味の上々なるもの。(中等中級以上、物語)

331 天龍翁金原明善 水野 定治 著

初版 1 冊 菊判 310 頁 1.30 神田錦町三 積文館

金原明善翁の事業、家憲、訓話、逸話等を翁の門弟實業家水野氏が細叙せるもの。人をして感奮興起せしむる力大なり。(中等中級以上、傳記)

第 31 回 (大正六年三月五日)

332 幼年讀物のお話の庫 冬の部 少年通俗教育會編

初版 1 冊 四六判 510 餘頁 0.55 日本橋區本石町 博文館

和漢洋の佳話百篇、何れも有益なり、紙質挿畫の粗なるは、安價の故なるべけれど、本書の爲に惜し。(初等、童話)

333 新井白石 上田萬年著

初版 1冊 三六判 332頁 2.20 京橋區南橋町 廣文堂

新井君美は上田博士専門研究の一にして、本書は其の一生を眞面目に面白く叙述せるもの。全篇を青年時代の苦學、池中の蛟龍、梅咲く天爵堂、禮樂調査の上洛、日出の國源大官、四面楚歌の聲、閑居の著作、燔書の慘火、千駄谷の月影、人空し黃鶴樓の十章に分ち、折たく柴の記を骨子とし、加ふるに豊富なる材料を以てす。文章よし。(中等上級、傳記)

334 名士立志傳 秋野村夫著

初版 1冊 四六判 162頁 0.50 本郷區駒込動坂町 元文社

日本及び西洋の近代の名士五十餘名の立身成功したる経路を極めて簡単に叙したり。簡単概括に過ぎて、事實の眞相の盡されず、讀者の感慨を動かし得ざる遺憾あり。又現實的成名を唯一の標準となす點に於て問題なきにあらずと雖も、現代青少年發憤の一資料たるべく、文章亦相當によし。體裁振はず、價亦不廉の嫌あり。(中等初級以上、傳記)

第 32 回 (大正六年四月七日)

335 スペイン 寶の町 松本苦味編

初版 1冊 菊判半裁 120頁 2.50 神田區裏神保町 富山房

世界童話新集の第三編にして、「寶の町」以下八編のスペインのお伽噺を集む。お伽噺としては程度高き部に屬すれども、總て罪なき面白きもの、譯文簡約要を得たり。(初等上級以上、童話)

336 慰安と修養 南條文雄、村上專精、前田慧雲共述

初版 1冊 四六判 210頁 0.75 神田區淡路町一 泰山房

健實なる生活を送らむと欲する青少年の爲に、慰安となり修養となるべき教訓を、學徳高き三博士が、その尊き経験より説きたるもの。直接偉容に接して聽聞するが如き、印象を受け得ざるは勿論なれど、現代青代青少年に是非熟讀玩味せしめたい書、用語自然にむつかしくなるを恐れ頭註を親切に加へたるは大に可。(中等上級以上、修養)

337 お伽十二階 鹿島鳴秋作

初版 1冊 四六判 192頁 0.60 日本橋馬喰町四 久保田書店

「お伽十二階」とは「お伽十二編」の意。「毎日電報」といふ新聞の募集に當選したる「塔の姫」と云ふ出世作を第十二階として、それに至るに十一階を踏むと云ふ、一寸氣の利きたる排列。作者は新進の研究家なれば、文章に苦心の跡歴然たり。十二編總て品位あり、面白し。但し定價や、高きかと思はる。(初等上級、童話)

338 忠臣と孝子 坂本箕山著

初版 前篇1冊 菊判 600頁 2.50 東京戸塚清水川忠臣孝子顯彰會

忠臣孝子顯彰會の編著にして、楠公父子、高山彦九郎、蒲生君平、鹽原多助等十餘人を評傳す。材料の選擇及び評論、行文皆よろし。肖像、筆蹟、古跡等の寫眞版多く挿入せられたるは、本文と併せて讀者の感興を深からしむ。(中等中級以上、傳記)

第 33 回 (大正六年五月四日)

339 死の蔭に 徳富健次郎著

初版 1冊 四六判 685頁 1.80 日本橋區西河岸町 大江書房

上巻門出より九州めぐり、中巻南滿洲と朝鮮、下巻裏日本の三巻、悉く著者が家族を引き連れての旅行中の紀行。流暢なる口語文、讀み易く解し易し。自然の描寫に著者獨得の妙味あり、所々に挿入せる皮肉人を刺す。飾らず街はざる行文、正にこれ著者圓熟の筆致の極まれるものか。死するも可、否死を求めて出でし旅の、遂に死せずして歸りしを以て表題となせるが如し。(中等中級以上、紀行)

340 恩師乃木院長 服部他助著

初版 1冊 四六判 419頁 0.85 京橋區日吉町 民友社

著者は學習院に博物を擔當する學者にして、曩に久しく米國に學びし人。稀代の人格乃木將軍を恩師とし、長官として、稍廣く異なりたる觀察をなせる所、類書中一頭地を抜く。(中等上級以上、修養)

341 つばもの 堀内文次郎著

初版 1冊 四六判 336頁 1.20 神田區表神保町 中興館

軍人精神を闡明し、國民精神を涵養せむが爲に、著者が材を軍事に採り、論説に、傳記に熱烈の筆を揮ひしもの、讀んで面白く、青年の元氣を鼓舞するの益少からざるべし。(中等中級以上、論説、傳記)

- 342 戦國武士 大倉桃郎著
初版 1冊 四六判 203頁 0.40 本郷區駒込林町 谿水社
戰國時代武人の勇ましき話九篇を集む。總て古武士の倂紙上に躍如たり。文章極めて妙、青少年に興味深かるべし。(中等初級以上、講談)
- 343 お伽花見車 巖谷小波著
初版 1冊 四六判 491頁 1.00 日本橋區通一丁目 大倉書店
お伽話十二篇を収む。上六篇は少年向き、下六篇は少女向きのもの、とりどりに面白し。(初等上級、童話)
- 344 半農生活 五十嵐力著
初版 1冊 菊判 262頁 0.65 早稲田 敬文堂
教育家として文學者としての五十嵐氏が、其の所謂下向き勝ちなる本性を具體せる農耕の生活を書けるもの。稗氣脱せざるもの、街氣過ぎたるもの、了解稍難きもの等なきにあらねど、現代人に平和なる生活と自然の愛好とを勧むるに可なり。(中等、隨筆)
- 345 日露戰役話集 大戦餘響 鳳秀太郎編
初版 1冊 菊判 198頁 0.70 日本橋區本石町 博文館
編者がこれまで讀みたる日露戰爭に關する内外の書籍雜誌等より要所を拔萃し適當に之を按排し、加ふるに時々己が感想を以てす。戰の全體を歴史的に知るには困難なれども、忠實なる研究と眞摯なる筆致とは、戰場の勇士を活躍せしめ、以て國民の士氣を振作するの效少からざるが如し。(中等、雜)
- 346 次の世界大戦 長田新譯
再版 1冊 四六判 300頁 0.80 神田區表猿樂町 富山房
獨逸の匿名氏の原著、一名「日本の野心」。我が國に對し頗る惡意を有し、之を中傷譏誣して聯合國との間を裂かむが爲に著せるもの、我が上下を刺戟し、警戒し、發奮せしめ、反省せしめ、教訓的價值多し。譯文亦上乘なり。(中等上級、雜)

- 347 考古三千年前 江見水蔭著
再版 1冊 四六判 261頁 0.60 京橋區南紺屋町 實業之日本社
三千年の昔コロボツクル人種の武藏野に居住せるものが、大和民族に逐はれて、次第に北遷する所に取材し、考古學の見地より、其の民情風俗を想像して、一篇の哀史を構造したるもの。之に加ふるに、太古遺跡發見法、同探檢法、及び地震瀧探檢、天幕遠足、雨中遠足等の紀行を以てす。考古趣味を與ふる讀物として好し。(中等、小説、紀行)
- 第34回 (大正六年六月五日)
- 348 教訓日本昔ばなし 高木敏雄著
初版 1冊 四六判 310頁 0.70 神田區小川町 敬文館
一本橋、瘤取等日本固有の傳説、お伽話等總計四十五を、著者獨特の調子を以て面白く表はせるもの。博徒の掣入など稍不穩當とも思はるれど、全體としてよし。序文は廣告的に過ぐる憾あり。(初等上級、童話)
- 349 エムデン秘史 堀尾成章譯
初版 1冊 四六判 264頁 0.80 本郷區曙町 千章館
エムデンの乗組獨逸海軍大尉ミュツケ氏がエムデン沈没後、百難を冒し、わづかに老朽の一帆船に四十有餘の部下と身を托して、逃れたる事實を大尉の綴れるもの。譯文今一步の餘地を存するは遺憾なれど、事實は面白し。(中等下級、雜)
- 350 親の爲・子の爲 岸邊福雄著
初版 1冊 四六判 322頁 1.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社
實は「子を育つる親のため」と名付くべき内容なり。普通の家庭に於ける子供の教育につき、極めて丁寧親切に説きしもの。(中等以上、雜)
- 351 幼きものに 島崎藤村著
初版 1冊 三六判 260頁 0.60 實業之日本社
著者の佛蘭西土産にして、その愛兒と語るが如き仕組の下に、氏獨特の情調を遺憾なく發揮せるもの。世界各所の生活事情、傳説感慨等、

事實を教ふる効果のみ見るも尚可。其の文章に至りては、現代の標準を示すが如く思はる。(中等、文學)

第 35 回 (大正六年七月五日)

- 352 黄金鳥 鈴木三重吉 話
初版 1 冊 四六判 228 頁 0.50 日本橋通四丁目 春陽堂
世界童話集第一編として「黄金鳥」以下六篇を収む。凡て西洋の話、新しきものゝみにあらず、又嚴正なる道德にかなふものゝみにあられど、無邪氣なる話と云ふべく、又文章用語に苦心せる跡歴然たり。(初等上級、童話)
- 353 我が子の生ひ立ち 愛撫八年 柴崎ゆう子 著
初版 1 冊 四六判 340 頁 1.20 京橋區南横町 廣文堂
前長崎高商校長柴崎氏夫人ゆう子女史が、其の子の養育につきて苦心せる有様を日記的に面白く記せるもの。「秋の小半日」以下六十八篇、偽らず飾らざる筆に、家庭の團欒、幼児の生ひ立ち、母親としての心掛等描き出されてよし。著者自らが折々の俳句一筆畫等なかなか面白し。(中等上級、家庭、雜)
- 354 秋山海軍少將軍談 村上貞一 編
初版 1 冊 四六判 298 頁 1.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社
秋山少將の講演を輯録したるもの、日本の現状は海軍力の充實を忽にすべからざることを力説す。「黄海々戰の回想」「日本海々戰の回想」二篇は、かの所謂海軍文學の筆者たる當年の秋山參謀の名に背かず、興趣無盡。題材稍偏して困難なるかと思はるれども、憂國の聲として、はた男性的文字として、青年に推奨す。(中等上級、雜)
- 355 世界の謎 露西亞の生活 山田枯柳 編
初版 1 冊 四六判 310 頁 1.00 神田區錦町 誠文堂
露西亞の生活を寫して最も精細、詩趣又豊かなり、外國殊に漸く我が國と交渉多からんとする露國の事情を知るには、從來表面だけの紹介多かりし中に、好箇の資料を提供するものと云ふべし。たゞ婦人に關するものには如何と思はるる節あり。(中等上級、評論)

356 歴史物語 血戰記 川島堰一郎 著

初版 1 冊 四六判 458 頁 0.85 本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會
「白河殿」以下十九篇、源平時代より豊臣氏の末路に至る迄、戰の勝敗に拘らず我が國民固有の精神を發露する態を、眞面目に面白く説けるもの。(中等下級、史談)

第 36 回 (大正六年九月六日)

- 357 笑の爆彈 松山思水 著
再版 1 冊 四六判 268 頁 0.50 京橋區南紺屋町 實業之日本社
雑誌「日本少年」に載せたるもの二十五篇に新しきもの一を加ふ。惡戯の稍過ぎたるが如きものなきにあらねど、現代を材料とせる面白き少年讀物なり。(初等上級、雜)
- 358 法華魂 青木白風 著
初版 1 冊 四六判 368 頁 1.20 麴町區内幸町 新日本社
日蓮と其の高弟諸日との奮闘の跡を記す。純粹の考證研究として、或は趣味本位の讀物として、共に幾多の疑問と希望とを存すと雖も、魂は取つて以て現下の青年に活力と意氣とを養ふの資とすべきか。假名遣、語句法の末に一段の注意を拂ひたし。(中等上級以上、傳記)
- 359 課外の讀物 友納友次郎 著
初版 高等一・二年上各 1 冊 菊判 100 頁 0.20 京橋區南傳馬町 目黒書店
桂月、濱臣、蘆花、鏡花、虛子、獨歩、逍遙、眉山、楚人冠等現代若くは近代名家の文を蒐め、稍中等校初級の讀本に類す。課毎に「注意」として註解様のものを付す。選擇の標準、刪修の程度、使用の方法等につき、幾多の問題を残すと雖も類書に乏しき折柄、安全の書なるべし。(中等下級、讀本)
- 360 箆筒 岡本米藏 著
七版 1 冊 四六判 312 頁 1.00 日本橋區本石町 博文館
著者が旅行讀書等の間に得たる所を整理して藏めたるの意味より此の名を付すと云ふ。題材多面、文章簡潔、意味深長、同氏の前著「牛」と類す。表装、用紙、挿繪其の他凡て高尚入念。(中等上級以上、修養)

361 發明家物語

大日本工業教育會編

再版 1 冊 四六判 280 頁 0.50 同會發行

工業青年叢書第二編。ジャツカード、バリツシー、高峯讓吉等二十餘人の少時、平生、事業、苦心、逸事等を極めて面白く手際よく述べたるもの。今後の青少年には有力なる刺戟たり、指導たるべし。(初等上級以上、傳記)

362 工業青年成功譚

大日本工業教育會編

再版 1 冊 四六判 286 頁 0.55 同會發行

工業青年叢書第一編。古河市兵衛、服部金太郎等邦人工業成功者を主とし二三の外國人をも加へ、多く其の苦闘の時代を述ぶ。珍しき事實も多く、感憤せしむるものあり。(初等上級以上、傳記)

第 37 回 (大正六年十月二日)

363 お伽小槌

久留島武彦著

初版 1 冊 四六判 440 頁 1.50 神田區裏神保町 富山房

進まぬ心を勵まし、不得手な筆を呵して出來たるものなりと著者云ふ。何れも實際子供の聴衆に試みて十分所期の効を収めたるものゝみを集めれば、趣味と教訓とに富む。假名遣の間違少しくあり。「遠山の雪」「夢の行方」「運の高麗犬」「火傷狐」「鼻無し村」等の八篇。(初等上級、童話)

364 水戸黄門中編

碧瑠璃園著

初版 1 冊 四六判 484 頁 1.30 神田區錦町 霞亭會

湊川の夕暮、何處へも黒雲、寒菊の首、人妻、山王權現、赤穂領、泉八右衛門、忠義櫻等の表題の下に、水戸黄門が諸國行脚武者修業を試みし事蹟を、面白く記述せしもの。事件の錯綜、行文の流暢、思はず一氣に讀了せしむ。男女關係が材料となれる所あれども所謂講談物に存する卑猥の分子なし。(中等上級、講談)

365 魔術的物理實驗法

三澤隆茂著

初版 1 冊 四六判 210 頁 1.20 京橋區南横町 廣文堂
力學及び物性、流體學、熱學、音響學、光學、電氣學の六門に亘り、凡そ百六十種の實驗を圖解説明せるもの。圖と説明と齟齬せる、説明

の不徹底なる著者自ら實驗したるにあらざる種類をも集めたる等所々に改訂を希望したき所はあれど、理化の自發的研究を高潮する時にあたり、本書の如きは其の白眉と推稱するも可ならん。表題の「魔術的」なる語は、斯る内容には不適當なるべし。(中等以上、理科)

366 アンデルゼン御伽噺

長田幹彦譯

初版 1 冊 菊判 440 頁 2.20 神田區 富山房

アンデルゼンの御伽噺より、二十五篇を譯出したるもの。著者によれば、これはその子供の時代より歎美愛誦常に座右を放さざりし大藝術にして、此所に集めし二十五篇は其の粹の粹なりと云ふ。中には「王様の新しい着物」「錫の兵隊」「醜い家鴨の子」「マツチ賣りの娘」等殆どすべての英語讀本に引用さるゝ名篇あり。譯文の平易流暢、挿繪裝禎の美と相待つて「搖籃時代の純美なる空想の涼泉漸く涸渴せむとする現代少年の好伴侶たり。(初等上級以上、童話)

367 課外理科叢話

堀七藏著

初版 1 冊 四六判 224 頁 0.65 神田區小川町 敬文館

堀氏の前著「少年理科物語」の姉妹篇。「竹トンボ」「航空船の歴史」「ノーベル賞金」「蜜柑と林檎」「檻襖の紙幣」など、内容を語る題目の外諸種の題目の下に、物理、化學、博物等に關する材料八十六を集む。乾燥無味の材料も斯る取扱の爲に清新の趣を覺えしむ。(初等上級以上、理科)

368 安全第一

内田嘉吉著

初版 1 冊 菊判半裁 122 頁 0.20 麹町區麹町二 丁未出版社

著者が米國にて見聞せる實例に基き、人は萬事に注意の周到を第一とすべきを説けるもの。結構親切の教訓なり。されど主として鐵道従業員、海員等を對象とせると、常に安全を求めて冒險の氣魄を阻害するの憂なきにあらず。(中等上級、修養)

369 話の種

湯淺觀明著

初版 1 冊 三六判 360 頁 0.70 京橋區南紺屋町 實業之日本社

禪味、趣味、滑稽、逸話の四段に分ち、數行より數頁位の小話を集めたるもの。和漢洋の學問となり、精神修養の資となり、談論の材料と

なり、常識の培養となる。青年は青年なりに面白く、大人は大人なりに面白かるべし。句讀點假名遣に普通ならずと認むべきものあり。
(中等上級以上、雜)

第 38 回 (大正六年十一月六日)

- 370 教訓世界動物お伽噺 高木敏雄著
初版 1冊 四六判 310頁 0.85 神田區小川町 敬文館
動物を主人公とするお伽噺。想像の天地廣く興味深きもの多く、長短の排列適當に工夫せられ、讀む上の便利少からず。(初等上級、童話)
- 371 支那物語 長江十年 桂頼三著
初版 1冊 四六判 473頁 1.60 神田區表神保町 同文館
海軍々人として楊子江に上下せる間の、經驗觀察を具體的に、眞面目に記せるもの。採録斷片的、觀察必ずしも深刻ならず、文章必ずしも暢達ならずと雖も、事實の觀察を基礎とし、抽象の記述を避けたいば、支那の風習、文明、民性の長短等を知るに、比類少き良書といふべく、讀者をして身支那に滞在するに均しきを覚えしむ。(中等上級以上、雜)
- 372 文明の末路 無名氏譯
三版 1冊 四六判 352頁 1.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社
米國の文學者イグナチウス・ドネリーの原著「シーザーの塔」の翻譯。讀賣新聞紙上に連載したるを、纏めて刊行せるなり。ニューヨークを中心とせる文明の一百年後を科學的に推論して、政治と軍備とが只これ一二富豪の貧民虐壓の具と化し、貧民が幾億といふ大規模の陰謀を企て、終に富豪政治を撲滅し、其所に新文明の建設せらるべき必要あつて然も其の能力者なく、畢竟人類の野獸化あるのみと豫言す。途中如何にも架空の甚だしきものあり、讀み誤れば危險思想を抱くに至る恐ある如き所あらんも、すべて現代の文明の傾向に對する警告となる極めて面白き小説なり。(中等上級以上、小説)
- 373 大宰相ロイドジョージ 原田榮一郎著
初版 1冊 四六判 366頁 1.30 神田區駿河台 白水社

世界的現代人傑の隨一とも囃さるゝ英國大宰相ロイドジョージ氏の生立より最近の活動までを記傳評論せるものにして、氏が弱者の味方として、敢爲力行の人として、はた又雄辯家としての活動振を紹介して殆ど遺憾なし。只少年時代の不溫良、社會政策の卑見に過ぐることに等危険と認むる向もあるべしと雖も、現代の日本國民及びその少青年に強烈なる刺激と警告とを與ふる良書なり。誤字誤植の目に立つのは遺憾なり。(中等上級以上、評論)

- 374 武藏野の文學 野村八郎編
初版 1冊 菊判 160頁 1.50 神田區錦町 研文社
井上東京府知事の依頼を承けて、武藏野を代表すべき文學類、紀行等を蒐集し、之を系統的に排列し、かつ學術的に研究せるもの。文章に品位あり、内容の豊富なる、近來稀に見る眞學の好著なり。學究的考證的の性質を帶ぶると、文體の高尙古雅なるとは、一般青年には多少難かしき嫌あれども、好個の讀物たるべし。發行の動機の然らしむる所か價甚だ高きは遺憾なり。(中等上級以上、文學)
- 375 海の囁き 阿部眞一郎著
初版 1冊 菊判 360頁 1.30 神田區錦町 嵩山房
第一海洋の美と偉より第十一日本海々戰回顧に至るまで、間々海外異國の史談觀察を交ふと雖も、主として神武天皇の皇謨より海防の忽にすべからざるを説く。文章の彫琢稍過ぎたるが如きものあり。史談冗長稍感興を殺ぐが如きものありと雖も、憂國の感情人を動かすものあり。(中等上級、隨筆)
- 376 春浪快著集 第一卷 押川清編
再版 1冊 四六判 814頁 1.30 日本橋區 大倉書店
武俠文學に於ける故押川春浪の功績は世既に定評あり。逝いて三年舍弟清氏故人の友朋の援助を得て大小諸作を集録するもの本書なり。文章の絢爛内容の勇壯なるに加ふるに、正確なる、洵にこれ現代少青年に薦むべき好個の讀物なり。(中等、小説)
- 377 山陽行脚附東海道行脚 スタール著
初版 1冊 菊判半裁 630頁 1.80 麹町平河町 金尾文淵堂
朝日新聞に連載せるお札博士エフ・スタール氏の紀行文なり。奇警微

妙の觀察と洒脱輕快の文章と高尚古雅なる装幀挿繪と、世評の喧囂理ありと云ふべし。稍皮肉の利き過ぎたる所、觀察の穿ち過ぎたる所などあれど面白く罪なし。(中等上級、紀行)

第 39 回 (大正六年十二月六日)

378 足 掛 四 年 櫻 菊 女 史 著

初版 1 冊 四六判 392 頁 1.20 日本橋區本銀町 寶文館

東京女高師教授たる著者が、官命を帯びて英國に體育を研究せる間の所感なり。思想穩健、批評妥當、女史天成の才氣全編に溢る。世界的眼識と體育上の趣味思想努力の培養とを必要とする我が國の女子に讀ましむべき書。(中等上級、紀行)

379 春 浪 快 著 集 第二卷 押 川 清 編

初版 1 冊 四六判 763 頁 1.10 日本橋 大倉書店

空中大飛行艇、大復讐、頑強壯漢、巖窟の珍寶、鐵車王國等十編を収む。構想奇拔、筆致痛快、極めて無邪氣なる少年讀物。(中等初級小説)

380 海 の 自 然 科 學 若 林 欽 著

初版 1 冊 四六判 388 頁 1.10 洛陽堂

荒海と砂濱以下十五章、海に關する天文、地文、動植礦物に亘り材料頗る豊富、記述頗る親切。海軍中佐なる著者が、斯る方面に興味を持ち、斯る程度に之を纏めたること、それ自身が既に世道人心に益する大なるべし。分類記述法の乏しき、章節段落の長く、目讀的漢字の多くして讀み悪き、挿畫の不足せる等、短所ありと雖も通じて有用の良書。(中等上級、理科)

381 海 軍 下 士 の 生 活 長 尾 盛 之 助 著

初版 1 冊 四六判 288 頁 0.75 日本橋區本石町 博文館

鹿島艦乗組一等筆記長尾氏が、多年の下士生活より味ひ得たる所を海軍生活の規定實際と結合し、自己の文、自己の畫を以て一編に纏めしもの。「下士生活の一斑を世に紹介すると同時に、微力ながらも、海事思想を普及せん」との著者の素志は十分貫徹せらるべき書なり。圖解表式、書例等讀物以外の參考物豊富なり。(中等、雜)

382 教訓 繪入 カードお伽話 藤 川 淡 水 著

初版 1 箱 四六判型厚紙三枚組七組 0.70 芝區芝口 開文社

三枚一組に一つの話を品良き彩色畫と併行して讀ましむる趣向。淡泊なる構想、穩當なる文章。(初等初級、童話)

383 興 國 課 外 讀 本 尋常一學年二學期 二學年二學期 興國教育研究會編

初版 各 1 冊 菊判各 90 頁 各内外 0.25 神田區今川小路 明治出版社

幼時より興國的氣魄を培育せんとの趣意を以て編輯せるもの。材料は圖畫、手工、算術、習字に亘りて變化に富み、中には國定讀本以上の佳文あり。誠に教育的合理的好讀物と云ふべし。たゞ (1) 語法假名遣分別書法等を國定教科書に準ぜざること (2) 文字の大きさに比して行間せまきこと、(3) 繪を讀む材料の稍合理的ならざること (4) 繪の不鮮明誤植等の目につくこと (5) 製本堅牢ならざること (6) 通じて程度稍高過ぎることは缺點ならざるか。(初等、讀本)

384 教訓 日本お伽話 藤 川 淡 水 著

初版 1 冊 四六判 369 頁 0.95 神田區錦町 慶文堂

教訓の露骨なると含蓄の缺乏せることは、大人の興味を惹く能はずと雖、子供には面白く讀まべく、文章相當によし。(初等中級、童話)

385 湖 中 の 鏡 馬淵冷佑 水田光 共著

初版 1 冊 四六判 123 頁 0.30 日本橋區本銀町 寶文館

お伽文學第一編。湖中の鐘、魔法瓶、ぬけ穴、大洪水、化石、小人の隠れ家等六編を収む。材料新しく、文章極めて輕妙。就中大洪水最もよし。巻頭の解説は蛇足の感あり。(初等中級、童話)

386 水 戸 黄 門 後編 碧 瑠 璃 園 著

初版 1 冊 四六判 536 頁 1.30 神田區錦町 霞亭會

一國女、義理、由比正雪の三章を収む。一國女に於ける悲痛壯烈、義理に於ける苦衷、由比正雪に於ける賢明等、霞亭獨特の筆法なり。(中等、講談)

387 兒童讀本モノガタリ 横 尾 眞 琴 著

初版 1.2.3. 各 1 冊 四六判 1 卷 60 頁 2 卷 90 頁 3 卷 140 頁

定價 1巻 0.50 2巻 0.20 3巻 0.30 神田區小川町 敬文館
第一巻はほとんど古典的となれる物語を片假名を主として繪ときし
第二巻は平假名文を交へ、その材料は人口に膾炙するもの、第三巻は
歴史をも交へ、普通の文章なり。(初等下級以上中級、童話)

388 名婦人の幼時 少女逸話 松美佐雄 著

初版 1冊 四六判 297頁 0.80 日本橋區本銀町 啓成社
歴史に將又現今の社會に賢婦人名流婦人と云はるゝ人々の十三四歳
頃(第一編)、少女時代(第二編)、幼時(第三編)九十餘章を収む。雜駁
の感なきにあらねど、面白く有益なり。(中等初級、雜)

389 潜航艇U二〇二號 實戰錄 内海景附譯

初版 1冊 0.60 日本橋區檜物町 弘學館
獨逸潜航艇U二〇二號の勇猛なる活動振を書けるもの。其艇長ベツ
ケルスハイムの原著なりと云ふ。架空誇張、實戰記なるや疑しけれど
壯烈なる冒險小説として面白く、潜航艇の一斑を知るに足る。(中等
初級以上、小説)

第 40 回 (大正六年十二月十八日)

少年雜誌新年號批評
ヨウネン

菊判 0.13 0.15 本郷區森川町一 ヨウネン社
編輯久留島武彦氏の性格のうかゞはるる如く、凡て雄大、高尚、う
るほひあり、あかるみあり、子供の天地を察する點に於て當を得、興
國的氣魄の漂ふ感あり。畫の方面に於て最も其の長を認むべく、讀物
之に亞ぐ。されど赤字の頁一杯に印刷せらるゝなど、編輯の方面に改
良すべきものがあるが如し。

幼年畫報

菊判 0.13 日本橋區本石町 博文館
或る主題に纏むると云ふ編輯方針(本號は馬を中心とす)を始めと
し、編輯の苦心頗る見るべきものあり。子供を動かす底の畫の苦心と

相待つて、穩健にして無駄なき雑誌。後半の色調稍不振。

幼年の友

菊判 0.13 京橋區南紺屋町 實業之日本社
繪落付きてよし。各番を額縁に收めんとする、理科地理等の材料を
採らんとする、體裁に變化を與へんとする等、編輯の苦心頗る見るべ
きものあり。但し其の爲に細工の稍過ぎたる觀なきにあらず。

コドモ

菊判 0.13 小石川區林町五 コドモ社
繪の調子、内容共に地味。黄色の勝てると、子供の顔の細きことな
ど、子供には不向ならむ。材料を多く入れむとの苦心は諒とすべきも
其の弊の認めらるべきものなしとせず。大體高尚なり。

幼女號

菊判 0.13 東京中澁谷 小學新報社
品位稍下るが如しと雖も、繪も組織も研究的にてよし。第一頁の松
は、一見妙に似て妙ならず。表題の文字は美感を害すること甚だし。

トモダチ

菊判 0.13 麴町區富士見町 二葉社
苦心見ゆれど落付かぬ所あり。生の色又は濁れる色の、時に醜惡を
感ぜしめ、又不明瞭に陥ることあり。讀物に假名遣の誤、不統一等考
究を要す。時節にあはぬ時節中心の材料は如何。

幼女の友

菊判 0.13 麴町區飯田町 幼女の友社
繪に生氣なきを遺憾とす。材料の取り方よし折込の稍工夫し過ぐる
が如きは、便ならず、堅牢ならず。假名遣に一層の注意を希望す。

幼年園

菊判 0.13 神田區錦町三丁目 培風館
色調くすむ傾あるは兒童向に不利なり。綴ち方に於て左右喰ひ違ふ
は面白からず。方言、口語の語法に特別の注意を拂ふべく、全文ゴジ
ツクの印刷は考究の餘地ありと思はる。編輯の苦心見るべきものある
も、繪の之を表現するに難きものなきか。

フレンド

菊判 0.13 赤坂區福吉町 フレンド社

繪筆も編輯も共に相當によし。但し、線の纖細と形の矮小とは、子供の世界には向かざるべく、又往々美感を損し、高尚を缺く憂あり。表紙の觀音開きは如何のものにや。

日本の子供

菊判 0.13 麴町區飯田町 キンノツノ社

繪の材料構成及全體の色調に於て甚だ俗惡なりと評せざるを得ず。

エバナシ

四六判 0.11 牛込區甲良町 東京出版社

四六判とせる爲か、全體に矮小踳躑、教育上甚だ望ましからず。繪に於て色良からず、子供の顔付に一種愚鈍の調子あるが如し。

飛行幼年

菊判 0.13 京橋區本八丁堀 日本飛行研究會

色調俗惡、人相怪醜、繪甚だ惡し、用語、假名遣甚だよろしからず。

第 41 回 (大正七年二月六日)

390 桂月學生文範 大町桂月著

初版 1 冊 三六判 472 頁 1.10 京橋區南紺屋町 實業之日本社

紀行文、叙事文の範圍に於て、著者獨特の輕妙なる筆致を以て思想を縦横に表せる範例を集む。讀んで面白く、文を好み、文に才ある青年の模倣に適す。一般の模範文としては程度高し。(中等上級、作文)

391 所澤より 尾崎行輝、吉田虛白 共著

初版 1 冊 四六判 370 頁 1.10 實業之日本社

飛行機に就きて細密なる説明をなし、飛行中の實際感想を語る。抒述相當に面白く、挿圖をも豊富に加へたり。現代少青年の飛行智識慾に幾分の満足と與ふべく、我が國の現状より見て少年に薦むべき書物の一。(中等中級以上、雜)

392 興國課外讀本 尋常三年 第二學期 尋常四年 第二學期

初版 2 冊 各菊判 120 頁程 0.27 神田區今川小路 明治出版社

本會第三十九回報告書批評參照。

393 修身お伽噺 水田光著

初版 1 冊 四六判 258 頁 0.90 神田區錦町 中西屋

東西古今極めて廣き範圍より材を取りて著者の改作せるもの二十篇を收む、お伽噺の條件に遠ざかれる如き感あるもの、淡泊に過ぎて興を失ふの憂あるもの、諷刺の子供に咀嚼し難き憾あるもの等、著者の更に深き研究に待つべきものの交れりと雖も、概して恬淡にして教訓の不自然に陥ることなく、佳篇と稱すべきもの多し。表装と挿繪と本田庄太郎氏の功績没すべからず、只第一「祕密の箱」に於ける勇次郎が日本人にあらぬ性格あまりに明白なる等、お伽と國籍との關係など、一層の考察をのぞむ。(初等上級、童話)

394 動物の智慧 洛陽堂編輯部編

初版 1 冊 四六判 150 頁 0.45 洛陽堂

通俗平易を旨し、學究的態度を示さむとする編者の趣旨と取材とは大に賛成に値すべきものあるのみならず、興味を惹くもの尠からず、或は此が大研究家を誘導するやも計られず。文章を改めること、繪を入ること、校正を嚴密に訂正すること、難字句にルビを施すこと等の希望條件を添へたい。(中等初級、博物)

395 生物界の不思議 松島種美著

初版 1 冊 四六判 302 頁 1.20 神田區表神保町 同文館

動植物界に於ける奇異なる現象六十有餘を選び、豊富なる挿繪の力を借りて通俗平易を旨として解説せるもの。稍學術的に深入せるものあれど、文章流暢にして讀み易く解し易く、興味あり。通俗理科書として現代の要求に應ずる白眉の書なるべし。(中等、博物)

396 黄金の椿 水田光、馬淵冷佑 共著

初版 1 冊 四六判 120 頁 0.32 日本橋區本銀町 實文館

お伽文學第四篇。「黄金の椿」「東京言葉」「鞭の踊」「薊姫」の四篇を收む。凡て相當に面白く就中「鞭の踊」は興深し。「薊姫」は強けれども品を缺く恐あり。通じて今一層雄勁の筆致の加はり、挿繪など今少し兒童向とならば、大に可ならむと囑望す。(初等上級以上中等下級、童話)

- 397 **モノガタリ四ノマキ** 横尾眞琴 著
初版 1 冊 四六判 184 頁 0.33 神田區小川町 敬文館
日本武尊、養老龍、彦火々出見尊等日本歴史に於て重きを置かるべき材料多し。文章流暢なり。(初等上級、童話)
- 398 **淡水イソツブ** 藤川義雄 著
初版 1 冊 四六判 320 頁 1.20 本郷區曙町一三 正文館
イソツブ式の小さき寓話八十二篇を収む。稍々物足らぬ感あれど文章は流暢にして読み易く、嚙みしめて味の出づるもの尠からず。(初等上級、童話)
- 399 **ひなつばめ** 五來素川 譯
初版 1 冊 菊判半裁 280 頁 0.50 東京雜司谷 婦人之友社
フランスの家庭小説を翻譯したるもの。父は佛人、母は英人にして、印度に生まれたる一少女が、印度より故國に歸る憂き旅の途中、兩親に死別し、艱難の中にありながら、常に道を誤らず、やさしき心を以て勞働に服しつゝ遂に大富豪なる我が眞の祖父にめぐり合ふといふ筋、内容もよく文もよし。(初等上級以上中等下級、小説)
- 400 **カチカチ山と花咲爺** 武者小路實篤 著
初版 1 冊 四六判 120 頁 1.30 麹町區有樂町 阿蘭陀書房
カチカチ山と花咲爺とを戯曲とせるもの。筋は昔話其のままなれど、對話の用語美しく、讀んで一種の新味を感ず。純文學を味ふ門戸として推薦す。(中等上級、戯曲)
- 第 42 回 (大正七年三月八日)
- 401 **此所に道あり** 大町桂月 著
初版 1 冊 四六判 395 頁 1.40 日本橋區下槇町 星文堂
仁義禮智信の五項に大別して其の下に之にふさはしき話題を集め、青年の修養に資せむとするもの、其所を流るる人生觀と、其を綴る雅俗混淆體とは、桂月其の人を示すもの。力と深みとに遺憾なしとせざるも穩健妥當、日本武士的氣概の衰退を治すべく力尠からず。(中等上級、修養)
- 402 **お伽十五夜物語** 鹿島鳴秋 著

- 初版 1 冊 四六判 380 頁 1.10 中西屋
子供向の小説とも云ふべきか。中には脚本もあり、事實談もありて凡て面白し。(初等上級、童話)
- 403 **新譯ロビンソン漂流記** 平田禎木 譯
初版 1 冊 菊判 428 頁 2.40 神田區裏神保町 富山房
英國の家庭に不可缺と稱せらるゝデフォのロビンソン・クルーソーの譯。譯文流暢自在、然も之を原文と對照して意外に忠實なるを見る。考證の周到と挿畫の豊富温雅と共に、此の原書を我が國に紹介せる諸譯の冠たり。(初等上級以上、小説)
- 404 **秘密の花園** 岩下小葉 譯
初版 1 冊 四六判 413 頁 1.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社
バーネット女史原著「小公子」の譯。麗はしき自然と温き人情とが人間の病める身體と傷める精神とを健全に圓滿に導き行く有様を、美しく面白く描けるもの。女子教養の任に膺る父母教師の必讀書たるに近く、少年少女には斷味困難なるべきも、生々潑潑たる思想と絢爛の筆致とは、女學校下級生にも感化を及ぼすところあるべし。(中等、小説)
- 405 **海兵物語** 三浦濤平 著
初版 1 冊 菊半裁 260 頁 0.45 本郷區駒込動阪町 大日本軍事教育會
此の種の著作近來漸く多き中に、材料の整理に加ふるに筆致輕妙、面白く讀ましむる點に於て特に異彩あり。(中等、雜)
- 406 **イソツブ物語** 少年通俗教育會編
初版 1 冊 菊判 516 頁 1.50 日本橋區本石町 博文館
世界童話第一集。譯文必ずしも巧妙ならずと雖も、文法語法の正しきは特に一長所として推すべし。(初等上級、童話)
- 407 **英國風物談** ラキソン・スキート、飯島東太郎共著
再版 1 冊 四六判 232 頁 1.30 銀座 大日本圖書株式會社
大正五年夏期文部省講習會に於けるスキート講師の講演を飯島氏が日本語にて、補説せるもの、家庭より市政に至る十二章、我が國人一般が英國事情を知る絶好の資料、特に英語學習者には最も要を得たる良參考書たり。(中等上級以上、雜)

408 赤い小壺

馬淵冷佑、水田光 共著

初版 1 冊 四六判 126 頁 0.35 日本橋區本銀町 寶文館

お伽文學第五篇。赤い小壺、壁抜け術、不思議な眼鏡、臆病獅子、傾間なあいさつの五篇を収む。筋の面白きのみならず、文章の巧妙三嘆に値す。(初等中級、童話)

409 空の戦

磯部 鐵 吉 著

初版 1 冊 菊判半裁 400 頁 0.85 神田區裏神保町 富山房

磯部海軍機關少佐の著。「日本の民間飛行家として」に於て對空防備なき我が東京の危険を説き、次で著者が飛行家として志を立てたる次第を語り、更に歐洲大戰に參列して得たる飛行上の經驗談實驗談を面白く痛快に述べ、加ふるに、「永らへて祖國へ」の一章を以てし、生きて歸朝の目出度き日に逢へる欣幸を抒ぶ。「飛行ロマンス」に於ける壯絶空中會戰の記録等亦面白し。(中等、讀物)

第 43 回 (大正七年四月七日)

410 塵の倫理

ラスキン原著、小林一郎譯

初版 1 冊 四六判 370 頁 1.50 本郷區西片町十 玄黄社

背景が西洋の風習なるを以て、少々共鳴し難き所なきにあらねど、熟讀玩味すれば趣味津々學問となり修養となるもの多し。自然界の規律を究めて人間界の倫理を正す趣意は、今日の動もすれば浮薄に走らんとする青年男女に推奨すべきものなり。譯文はラスキン研究者として哲學者として世評既に定まる譯者の名に背かず上々なり。(中等上級修養)

411 漱石氏と私

高濱 虚子 著

初版 1 冊 菊判半裁 232 頁 0.95 小石川區表町 アルス

著者の漱石觀に加ふるに漱石の多數の書翰を載せたり。文章如何にも明快にして贅冗なし。漱石を知らむと欲する者の好材料たるのみならず、文を學ぶ者の好模範たり。(中等上級、文學)

412 お伽旅行 關東地方

藤川 淡水 著

初版 1 冊 四六判 208 頁 0.60 神田區小川町 敬文館

お伽噺に托して旅行の趣味、地理に関する智識を與へんとの計畫。

文章暢達、趣味深し。但しお伽噺を愛好する程度の子供には、地理的内容稍過難ならざるか。(初等上級以上、童話)

413 お伽話とお伽唄

薄田 泣菫 著

初版 1 冊 1.00 神田區裏神保町 富山房

お伽話百篇、お伽唄三十二を集む。程度、話は稍低く、唄は稍高きが如し。されど通じて文學的讀物としてよし。(初等上級以上、文學)

414 米國物語

成澤 玲川 著

初版 1 冊 四六判 211 頁 1.20 神田區淡路町 泰山房

著者滯米七年間に見聞せる在米同胞の事情を経とし、その背景たる米國社會を緯として書けるもの。大部分は先年朝日新聞に連載せるもの。筆勢自在、面白く讀ましむ。米國事情を知るには極めて良書たり。(中等中級以上、雜)

415 早

起

山本 瀧之助 著

初版 1 冊 菊判半裁 332 頁 0.75 洛陽堂

早起に關する各方面よりの研究。時々くどき感あれど、早起せざるを得ざる如く感ずるに至らしむる力あり。現代有用の書。製本甚だ粗末なり。(中等、修養)

416 飛行一寸法師

香川 鐵藏 譯

初版 1 冊 四六判 346 頁 0.90 京橋區銀座 大日本圖書株式會社

瑞典の女流作家ラーゲルレーブが教育會の依頼を受けて、課外讀物として作れるものの譯。一少年が悪戯の中に一寸法師にせられて鵝鳥の群に投じ、瑞典を北に旅行する筋にして、其の間の善行、動物界の生活の觀察等を細密に記す。此の觀察調査の爲に著者は實に數年を費したりと。譯文亦極めて巧正。(初等上級以上、童話)

417 人魚の笛

馬淵冷佑、水田光 共著

初版 1 冊 四六判 120 頁 0.32 日本橋區本銀町 寶文館

お伽文學第六編。人魚の笛、雷のへそ、薔薇物語、風船玉、年くらべの五編を収む。出来ばえ前編「黄金の壺」と伯仲し、好讀物たり。(初等中級以上、童話)

418 蟹勇論

上泉 海軍中將 著

初版 1 冊 四六判 344 頁 1.00 牛込區通寺町四 南北社

人生、青年、成功、冒険と蠻男、才子と偉人と勇氣、勇氣の源泉、涵養の發現、勇往邁進等十章に亘り勇氣の鼓吹これつとむ。會心共鳴の點多く、三歎推獎すべし。(中等上級以上、修養)

第 44 回 (大正七月五月七日)

419 修養道歌日訓 蓮 實 長 編

初版 1 冊 四六判 416 頁 1.40 洛陽堂

一年三百六十五日に修養上の和歌各一首を配して、其に因む訓話を爲すの仕組、索引三頁あり。説くこと極めて穩健なれども熱情に缺くる所あり、殊にその生命とする和歌の選擇に思はしからぬ所尠からず。されど眞面目なる書。(中等上級、修養)

420 魔 女 の 踊 鈴木三重吉編

初版 1 冊 四六判 198 頁 0.50 日本橋區通四丁目 春陽堂

世界童話第七篇。「魔女の踊」最も曲折に富み、四編中の白眉。「海の女王」は我が浦島に類し、「馬の首」は勸善懲惡談、「背虫」は花咲爺に似たる應報談なり。文章流麗、子供の喜ぶものなるべく、母親の話の庫ともなるべし。(初等上級、童話)

421 春 浪 快 著 集 第四卷 押 川 清 編

初版 1 冊 四六判 784 頁 1.60 日本橋區通 大倉書店

「武俠の日本」「美少女冒険譚」は教育的。「腕環の行衛」の西洋探偵談、「豪傑老書生」の性行、「幽霊旅館」以下「猛犬燈臺」までの慘忍等稍快感を損ふものありと雖も、概して比倫稀なる面白き、害少き讀物なるべし。幾分同工異曲の嫌あり、(初等上級以上、小説)

422 黒 い 沙 漠 鈴木三重吉編

初版 1 冊 四六判 204 頁 0.50 大倉書店

世界童話集第八編。「輝姫」「酔つばらひ」「黒い沙漠」の三編を収さむ。文章佳く内容面白し。只「輝夜」の一編、我が國民文學の尤たる竹取物語を知らしむる趣意に於て大に可なりと雖も、帝(みかど)の姫を威嚇する言葉と態度の如何にも卑しき感じを與ふるは、白璧の微瑕とせむ。(初等上級、童話)

423 お伽おもちや箱 巖谷小波著

初版 1 冊 四六判 193 頁 0.60 四谷區舟町 忠文堂

「龍の迷子」「蜺の龍宮行」「桃の古井戸」「蕾ヶ岡」「毬の行方」「蜂の功名」「針地獄」「兎の耳垢」の八編に、長編「落花の巖」を附録す。凡て面白し。(初等上級、童話)

424 少女物語 春 の 日 村 山 至 大 著

初版 1 冊 菊判半裁 126 頁 0.40 小石川林町 文昭堂

對話、物語等短編十より成る少女向の小説なり。優美の筆致少女に適當ならむも、悲哀の傾あるは惜しむべく、通じて物足らぬ感あり。(初等上級以上中等初級、小説)

425 有 爲 生 活 高 木 信 威 著

初版 1 冊 四六判布装 406 頁 1.40 牛込區拂方町 二酉社

収むる所八拾五編、皆常識道德、處世哲學とも云ふべきもの。勿論系統的のものにあらずるも大に有益の文字。文章稍むつかしき様なれど、読み易からしむる様苦心の跡見ゆ。(中等上級、修養)

426 佛さまのお話 甲斐萩村編

初版 1 冊 四六判 358 頁 1.20 本郷區駒込富士前町 興風書院

「佛さまのお相好」に就きて數ヶ條の面白き觀察を列ね、「佛さまの本願」として五十編の訓話を集めたり。凡て釋尊が世道を戒むる箴言説き方高尚に過ぎず、俗に陥らず、善を勧め惡を懲すに力あらむ。(中等、修養)

第 45 回 (大正七年六月五日)

427 ふ る 郷 有 本 芳 水 著

初版 1 冊 菊判半裁 258 頁 0.60 京橋區南紺屋町 實業之日本社

本書は「日本少年」誌上に發表せる歌をまとめしもの。「幾山川」「少年の時」の兩篇に分ちて、合計百十題を収む。時に感傷の過度なるものなしとせずと雖も、詩趣、聲調、穩健と云ふべし。(中等以上、文學)

428 課 外 讀 本 葛 原 幽 著

1 冊 四六判各 120 頁 0.28 日本橋區本石町 博文館

尋常三年以上まで四種、根據を小學修身書に置き、その例話を總て事實談(三年に假作二三あるも)に束め、毎冊十話内外を収む。程度を國定讀本より稍高くする主義、教育上の要求と少年心理とを了解せる點に於て、進んで推薦すべき讀物たり。(初等、修養)

429 科學小説 初めて月世界に行ける人 橋本弘譯

初版 1冊 五六判 208頁 0.55 小石川區林町 明進社

ウエルズの原者。脚本作家と科學者とが相携へて、月世界に旅行するまでの曲折を記す。無稽の如くなれど、數學力學等の推論より首肯せらるべき構想は、ウエルズの得意とする所、譯文上乘と云ひ難けれども、理學と文學との連接讀物として可なり。(中等、小説)

六月少年雜誌比較

夫々主義主張あり、又境遇事情あり、外間の批評或は眞理の半面に過ぎざることあり、或は説として眞なるも實行し難きものあらん。

1 表紙については、五種共俗惡の嫌なし。されど清新の氣人の心を爽かならしむる點に於て日本少年(以下略して日本と稱す)を隨一とせむ。少年世界(以下略して世界と云ふ)と少年とは共に可なりと雖も、稍混雜の觀あり。少年の日曜表、趣向大に可なるも、細工の嫌あり。少年俱樂部(以下俱樂部と略稱す)の稍落ち付きを缺き、飛行少年(以下飛行と略す)の生氣尠き、共に遺憾なり。

2 廣告。少年雜誌の廣告中、樂器、空氣銃、寫眞機等が、地方少年を欺瞞せる例は從來頗る夥し。此の害を免るる爲には、少年と其の父兄とに警告すれば足るべきも、少年雜誌も亦特に注意を拂ふ要あり此の點に於ては、少年が之に大制限を置ける、俱樂部が幾んど書籍のみを採れる、大に多とすべきものなり。日本は比較的廣告少けれど、四十九頁の「新猿蟹合戦」のタイトルページと、中付の廣告と混雜せるは不利なり。

3 口繪につきては、只世界の池田永治が「森蘭丸」の如き研究的のもの、其の他少年の吉田秋光氏(目次には渡部審也氏とあり)の「山の思ひ出」、日本の小林永二郎氏の「枇杷の色づく頃」、俱樂部の佐々木

林風氏の「つゆの晴間」、飛行の川目達氏の「初夏」等夫々畫風に差あり、技術に級あるも、鑑賞に佳なるのみならず、少年を薰化するものあらん。世界の「魔術の種」は純粹の口繪にあらずと雖も、大に可なり。他の淺薄なるもの、陳腐なるものは、或は恐る有害なるべきを。

4 紙質の専門的良否は兎に角、印刷と相俟つて、明瞭、瀟洒の感を與ふるものを良しとすれば、少年、世界、俱樂部を推すべし。序に價格を比較すれば左の如し。

	頁數	定價
少年	136頁	18錢
少年俱樂部	144頁	18錢
飛行少年	104頁	15錢
日本少年	104頁	15錢
少年世界	104頁	15錢

5 内容事項につきて各誌の傾向を見るに、編輯記者を主なる執筆者とするの主義に立つと見るべきもの多く、少年、世界、飛行、俱樂部何れも其の色明瞭なり。獨り日本は諸家に依頼する部分を多くせる如し。隨つて主題の方面に於て變化多きは、日本にして、少年之に亞ぐ。俱樂部が歴史、講談、小説に偏傾せる、飛行が小説、奇譚を特色とせる如き、聊か遺憾とせざるを得ず。一般に科學的材料の、從來よりも進歩せる取扱の考究と共に、其の分量の増加せられんことを、吾人は切望す。

終に懸賞考へ物は、之を單に營業の目的に用ひず、本文材料に於て少年雜誌が次第に進化せる如く、更に一層大なる見地より改良せられたきものなり。以上五種とも懸賞問題については六月號に於て何れも二十年前と大差なきが如し。

第 46 回 (大正七年七月二日)

430 急がば廻れ 江原素六著

初版 1冊 三六判 396頁 1.20 牛込區神樂町 東亞堂

約諾、教育と宗教、成就天徳、良心制裁、政治家と獨立自尊、選舉

界の革新、見ざる力、青年會の責任等、圓熟せる十數篇を、山田司海氏が翁の舊著より拔萃せるもの。説穩健、文平易、世道に益する大なるべく、特に終の「過去を顧みて」の一篇は、翁の簡單なる自叙傳とも云ふべく、趣極めて佳し。(中等上級以上、修養)

431 世界童話集 東洋の巻 榎本秋村著

初版 1冊 四六判 444頁 1.30 京橋區南紺屋町 實業之日本社
アイヌ、朝鮮、支那、蒙古、印度、西亞、土耳其の童話各數篇宛を集む。我が國の童話の源泉とも思はるるもの多く、興極めて深し。(初等上級以上、童話)

432 世界童話集 西洋の巻 榎本秋村著

初版 1冊 四六判 442頁 1.30 實業之日本社
露西亞、南歐、英、佛、獨、北歐、亞米利加等各數篇宛を集む。面白し。(初等上級以上、童話)

433 修養の極致 處世の秘訣 心機一轉 新井石禪著

初版 1冊 四六判 360頁 1.20 本郷區元町 中央出版社
信仰に關する説多きは自然の數にして、現代青年には稍耳遠からんも、人格修養の必要を説くや極めて痛切、詩歌例話の引用、譬喩の應用等甚だ適切、感興頗る深し。(中等上級、修養)

434 帝國少年讀本 六年の巻 久留島武彦、小林佐源治共著

初版 1冊 菊判 116頁 0.30 神田區猿樂町 教育研究會
材料の選擇時勢の推移に伴ふこと、本書の最大特長と云ふべし。文章、挿畫等可なり。假名遣に幾分注文すべきものある如し。(初等上級、讀本)

435 空とぶお城 水田光、馬淵冷佑共著

初版 1冊 四六判 122頁 0.32 日本橋區本銀町 寶文館
お伽文學第八篇。空飛ぶお城、二人かたわ、嘘の證文、びつくり餅、魔の鎖、絲の行衛、其の他五篇を收む。日本物に改造したる話の挿畫には、日本の風景、日本の人物を描きたし。文章佳良なれど尙幾分の用意を希望したし。(初等中級、童話)

436 怪光船 水田光、馬淵冷佑共著

初版 1冊 四六判 122頁 0.32 日本橋區本銀町 寶文館
お伽文學第九篇。怪光船以下六編を收む。(初等中級、童話)

437 兒童讀本 モノガタリ 六ノマキ 横尾眞琴著

初版 1冊 四六判 184頁 0.18 神田區小川町 敬文館
面白くして有益のもの多し。振假名の助あれば左程困難ならねど、文章稍程度高きにあらぬか。對話に不自然の個所、低級の言葉なきにあらざるは微瑕、惜しむべし。(初等上級、讀本)

438 射落されてから 松室健男譯

初版 1冊 四六判 246頁 1.00 神田區淡路町 修美堂
原著者獨逸バルチツク艦隊付飛行少尉エリヒ・キリンガーが、露國沿岸の偵察飛行に出て、機の故障の爲に海中に墜落せしを、露軍に捕へられたる所より初まり、浦港護送の途中脱走し、上海に逃げ、亞米利加に渡り、諸威に密航し、終に故國に歸るまでの記事。其の計畫の組織的學術的に、注意周到なること、氣力の旺盛に、不屈不撓なること等日本人の學ぶべきもの尠からず。權道を用ひること一再ならざるも甚だしき惡徳の程度にはあらず。(中等中級、雜)

439 科學新話 謎の自然界 大畑徳太郎編

初版 1冊 四六判 454頁 1.50 牛込區市谷田町 昭文堂
我が科學界の碩學四十餘名が各々其の専門とする方面に於て、自然界の謎を解けるもの。星の數はどれ程あるか、雲中の巨人、深海の秘密、狐火の正體等五十四編、科學上の常識を養ふ上に極めて可。(中等上級、理科)

440 意外錄 和田垣謙三著

三版 1冊 四六判 270頁 1.30 牛込區神樂坂通り 南北社
「意外」記を蒐むること總べて二百六編、兎糞錄、吐雲錄の姉妹編とも言ふべく、和田垣博士一流の諧謔の中に、深刻の諷刺あり、無限の教訓あり。上品にして輕快、文章亦整ふ。語學者以外には閑文學に似たれど、一般青年の心情陶冶に資する決して小ならざるべし。(中等上級以上、雜)

- 441 改訂 尋常小學綴り方 二年以上六年 蘆田 惠之助 著
再版 5 冊 菊判 100 頁 0.12 0.13 0.18 日本橋區本銀町 寶文館
東京高師附屬小學校兒童の作文を基礎とし、所々文話批評等挿む間々平凡なるものあり、言葉遣の東京に限るもの、或は附屬小學に限るものあり、されど全體として皆適當なる模範文集なり。低學年に挿畫を加へたるは妙案なり。(初等、作文)

- 442 お伽科學 太郎がお近付になつた動物 本間 久 譯
初版 1 冊 四六判 231 頁 0.65 芝公園九 玄文社
理科的材料を文學的に通俗に説くは由來困難なるに、本書は極めて自然に、巧に兒童の求知心、好奇心を惹起するに成功せりと云ふべし。但し譯文が外國文脈そのままに近き爲か、兒童には稍理解困難の憂なきにあらず。(初等上級以上、理科)

第 47 回 (大正七年九月九日)

- 443 印 象 記 厨川 白村 著
四版 1 冊 四六判 440 頁 1.50 大阪市南区南堂橋通 積善館
著者が滯米留學中の觀察見聞に基く米國の教育、文藝、演劇、國民性に對する所感を集む。就中、米國々民性を述べたる北米印象記最も長篇なり。觀察該博にして肯綮に當るところ多し。特に文章の明快は最も悦ぶべし。今後の日本人の是非讀むべき書。(中等上級以上、雜)

- 444 小學讀本お伽四學年 藤川 淡水 著
初版 1 冊 四六判 190 頁 0.40 東京巢鴨宮仲二一九〇 兒童出版社
小學讀本卷八の教材を基として、課毎にお伽を作る。随つて稍無理なるあり。面白からぬ物あり。お伽噺一般に一轉機を與ふべき時機なれば、著者の考慮をのぞまざるを得ず。(初等上級、童話)

- 445 大日本主義 上泉 德彌 著
初版 1 冊 四六判 270 頁 1.20 京橋區南橫町 廣文堂
我が國現時の憂は物價騰貴に非ず、米騒動にあらず、思想動搖にあらず、實に國民の無理想なり。著者は之を憂へて筆を執り「大日本主義」を高唱し、大和民族の偉大なる理想を摘發す。大日本主義とは何

ぞや。「天照大御神の大御心にして、全世界の人類を慈しみ給ふ有難き尊き主義なり。」と。世界列強が近視眼的侵略に熱中せる時、此の宏大なる大日本主義の叫は、國民に一道清新の氣を導くの概あり。大日本主義と天祖の宏謨、建國の大精神、三大強國の三政策、我が國民の惰眠覺醒と國難論等大文字多し。挿畫三十、近世史年表、世界地圖等を添ふ。(中等上級、雜)

- 446 原文對照 新譯註解 高杉東行詩文集 峰間 鹿水 譯
初版 1 冊 三六判 264 頁 0.85 京橋區南橫町 廣文堂
青年の士氣を鼓舞するに大に力あるべく、漢詩解釋の力を養ふによかるべし。本文の活字を一段大きくし、値段を今少し安くしたし。(中等上級、修養)

- 447 新 約 物 語 野邊 地天馬 著
初版 1 冊 四六判 368 頁 1.50 麴町區麴町三 丁未出版社
姉妹篇「舊約物語」に見出されたる諸缺點大に補はれて、西洋文明の源泉を子供に示すに相應しき良書となれるは、大に喜ぶべし。南氏の挿畫亦錦上の花。(初等上級以上中等下級、物語)

- 448 日本家庭昔噺 後篇 高木 敏雄 著
初版 1 冊 四六判 314 頁 0.80 神田區小川町 敬文館
地藏様の御利益以下桃栗三年柿八年に至る四十七篇、輕快にして品位あり。(初等上級、童話)

- 449 趣味の地理第二篇 世界の千山萬水 白井規一 島田牛稚共著
初版 1 冊 四六判 166 頁 0.40 日本橋區本石町 博文館
痛快なるアルプ山登り以下二十二章、自然地理の趣味ある題材の集彙なり。行文亦相當によろし。但し一、地圖を適當に挿入し、二、里哩を統一し、三、「しやう」を「しょう」に改め、四、文體を統一する等に注意せば本書の價值を一層進め得べし。(中等初級、地理)

- 450 女子作文の考へ方作り方及び文例 金子彦二郎 著
三版 1 冊 四六判 246 頁 0.55 京橋區入舟町 明治出版協會
著者は女子教育に従事すること久しく、又國語作文の教授に經驗あり、此の題材を扱ふに適したる人なり。前篇は主として考へ方、作り

方の注意を述べ、後篇は文例を集む。説述平易にして参考となるべきもの多く、殊に文例に付したる批評は、作文を學ぶ者の爲になること大なり。但女子的特徴必ずしも濃厚ならざるの憾あり。(中等、作文)

第 48 回 (大正七年十月八日)

451 世界の電氣王 上巻 礫川居士著

初版 1 冊 四六判 206 頁 0.50 赤坂區傳馬町 工業改良協會

發明の神とも云ふべき世界の電氣王、トマス・エディソンの幼時、少年時代、電氣技手時代、蟄伏時代、電氣王國の發祥、愈々事業開始、自營獨立等、時代を追うて抒し、最後にその發明品を列記して之を解説す。文章頗る佳良、時代青年の受くる感化淺からざるべし。(中等上級以上、傳記)

452 青い船 竹久夢二著

再版 1 冊 極上紙菊判 95 頁 1.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社
繪畫文章兩者各々價值大なるものあり。おはなし十六篇、詩二十二篇、何れも淡泊輕妙、配する繪數十、皆清新洒脫、情操教育の力、蓋し強大なるべし。(初等、童話)

第 49 回 (大正七年十一月五日)

453 國史美談 上巻 北垣恭次郎著

初版 1 冊 四六判 332 頁 0.90 實業之日本社

天照大神と三種の神器以下年代を追うて、吉野朝廷に至る三十一章に、年代を附す。事實の正確、行文の平易、研究心の誘致等に特に意を用ひたり。只興趣の今一段といふ憾あり。挿畫なども幾分不足の感あり。(初等上級以上中等初級、歴史)

454 觀樹豪快錄 三戸十三編

初版 1 冊 四六判 300 頁 1.50 麴町區麴町三 日本書院

子爵三浦梧樓の談話や書翰を集む。將軍一流の東洋式豪快、或は肯綮を逸することなきを保し難きも、神經質の現代に一眼の清涼劑たり。

特に高杉東行の一章(三十餘頁)の如きは、以て全編の價值を定むるに足る。(中等上級、雜)

455 世界三十偉人錄 栗林己巳藏、西村文則共著

初版 1 冊 四六判 306 頁 1.00 神田區駿河臺袋町 國民書院

政治、文學、宗教、哲學、兵事、藝術等種々の方面に涉つて三十人の偉人を選び、其の生涯、事業、逸話等を述べ華麗の筆致の間に著者の感想を抒ぶ。(中等上級、傳記)

456 少年忠臣藏 平井晩村著

初版 1 冊 菊判半截 130 頁 0.38 國民書院

歴史小説文庫第二編。題材既に定評ある國民文學、改書の筆尚、少年には稍縁遠き憾なしとせざれど、優良のものと云ふべし。(中等、歴史)

457 ニコニコ双紙 松山思水著

再版 1 冊 四六判 244 頁 0.70 京橋區南紺屋町 實業之日本社

前編「豆太郎」はガリバアの旅行記中の巨人國に擬したるもの、後編「次郎坊」は「日本少年」に繪物語として連載せられしもの。後編は面白く且つ諷刺あり。笑つて讀むべき書。(初等上級以上中等下級童話)

458 列強の領土的及經濟的發展 滿川龜太郎著

初版 1 冊 四六判 296 頁 1.20 京橋區南橫町 廣文堂

筆を英國に起し、獨逸及び米國に及ぶ。終りに列強包圍の日本の位置及び使命を述べて、日本國民の覺醒を促さんとす。我が國が此の時局に際し、列強の國勢を知つて自ら覺悟を定むる上に、本書の如きは良書と云ふべし。行文輕快。(中等上級、雜)

第二編 讀物調査時代

第 1 回 (大正七年十二月五日)

- 459 お伽花壇 久留島武彦、小柴博共著
初版 1 冊 四六判 255 頁 0.75 牛込區神樂坂通 南北社
「國境の國旗」以下十四篇を収む。「七卷半」の蛇を味噌漬にする話などは稍美感を害するが、一般に讀むよりは話して面白からうと思はれる。言葉を成るべく世間の標準に合ふ様にし、動詞助動詞などの使ひ方に一層の注意をすることを希望する。(初等上級、童話)
- 460 話方十二ヶ月 玉井幸助著
初版 7 冊 四六判 110 頁 0.20 牛込區白銀町 育英書院
從來顧みられなかつた話方に對して、新しい天地を開くものである。話と問答との組合せが全體に變化を與へ、文章流麗、語法正確、而して日本歴史を闡明して大正國民の世界的使命を暗示する。内容に生氣溢る感がある。形式に尙幾分研究の餘地はあらう。(初等上級以上中等初級、讀物)
- 461 綴方十二ヶ月 蘆田惠之助著
4 冊 四六判 各100頁餘 0.20 育英書院
文話と文例とを有機的に、自然に結合して面白く綴方の骨を會得させる。文例も無論上々である。文話に於て、老人、大人、子供を相手に先生の説く所は、作文の道から遂に人生の大道に徹する概あり。著者の禪的凝念の修養によつてのみ爲し得るものである。其の爲に所々幾分程度の高い感もあるが、少年にも相當に呑み込ませ得るであらう。(初等上級以上中等初級、讀物)
- 462 精神逸話の泉 第三編 高島平三郎編
初版 1 冊 四六判 403 頁 1.60 洛陽堂
我が國古來の名將、偉人、傑士等の言行、二百五十五篇を集めたもの、

書傳史年少行發館同大るた々噴評好てしと庫文童兒

- ◇◇日本圖書館協會にて優良書として推賞されし良書 表題には少年と冠して有れども普通校の參考書お話し材料として好適のものである。敢て一度本書の一つを手にとらせられん事を希ふ。
- 大久保 龍著 ●少年源賴光と四天王 (大江山 賴光の一代記) (新刊) 金貳圓五拾錢
宮崎久松著 ●少年古事記物語 (古事記とは如何なる内容のものかとの問に答へ得る書である。) (再版) 金壹圓八拾錢
守屋貫秀氏著 ●少年曾我物語 (赤澤山祐泰の最期から兄弟が富士の裾野で本望成就まである。) (三版) 金壹圓八拾錢
奈良島知堂著 ●少年忠臣藏 (殿中の刃傷より復讐の畫策義士銘々傳入切腹まで詳説せり。) (三版) 正價金貳圓
守屋貫秀氏著 ●少年九郎判官義經上卷 (牛若丸の誕生より平家一門滅亡まで。) (三版) 金貳圓五拾錢
新井庄太郎著 ●少年九郎判官義經下卷 (義經の腰越より引返して奥州の最期迄。) (好評) 正價金貳圓
守屋貫秀氏著 ●少年西郷隆盛傳 (西郷隆盛の藝術的少壯讀物で百の全集より此一冊をすすむ。) (三版) 正價金貳圓
松本浩記氏著 ●少年吉田松陰傳 (最も平易に最も正確に説きし大傳人たる松陰の全傳である。) (新刊) 正價金貳圓
宮崎久松氏著 ●少年切支丹と天草の亂 (切支丹の弘通と迫害の狀態を解ける書。) (新刊) 正價金貳圓
奈良島知堂著 ●少年加藤清正 (清正は單に時代から棄てられるやうな武門一過の人でない。) (再版) 正價金貳圓
吉松祐一氏著 ●少年伊賀越快舉錄 (伊賀越の大仇討を史實により正確に叙述せるもの也。) (新刊) 正價金貳圓
濱田壽郎氏著 ●少年勝安房の生涯 (明治維新の大業を成すに偉大な教訓を與へた人。) (再版) 正價金貳圓
奈良島知堂著 ●少年乃木大將 (將軍と夫人の全傳及び逸話の數々を詳細に興味深く叙述す。) (三版) 正價金貳圓
守屋貫秀氏著 ●少年源氏北條九代記 (頼朝の幕府を開きしより北條滅亡迄。) (好評) 正價金貳圓
桑田陳良共著 ●少年源氏北條九代記 (頼朝の幕府を開きしより北條滅亡迄。) (好評) 正價金貳圓

座口金貯替振 行發館同大 區田神市京東
番貳七八京東 地番七町保神表

●呈進録目總●學文●學哲●育教●

藤崎俊茂著	同	同	大町文衛著	醫學博士	關正次著	桑木嚴翼著	佐々醒雪著	文學博士	若月保治著	小原國芳著	慶應大學教授	渡部政盛著
新式	新式	新式	近最	中等教育	哲學綱要	近世國文學史	近松傑作集	評註全譯	評註全譯	新教育學の根本問題	新教育學の根本問題	學習の原理及實際
獨逸語自修の根抵	佛蘭西語自修の根抵	自然科學十講	提要解剖學	哲學綱要	近世國文學史	近松傑作集	新教育學の根本問題	新教育學の根本問題	新教育學の根本問題	學習の原理及實際	學習の原理及實際	學習の原理及實際
(版五)	(版新)	(版七)	(版四)	(版二十)	(版七)	(版七)	(版四全)	(版七)	(版四)	(版再)	(版再)	(版四)
極く初歩より 高級へ説き進 んだ自修書 獨逸語の姉妹 篇にて初學者 に無二の良書 學界に最大の 影響を及せる 十大學説を述 中等程度の本 外に良書なし 世に定評あり 既に十二版 文檢受驗者等 に最適の良書 原文雜語の註 更に忠實な現 代語譯を附す 無味なる宗教 を面白く説き 教育に及ぶ 教育の根本問 題を力説論究 す 學理と實際と につき堂々六 五〇頁の力著	菊版五八〇頁 定價六、〇〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇

東京市神保町九區 太陽堂 電話九四九番 東京市神保町九區 太陽堂 電話九四九番

●呈進録目總●學工●學化●理物●

平林文學士	外二學士共著	小山民造著	橋本吉郎著	農學士	川上三郎著	松平道夫著	理學士	江崎歡藏著	錢高組技師	松本甚三著	森谷延雄著	東京高等工藝教授	宮下孝雄著	同	同
世界名著解題	物理用語新辭典	化學用語新辭典	農學用語新辭典	發明界の驚異	微文學概論	建築材料集覽	室內裝飾	色彩の知識	裝飾構成の研究	裝飾構成の研究	裝飾構成の研究	裝飾構成の研究	裝飾構成の研究	裝飾構成の研究	裝飾構成の研究
(版新)	(版新)	(版新)	(版新)	(版再)	(版新)	(版新)	(版新)	(版新)	(版新)	(版新)	(版五)	(版五)	(版五)	(版新)	(版新)
和漢洋の世界 的名著三百種 を解説す 菊版九百活字三 段組 定價六、五〇〇 送料三、〇〇〇	有ゆる用語を 網羅し和英獨 三種引用自在 物理の姉妹篇 にして三種兼 用の辭引 右二種の辭典 と同一の内容 を有するもの 少年の讀物と しても解し得 る通俗書 高等學校程度 の教科書用及 自修書 有ゆる材料を 五十音順に並 べ詳説す 一般家庭の奥 にも専門家 にも向く書 實際方面を主 とせる書應用 自由自在 純正圖案學の 立場より各方 面を論述す	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇	菊版四六〇頁 定價四、六〇〇 送料三、二〇〇

東京市神保町九區 太陽堂 電話九四九番 東京市神保町九區 太陽堂 電話九四九番

面解析幾何學講義	山崎榮作氏著	送價	四・五〇	無機化學實驗法詳解	近重眞澄共著	送價	六・〇〇
最新平面幾何學講義	山崎榮作氏著	送價	三・五〇	高等無機化學の基礎	永海佐一郎氏著	送價	五・〇〇
大増訂 物理學通論	本多光太郎氏著	送價	八・〇〇	近世無機化學講義	塚本又三郎氏著	送價	七・八〇
質點及剛體の力學	玉城嘉十郎氏著	送價	三・五〇	實有機合成化學上卷	森山剛一郎氏著	送價	二・八〇
彈性體及流體の力學	玉城嘉十郎氏著	送價	四・五〇	實有機合成化學下卷	森山剛一郎氏著	送價	八・五〇

新刊

本書は斯界の泰斗本多博士が先に編纂されたる物理學講義を改訂されたものであります。本書が出版されてから既に五十版を重ねて居ることは、本書が如何に優良なる参考書であるかを雄辯に物語るものであります。然るに大震災に會つて本書の原稿を失つたのと、博士に餘暇がなかりしたために、改訂版を出すことが出来ないうのを残念に思つておりましたが、此度博士は多數讀者の希望と弊店の願を容れられ、全編に亘つて大訂正を加へて改訂版とされることになりました。改訂版に就ては、近頃の學問の發達に鑑み幾多の新事實を附加し、文部省所定の教授要目を抱括せしめ、多數の價值ある挿圖を加へ、更に高等學校専門學校の入学試験問題をも適當に考慮して本文中或は計算問題中に加へて之に理想的の解答を與へてあります。全編に亘つて最も親切に且つ最も易く説明してありますのは本書の一大特色であります。獨學者は勿論論中學校師範學校の教師諸君併に學生諸君の有力なる相談役或は参考書として絶好なる良書であります。論より證據諸兄の御一讀を願ひます。

昭和 物理學詳解講義

東北帝國大學教授 理學博士 本田光太郎氏著

▲菊版上製本函入
▲紙數六〇〇餘頁
▲高雅なる新裝幀
▲定價金五圓
▲送料錢二十七錢

振替東京市日本橋區
電話浪花一八四六

田内老鶴園

振替東京市日本橋區
電話浪花一八四六

代數學第一卷

東北帝國大學教授 理學博士 藤原松三郎氏著

▲菊版上製本函入
▲紙數六五〇餘頁
▲高雅なる新裝幀
▲定價金七圓五十錢
▲送料金二十七錢

新刊

本書は眞に數學を愛する學徒の好同伴たらんことを期して書かれたもので、第一卷、第二卷を以て完結せるものである。名は單に代數學としてあるが、其の實は數論と代數學の全領域に亘る一通りの智識を傳へることを其の目的としてゐる。本書の内容は著者が東北帝國大學で試みた講義を骨子とし、之に多少の増減を加へたものであるが、初等數學以外に何等の豫備智識なくして了解し得られる様に書かれてゐる。かく初學者の同伴としてのみならず、一歩々々易より難に、遂には數論及代數學の最近發展の第一線にまで讀者を導かんことを期してゐる。著者は更に本書に論じなかつた幾多重要な定理と其の出典とを輯めて各章末に收め、以て自己の研究に進まんとする學徒のよき案内役たらしめんと努めてゐる。著者のかゝる欲張り過ぎた目的が、本書によつて如何なる程度まで達し得らるゝかは、讀者の公平なる批判に待ちたいと思ふ。(著者)

高等代數學通論	山崎榮作氏著	送價	七・五〇	物理學上卷力學・物性	川北清氏著	送價	六・〇〇
フリーエ級數及積分論	カールスロー氏著	送價	八・〇〇	物理學大要	山田光雄氏著	送價	二・五〇
ローレンツ微積分學	山田光雄氏譯	送價	一〇・〇〇	高等物理學計算問題集	佐藤彦充共著	送價	二・五〇
非ゆゑと幾何學	梶島二郎氏著	送價	三・三〇	增訂版 化學語彙	櫻井鏡吉共著	送價	二・〇〇
應用數學	池田芳郎氏著	送價	三・一〇	大増訂 化學本論	片山正夫氏著	送價	一〇・〇〇

振替東京市日本橋區
電話浪花一八四六

田内老鶴園

振替東京市日本橋區
電話浪花一八四六

<p>讀み方教育要説 東京高師 千葉春雄著 六四七頁四、八〇送廿七</p> <p>私の國語教育帳 千葉春雄著 一千頁上巻三四〇下巻五〇送各二七</p> <p>教育者の人生記録 千葉春雄著 眞摯なる體験と告白 二、三〇送一八</p> <p>讀す教育の鑑賞 東京高師 宮川菊芳著 賞論的嚆矢書二圖送二七</p> <p>現代讀方教育の實相 宮川菊芳著 目的論と方法論研究 三、六〇送二七</p> <p>生命の讀方教育 廣島高師校 佐藤徳市著 三六〇頁 三、四〇送二七</p> <p>國語 修身的考察 河野通賴著 文字より思想の學へ 二、五〇送二七</p> <p>全人格的修身教授の諸相 河野通賴著 教師自らの修身思索 二、五〇送一八</p> <p>生活内省と修身教育 河野通賴著 内省的生活の導入 二、五〇送一八</p> <p>具體化 小學地理教材と教授法 西龜正夫著 尋五用一、九〇尋六用二、一〇高一二用合本二、六〇 税各二七</p> <p>世界人類史物語 コフマン著 鈴木厚譯 上巻 三、六〇 下巻 三、四〇</p> <p>世界人類史物語 津田敬武譯補 世界人類史 一二九、二、三〇 税一八</p>	<p>詩の鑑賞 附 西洋近代詩の智識 百田宗治著 廿八詩人の小傳と詩 二、六〇送一八</p> <p>兒童自由詩の鑑賞 百田宗治著 本質研究と兒童作品 二、五〇送一八</p> <p>金槐集評釋 文學士 小林好日著 全釋釋五七二頁、三圖送一八</p> <p>源氏物語新講 須藤 文學士 小倉博著 全釋と解註。二、五〇送一八</p> <p>短い對話と小さい劇 長尾豐著 實演指示と作品集、價一、六〇送一八</p> <p>心理學原論 東洋大學教授 關寛之著 四七〇頁 三、八〇送二七</p> <p>教育の地方主義 栗山周一著 力強き土の教育主唱 一、八〇送一六</p> <p>理科教室を學校電氣設備 東京高工 小澤省吾著 設と改造 二、九〇送一八</p> <p>地火 採集鑑定便覽 富士川滋著 岩石化石石器地形土器 五圖送二七</p> <p>獨創教育十論 千葉命吉著 實際教育への考察。三、四〇 税二七</p> <p>萬世一系 天皇即位史論 (賜天覽) 千葉命吉著 大好評 二、九〇 税二七</p>
--	---

發兌 東京市麴町區下六番町四八 電話九段三二二八番 厚生閣書店

出版目錄を御覽下さい

申込次第(無代進呈)

<p>態度馴致の讀方教育 東京高師 宮川菊芳著 著者獨創の讀方鑑賞たる讀む態度とは何ぞや、文章究め方實際研究の實際教育的大成 送料二圓六十錢</p> <p>先生としてのお父さん お母さん 八波則吉氏外六氏序北崎永榮著 大切な子供を學校と共に同して育てるには是非必要なる心得約百項と兒童作文挿入 送料一圓八十錢</p> <p>幼稚園ばなし 青木誠四郎氏序長尾豐著 幼稚園兒童の爲のやさしいお話四十數種とお話の組立や分解や改作の智識と研究法 送料一圓八十錢</p> <p>お話あそびと小さい劇 長田新氏序 長尾豐著 前著「短い對話と小さい劇」(價一圓六十錢)の姉妹篇で實演本位の作品と指示並に樂譜 送料一圓六十錢</p> <p>暮鳥詩集 山村暮鳥著 室生萩原福士前田土田五氏序 偉大なる藝術的感激に神のごとき風格を残せる故人の代表作を収む 送料一圓三十錢</p> <p>鑑賞芭蕉句抄 百田宗治著 清楚簡雅なる俳書本來の風趣ある紙幅に芭蕉翁の代表句二百二十餘の發想句境の精隨に透徹鑑賞す 送料一圓四十錢</p> <p>詩の形態學的研究 文學博士新村出序 外山卯三郎著 西洋詩歌並に支那日本古今の詩を一貫する韻律と形式の基礎的要素の研究。 送料四圓</p> <p>ラスキン研究 御木本隆三著 膨大なるラスキンの全著作を一貫する彼の藝術觀・經濟觀・道德觀・人生觀に亘る全貌を詳論す 價二圓六十錢 送料十八錢</p>	<p>厚生閣書店 東京市麴町區下六番町四八 電話九段三二二八番 振替口座東京五九六〇〇番</p>
--	--

＝類書育教の店書黒目＝

文學博士 吉田熊次先生著	東京高師教授 乙竹岩造先生著	廣島高師教授 佐藤熊治郎先生著	東京高師教授 樋口長市先生著	奈良女高師教授 木下竹次先生著	奈良女高師教授 木下竹次先生著	奈良女高師校長 横山榮次先生著	奈良女高師教授 眞田幸憲先生著	東京高師附小內 初等教育研究會	文學博士 吉田熊次先生著	海後宗臣先生著	文學士 大山幸太郎先生著	文學士 海後宗臣先生著 村上俊亮先生著
教育史綱要	文化教育學の新研究	現代教育思潮批判 増補版	我國現時の三大教育學說	學習原論	學習各論 上卷	新教育論	公民教育資料	佐々木吉三郎教育論集	倫理學概論	ディールの哲學と文化教育學	絕對運命の精神	リットンの文化哲學と教育學
定價二・〇〇 送料〇・二	定價四・五〇 送料〇・三	定價二・〇〇 送料〇・〇八	定價二・八〇 送料〇・二	定價四・五〇 送料〇・六	定價四・〇〇 送料〇・六	定價二・八〇 送料〇・三	定價五・〇〇 送料〇・七	定價二・四〇 送料〇・二	定價四・五〇 送料〇・五	定價三・三〇 送料〇・一八	定價三・〇〇 送料〇・一六	定價二・五〇 送料〇・二
教育の根本知識としての教育史を著者獨特の才筆を振ふたもので博士の近來の快著である。	文化教育界の全部に亘つて極めて詳細にその原理を研究し諸他の學說思潮との關係、影響は勿論教授學習の實際方面まで一切を網羅包括してある。	教育教授の原理とそれから割出されてをる具體案を批判的に考察したもので現代教育學說の最も完全な鳥瞰圖である。	發生的教育學派、批判的教育學派、文化教育學派の三根據特質を深究してある。	他律的教育學を包攝して自律的の學習學を建設したもので學習の原理を平易に説明し且つ其の實際にまで十分に具體化してあります。	前者學習原論の續篇とも見るべきもので各科の學習に關して一層精密徹底せる研究を試みたものである。	我が國現時の教育が理論上にも實際上にも甚しく行詰て居る折柄其の進路としての新教育論を著者多年の經驗に基いて立論したもの。	公民の社會的生活、經濟地理、社會問題、法則、道德の斷片的説明ではなく統一した社會活動に資するに必要な凡ゆる資料を満載した社會寶典。	大正の教育者中よくその偉名を轟かしたものは著者より外にあるまい。その生前中の教育論の凡いを網羅蒐集したものである。	著者の一生を貫く倫理學は教育學と唇齒の關係にある道德的評價の對象、主體、規範、生活等を説きそれに公民道德概説の一編を附録す。	本書はディールの哲學を説くに當つて文化教育學との關係に注目し、精神科學、心理學の理念及その教育學說を詳述し、餘す所がない。	日本人の獨創になれる唯一の系統的哲學で其の徹底的思想は現代思想界の羅針盤たり教育の根本問題を解決する鍵たるべきを信ず。	吾が國教育思潮の源泉ともなり、文化教育學つ主流をなすリットンの價值論外數篇を公にせるものである。

優 良 圖 書 推 薦

淺草實科高等女學校教諭 岡本徳代著
簡易にして應用自在な **新洋服**

東京女子高等師範學校講師 松平友子著

家事經濟讀本

米國哲學博士 高島敏著
學校金錢の教育 應用及
家庭 實際

家庭金錢の教育

米國哲學博士 高島敏著
學校家庭 英才教育 應用及實際

學校
家庭
英才教育
應用及
實際

米國哲學博士 高島敏著
歐米各國に於ける
青年團處女團
の訓練指導の實況

青年團處女團
の訓練指導の實況

米國哲學博士 高島敏著
歐米各國に於ける
青年軍事訓練
並に國家總動員

菊判布製全一冊
挿圖二百四十餘入
定價金貳圓
送料金十二錢

裝幀 頗優美 高尙
紙數 三百四十二頁
定價 金壹圓八拾錢
送料 金十二錢

四六判布製美本
定價金貳圓
送料金十錢

四六判布製美本
定價金貳圓
送料金十錢

四六判 布製美本
紙數三百十餘頁
定價金貳圓貳拾錢
送料金十厘

四六判布製美本
紙數三百十餘頁
定價金貳圓貳拾錢
送料金十錢

▲眞に誰にもよく分る洋服裁縫書！ 本書は多年女學校の實際教授と家庭の應用との體驗深き著者が確信を得て書かれたものにして、從來誰にも分ると銘打つて發表されてゐるものとは選を異にし説明の叮嚀親切に而も其の方法として最も簡易にして應用自在に分離し易く續して直ぐ役立つ新研究の良書なり。

▲母も娘も怒らなく婦人たるものは讀むべし！
生活に直面して居らるゝ婦人に生きた知識愛娘の成人教育には必要缺くべからざる讀本、各學校家事教授上として大參考書である。又處女會・補習學校、其他婦人界の讀物として一種々の讀本に優るものである。家庭文庫・嫁入文庫・學校圖書館の必備書。

金錢は人間生活の總ての方面に密接な關係がある。然も從來何の方針も又教育的考へもなく幼少から愛兒に金錢を與へた不注意から子供の將來を誤り世の害毒が醸成されてゐます。本書は金錢の教育的研究と偉大の効果を擧げた實例と實驗と教育法を説明したものです。▲愛兒の教育の物め必寶を薦む

本書は一名一たゞの十六で博士になる子供の育て方一と云ひ現に世界の幾多の少年博士が出てゐる其の教育法や實例や實驗を説明してある。例へば博士になすのが目的でなくとも世の親教師が子を教育に應用すれば教育能力の増進となり心身に障り憂秀の人物に育つて来る事出來る實に良、教育寶典!

八百萬の男女青年團を如何に訓練指導すべきかは國家の一大問題である。本書は其等の參考資料として歐米の青年處女團百餘種をとり訓練指導の方法から事業の内容等細大漏らさず處なく詳述した我國にたつ一つの名著である。實に指導者の好參考資料たるは勿論、青年男女の無二の益友である。

發達してゐる歐米の軍事訓練を見よ我國民の國防觀念と軍事訓練は果して遜色なきか戦後の歐米青年軍事訓練とは第一練的體驗の結果總動員訓練とあるが共に莫大なる犠牲と生々しき者や陸軍人は勿論直接其衝當る者も必數者也。

運動哲學

明治大學講師 出口林次郎著

小學校學年別
體育衛生講話の實際

江馬春齡・高木精作共著

入函幀裝美製布判六四冊一全裝美判六四入函尙高幀裝美製布判菊	入函裝美製布判菊
頁餘十五百二數紙說拾圖壹金價定錢拾八金料送錢七十二金料包小地內	個六廿百圖揮眞寫錢拾五圖五金價定錢七十二金料包小地內

本書は我がスポーツ界の權威たる著者が曾て獨逸柏林體育大學在學中より世界體育史の研究に意を盡ぎ、今回漸く完成せられたる努力の結晶なり。内容は五編二十二章八十五節各項に亘り古代より現代に致る世界各國に於けるスポーツの變遷を秩序整然遺憾なく詳述せられたる。殊に挿入したる圖百二十餘は著者苦心の蒐集にして何れも研究家にとりて絶好の參考資料である體育家、スポーツの愛好家諸賢並に學校圖書館の必備を乞ふ。

◆内容見本申込あれば進呈す

唯一の「運動哲學」體育界空前の名著!!

本書は人生と運動、人生と體育、運動と音樂、スポーツの自然的進展、運動の特質、動性と文化、運動と學問、科學的知識の根本的解決を與へたる大著である。實に本書は教壇の好資料にして、體育家にとりて絶好の指針たるは勿論、苟も充實せる生活を希ふ現代人の必讀書である。又學校、圖書館、軍隊第備の寶典たらん。敢て江湖の精讀を薦む。◆内容見本申込次第進呈、

●勝利の榮冠は
全身周知の重

凡そ陸上競技に於ては身體の部分的發達と共に又能く全身の調和を計るにあらざれば決して完全なる域に達するものではない。本書は獨逸柏林體育大學教授ヨセフ・ガイツツアラ先生の著として、目下大學々生間及び一般競技家團に専ら參考に用ひられつゝある良書である。譯者は我が國陸上競技家にも推奨すべき良書たるを思ひ今回譯述せらる。運動家諸賢よ！速に一本を座右せられんことを。◆發行以來賣行激甚註文殺到

◆系統的兒童體育衛生の寶典!!

兒童の體格、衛生、生活、教育、を期し難く、嚴密周到にして系統ある教授に俟つにあらざれば完全な兒童の體格、衛生、生活、教育、を期し難く、著者此の點に鑑み、廣く世界各國に於ける兒童の體格、衛生、生活、教育、を研究し、多年實際教授の深き經驗に基き、豐富重要な資料教材を以て、小學、中學、大學、別に從ひ、之れを系統的に説述されたのである。實に本書は兒童體育、衛生の情懷を傳ふるのみならず、教授教材の年中行事である。各小學校教育に缺く可からざるは勿論、家庭教育にも必要缺く可からざる寶典である。

東眞砂町五十番區
京市本郷
文書堂
振替
東名古屋
二六二番
二〇二番
二〇四番

東眞砂町五十番區
文書堂
振替
東名古屋
京六
二二
二〇
二〇
番番

近代人の必識の著と推奨の六六大權威書

文學博士 檜崎淺太郎著 七版
個性教育の原理と方法
內容見本進呈 菊判全一冊總布裝函入
定價金五・五〇 送料・二七

文學博士 田中寬一著 八版
日本民族の將來
四六判全一冊總布裝函入
定價金二・三〇 送料・一八

文學博士 小西重直序 文學士 加藤仁平著
文學博士 田中寬一推奨
魂漢才記
內容見本進呈 菊判全一冊總布裝函入
定價金三・八〇 送料・二七

文學博士 松村武雄著 四版
童話及兒童の研究
內容見本進呈 菊判全一冊總布裝函入
定價金四・八〇 送料・二七

理學博士 福田光治著 三版
物質構造論
內容見本進呈 菊判全一冊總布裝函入
定價金四・五〇 送料・二四

東京高等師範教授 石川清一著 最新刊
化學通觀
內容見本進呈 菊判全一冊總布裝函入
定價金三・五〇 送料・二七

個性の開發陶冶は教育の核心であり、人間生活究極の目的である。本書は當代世界の權威たる著者が廿有餘年の蘊蓄を公開せる最も貴重な收穫である。

子弟の愛育に關心せる眞の教育家は勿論、近代人必讀の書として多大の推奨をうけてゐる。

世界の大きな謎、日本民族に對する空前の科學的研究驚くべき大發見として各新聞筆をそろへて推奨せる名著、悉くこれ日本民族の興亡に關する學理的實證、現代人必讀の文字である。

和魂漢才説の眞實相を學術的に闡明し大和魂の歴史的變遷を明かにしたもので、資料の豊富、出所文獻の確實、斷案の正確後世歴史に愈々光を加ふる不朽の名著である。

各方面より童話の本質使命並に其作法藝術を考察研究せられたるものにして飽達眞摯なる學者的態度、精到周緻なる思索、該博、豊富なる材料、博士にして始めて完成された名著である。

世界の學界が「今日の問題」として研究せる宇宙萬象に對する一切の謎と神祕は遂に本書によつて開放された。悉くこれ奇蹟的發見と驚異の文字。凡そ眞理を究めつゝあるものために必讀の權威書である。

茗溪會推奨の模範兒童讀物

文學博士 森鷗外 赤い鳥主筆 鈴木三重吉共著
文學博士 松村武雄 東京高等師範 馬淵冷佑共著
日本童話
四六判上・下二冊挿畫入
定價金六・六〇 送料各・〇六

文學博士 森鷗外 赤い鳥主筆 鈴木三重吉共著
文學博士 松村武雄 東京高等師範 馬淵冷佑共著
日本傳説
四六判上・下二冊挿畫入
定價金六・六〇 送料各・〇六

文學博士 森鷗外 赤い鳥主筆 鈴木三重吉共著
文學博士 松村武雄 東京高等師範 馬淵冷佑共著
日本神話
四六判上・下二冊挿畫入
定價金六・六〇 送料各・〇六

女子學習院 授 射手矢貞三著
少年太平記
菊判上・下二冊挿畫入
定價金一・八〇 送料各・一〇

女子學習院 授 射手矢貞三著
新家物語
菊判上・下二冊挿畫入
定價金二・二〇 送料・一〇

東京高等師範 馬淵冷佑共著
範學校訓導 飯田恒作共著
小學 常 **副國語讀本**
內容見本進呈 四六判各學年上・中・下三冊全十八冊
各冊定價四拾錢 送料各六錢

童話文學界の最高權威たる四大家が日本固有のお伽噺の訛傳廢滅を憂ひ、今の中に完全に整理しておいて之を永久に後世に傳へようといふ一大抱負の下に異常の苦心を経て大成せられたもので、用語文體の正確、行文の卒直簡潔、内容の純眞多趣挿畫裝幀一點一劃に到るまで四大家が協力一心、精選に精選を重ねられた將に斯界の標準であり、童話中興の祖ともなるもので、今や東京高等師範附屬小學校牛込成城學校を始め各地の小學校で之を初學年教科書代用に使はれるやうにまでなつたが更に廣く兒童の手に入るやう、原定價の三分の一に犧牲的廉價を以つて奉仕することにした。

學級文庫・家庭文庫・兒童の獎學賞品として多數採用さる。

千古の名文太平記の全篇を、少年少女にも容易に味得せらるゝやう之を現代文化せられしもの、面かも原文の妙所は古文のまゝ味讀を容易にし繁簡詳約宜しきを得、全篇の構想脈絡原文以上に整然として、何人が讀んでも興味津々たるものがある。

一代の文豪高山樗牛をして「源氏となつて榮えんより平家となつて亡びん」とまで叫ばしめた平家の華々しき一代を活躍せる平家物語の全篇を著者獨特の麗筆を以て現代文化せられしものにして、少年太平記・保元平治物語と共に著者が終生の事業としてゐる他に比類なき名著である。

教育のあらゆる見地から考察して最も完全なる兒童讀物を作るべく實際經驗に依り苦心著述されたものである各學年を上・中・下三冊に分ち各片假名、平假名の配置から情操陶冶の優しい材料に依り各方面の材題を巧に執り著述されたる、方々先づ本書に十二分の満足を得られる事を信ずる

七・一六二二三京東替振 館 風 培 區田神市京東 四七七三田神話電

七・一六二二三京東替振 館 風 培 區田神市京東 四七七三田神話電

高級執務服

◆◆◆ 的衆大は段値し但 ◆◆◆

賣特の下目			
一號	三圓五十錢	二號	三圓九十錢
三號	四圓三十錢	四號	四圓五十錢
送 料 各 十 二 錢			

布地見本付カタログ送呈



△各學校の先生方に御教授の際召し
て頂くに裁ちもよく白墨等の爲衣
服を汚さずから御愛用を願つて居
るも各工合の良い御用命を頂つて
ります
△男子の御家庭用着として執筆、整
理等の際お召しになれば仕事が一
快に済みます
△諸役所、會社、寫眞館、事務所等
からは勿論多大の御用命を頂つて
ゐます

腕のカバーも各種有ります
夏、秋、其の他季節向き布地數種
布地實物見本付カタログ御申越次
第拜呈す

カタログに「平穩な健康法」添附す

1. スタイル新様式にて着心地頗る良し
2. 一着で洋服和服兼用折襟詰襟も自在
3. 布地は今までに類なき獨特丈夫のも
4. 裁縫は入念二重ミシン又はテープ卷
5. 前が深く重つてゐて腹あたり工合良
6. 専門製造顧客へ直賣にて値段勉強
腕のカバーも各種有ります

信用社執務服の特長

從來の事務服に優る點

振替 東京 八八番

信用社

東京 神田區 北神保町 十番



文章は平易で面白い。(中等初級以上、修養)

463 歐米の逸話

野邊地天馬著

1冊 四六判 1.60

麹町區麹町三 丁未出版社

歐米に於ける各方面の偉人の逸話を集めたもの。逸話といつても、皆何等かの教訓を含み、然も興味の深い、大人が讀んでも飽くことを知らぬ程のものである。(中等初級以上、修養)

464 世界奇聞知識の庫

横山又次郎著

1冊 四六判

早稻田大學出版部

動植物及び物理化學等の各方面に亘る世界の不思議な事實を、最も平易な文章で書いてある。一々學理上の説明はないが、荒唐無稽のものを避けてゐる。(中等初級以上、理科)

465 白虎隊

平井晩村著

再版 1冊 菊判半裁 143頁 0.38

神田區駿河臺袋町 國民書院

明治維新の一大事實。文章は莊嚴の裡に情趣あり、簡潔にして條理を盡し、熱と血と涙とを寫すに遺憾がない。(中等、歴史)

466 建國史話

新渡戸稻造著

初版 1冊 四六判 211頁 1.20

神田區表猿樂町 新美堂

米國ペンシルバニア州開拓の祖ウキリアム・ペンの傳記である。堅忍不拔、不屈不撓、あらゆる困難と戦つて、少しも自己の主義主張を改めなかつたペンの英雄的生涯は、歴史としてよりは、修養書として力がある。著者のねらひ所を忖度するに、ペンの傳記を借りてフレンド教派の信條を實現し、平和主義、信教自由、民主觀念等を説いて居るらしく、著者の屬する宗派と、軍國主義敗滅の時機とに思ひ至ると、頗る意味の深い書物である。(中等上級、傳記、修養)

467 話材教材

加藤咄堂著

初版 1冊 四六判 348頁 1.30

日本橋區鐵砲町 磯部甲陽堂

古今東西の逸話逸聞を蒐集して、彝倫、篤行、豪俠、風懷、練心、奇警、禪機、雜蒐の八項に分類してゐる。可なり陳腐のものがあるが概して趣味と教訓とに富んでゐる。(中等上級以上、修養)

468 一事貫行

山下信義著

初版 1冊 四六判 310頁と53頁 1.50

日本橋區馬喰町 興文社

國體の美から説き起して、日本國民の最大缺點たる持續、粘着の力を鼓吹して居る。頗る道話めきて、例話や言ひ廻しに面白い所がある。語句が可なりむづかしいのみならず、あて字の多いのは缺點であるが、大和民族の前途の爲に眞面目に憂慮する穩健妥當の説として國民一般の讀むべき書物である。(中等上級以上、修養)

第 2 回 (大正八年二月四日)

469 小波お伽新集 大波の巻 巖谷小波著

初版 1 冊 四六判 360 頁 0.90 神田區美土代町 富田文陽堂

寶船橋、お伽動物園、厄鬼退治、姫の小船、島の寶等六篇を集め、附録として、「鉢の木後日噺」といふお伽芝居の脚本を載せて居る。小波さんの小波さんたる所を窺ふに十分な價值がある。(初等上級、童話)

470 小波お伽新集 小波の巻 巖谷小波著

初版 1 冊 四六判 328 頁 0.90 富田文陽堂

黄金の富士、龍退治、突飛太郎、辨天城等七篇と、三篇の附録とから成つて居る。附録は大人が讀んでも面白く、教訓に富んで居る。(初等上級、童話)

471 理科物語 白鳩號 1 冊 小川榮著

472 理科物語 蜂の王 1 冊

473 理科物語 植物の不思議 1 冊

474 理科物語 地球の怒 1 冊

初版 1 冊 各四六判 150 頁 0.50 京橋區桶町一五 大燈閣

兒童讀物研究會の第一期刊行である。「植物の不思議」に於ては、二人の兄妹と其の父農學士と、外に一少年との問答研究の體にして、植物學上の事柄を説明して居る。「白鳩號」に於ては、飛行機を説明する爲に、一少年の發奮工夫並に幸運の物語を用ひて居る。「白鳩號」に時間を無視して、事實の展開を抒し、一體に面白くする爲に加へた技工が拙であつたり、無駄話であつたり、不自然であつたり、それから假名遣に幾分考慮を要する點があつたり、慾は可なり云ひ得るが、夢

の様なお伽噺以外に少年の讀物のない時、此の方面に眞面目な開拓を企てられたことを吾人は感謝し、賛同するものである。(初等上級、理科)

475 馬鹿の小猿 鈴木三重吉著

初版 1 冊 四六判 200 頁 0.60 日本橋區通四丁目 春陽堂

世界童話集第十篇。袋の鳥、蠅が鰐魚を殺した話等、十九篇が収めてある。文章が平易で上品で、よく練られた、少年文學として立派なものである。只内容の題材は、大人が批判的に見れば別の味を感じるけれども、此の文章を了解し得る程度の子供には、本當の面白味を得させ難くはないかと思はれる。(初等中級以上、童話)

476 白鳥の魔術 吉岡郷甫、高野辰之共著

再版 1 冊 四六判 210 頁 0.60 春陽堂

家庭お伽噺第一巻で、日本物八篇、西洋物八篇。史譚、傳説、立志談といふべき性質のものも交つて居る。内容必ずしも類書の群を抜くとは云ひ得ないが、課外讀本的性質を發揮した點は、大に意味がある併し本書の形式に至つては、著者が圖書官である丈に、用語、文體、假名遣、悉く小學讀本に準據して居て、比類の余り多くない讀物である。(初等上級以上、童話)

477 能樂お伽噺 第一篇 坂元雪鳥、神田石秋共著

初版 1 冊 菊判 170 頁 日本橋區通四 わんや江島謠曲書肆

竹生島、舟渡翠、忠度、佛師、楊貴妃、等八篇の能、狂言を翻案したものである。謠曲の文句に拘泥し過ぎた傾があつて、文章が子供には少し困難であつたり、前後の關係が唐突であつたりする嫌がある。併し日本文學を少年に紹介する企は吾人の頗る賛成する所である。(初等上級、童話)

478 圖說 害蟲と益蟲 長野菊次郎著

初版 1 冊 菊判 276 頁 1.10 日本橋區本石町 博文館

名和昆蟲研究所に篤學の名ある著者が、昆蟲に關する知識を一般に進むるの精神にて成れるもの。文章に一段の努力を要すべく、挿畫に一段の活相を加ふる必要あるべしと雖も、研究に間然する所なきのみならず、著者の動機の頗る多とすべきものあり。良書として中等程

度の男女學生並に一般に博物を愛好する人々に推薦すべきものと認める。(中等以上、博物)

479 近世偉人物語 野邊地天馬著

初版 1冊 四六判 366頁 1.50 麴町區麴町三丁未出版社

ジョン・バーンズ以下ブース大將に至る三十人の偉人の小傳である。文豪、畫家、宗教家、軍人、政治家、教育家等、各種の方面に亘り特に其の青少年時代の奮闘的努力に重きを置いて居る。我が國人では新島襄、乃木將軍の二人を入れただけで、少し物足らぬ憾もある。修養書として相當によい。(中等初級以上、傳記)

480 動物界の挿話 原正二譯編

初版 1冊 四六判 262頁 1.00 洛陽堂

生命の神秘、進化の奇蹟、昆蟲の本能、地中動物の生活、動物の甲冑等十八篇。全世界の動物を卷末に附録し、以て人類の始祖、進化の大要を明かにしようとして居る。翻譯口調はあるが、比較的難解の嫌がない。あまり珍しからぬ材料もあるが、大體に於て面白い。(中等、博物)

481 織田氏時代前篇 徳富蘇峰著

初版 1冊 四六判 544頁 1.60 京橋區日吉町 民友社

近世日本國民史の中、著者が嚆て完成しようとする明治天皇御宇史の序篇。室町幕府の建設に筆を起し、その没落に至る。その間、武田上杉、織田、豊臣諸雄の活躍を叙し、來らうとする新時代を望んで筆を擱いて居る。博く諸書を引いて所論の精確を期した點は、本書を措いて他に求め難き所、年表、索引と共に世を益する事蓋し大であらう。文章亦著者の面目躍如として力がある。(中等上級以上、歴史)

482 自然のルソー 稻毛詛風著

初版 1冊 菊判半裁 274頁 0.80 麴町區三番町 開發社

ルソーに復れ、ルソーの背景、生涯、著述家、人としてのルソー等の數篇に分つて思想界の偉人を觀察して居る。簡にして要を得、文章平易にして然も力がある。(中等上級以上、傳記)

483 格言修養百譚 山田愛劍著

初版 1冊 四六判 466頁 1.50 神田區今川小路 忠誠堂

修徳、誠實、謙遜、克己等、二十二目を擧げて各五六の例話寓話を蒐め記し、其の首尾に要旨を付けて居る。材料の選擇もよく、相當に面白く書かれて居る。大正の道話とも云ふべきか。只品位や卑しき觀あるは惜しむべし。(中等、修養)

484 越味の文から 一宮榮著

初版 1冊 菊判半裁 686頁 1.60 日本橋區本石町 博文館

一宮氏が、磯千鳥といふペンネームを以て女學世界に連載し、大歡迎を受けた作物を集めたもの、上品なユーモアと、軽い諷刺とに富み現代と現代女性との觀察啓發に、或は學校修身以上の力がある位に思はれる。「今様枕の草紙」「新つれづれ草」は特に趣の深いものである。(中等上級以上、隨筆)

485 良妻物語 内助の力 平間力之助著

初版 1冊 四六判 336頁 1.70 京橋區南紺屋町 尙榮堂

男子の成功が女子内助の力に依ることの多いのを力説し、雨宮敬次郎氏夫人信子の奮闘努力、克く良人を助けたことを例示し、以下此の類の婦人の實例四十篇を集めて居る。例が最近若くは現代である爲め感興特に深きを覚えさせる。好ましくない例もなくはないが、大體に於て、金につき利につく現代婦人の傾向に一大警戒を與へ、努力の眞味を感得せしめ得る良書である。(中等以上、修養)

486 秀吉と家康 横山健堂著

初版 1冊 三六判 328頁 1.50 牛込區神樂坂下 東亞堂

秀吉と家康を中心として、信長、光秀、淀君、天秀尼、久秀、秀秋等に關する史論を試みてゐる。行文の達暢は往々脱線の嫌あるも、史論評論に一炯眼あり、淀君に關する戀愛問題稍深入りせるものあれども、讀書家を益する處蓋し少くなからう。(大人、史論)

第3回 (大正八年三月四日)

487 逸話の泉 第六編 高島平三郎著

初版 1 冊 四六判 376 頁 1.60 洛陽堂

億計弘計二王子民間に隠れさせ給ふ、から高橋健三の突飛なる祭文、に至る百六十五編を集めて居る。簡潔でテキパキして居て、中々人の肺腑を突くものがある。(初等上級以上、修養)

488 白國の義戦 町田梓樓譯著

初版 1 冊 菊判 194 頁 2.50 麴町區麴町三 丁未出版社

白耳義ビュハアン男の編纂した「武士の物語」と佛蘭西の雑誌とを一緒にして抄擇したもの。白國民が、自由の爲に、正義の爲に、義軍を起し善戦を戦つた元氣と、愛國的精神とを躍如せしめて居る。殊に「軍國議會」の一章の如きは、國民的意義の精華を極度に發揮したもので、讀む者をして切齒扼腕、熱涙の湧くを禁ぜざらしむるものがある。譯文的臭味全然なき亦大に可。(中等上級以上、雜)

489 現代世界の史的觀察 大類伸著

初版 1 冊 四六判 382 頁 1.80 麴町區飯田町 天祐社

各種の國際的施設や、最近の國際聯盟に隨喜し、戰亂の反動としての一時的平和渴望を過重視して、世界主義の實現を夢想する現代日本社會に、有力な根柢強き警戒である。統一主義は緩和劑なり、傍系なり、正系は分列割據の國家主義なり、國家の基礎を固むるを焦眉の急とす、と云ふ精神を高唱して、最近の世界各國の重要問題を縦横に論じて居る。大正四年頃からの講演、論文等を集めたのであるが、其の一貫せる主張は、今日に極めて重大な使命を有して居る。(中等上級以上、評論)

490 筆にまかせて 芳賀矢一著

初版 1 冊 四六判 476 頁 1.60 麴町區麴町三 日本書院

大禮參列記、以下三十三篇、敬神、國家、法律、武士道、文明、教育、人物等の各論あり、其の他歐米漫遊所感、旅行記、隨想等あり、極めて多方面に亘つて、近年の講演、寄稿等を集めたもの。(中等上級以上、雜)

491 ふらんす革命夜話 高須梅溪著

初版 1 冊 四六判 340 頁 1.60 天祐社

人物を中心としてフランス革命を見て、之を叙情的に散文詩風に取

扱ひ、而して當時の思想に對して冷靜な穩健な批判を下して居る。あの複雑な事件をよく纏め、興味ある物語とした苦心は蓋し察するに餘あり。(中等上級以上、歴史)

492 和歌百話 佐々木信綱著

初版 1 冊 四六判 612 頁 1.80 日本橋區本石町 博文館

和歌に關する講演、論文等を集む。學術的の事もあり、作歌の手引もあり、趣味の話もあり。和歌に志ある者には勿論、一般の讀物として可。但し振假名を入れることは、今日の日本の讀書界には必要であらう。(大人、詩歌)

493 泉聲錄 大町桂月著

初版 1 冊 四六判 376 頁 1.40 日本橋通 春陽堂

秋の富士山、以下八十二篇の紀行を集む。清閑の好資料。(大人、紀行)

494 心頭雜艸 興謝野晶子著

初版 1 冊 四六判 284 頁 1.40 麴町區飯田町 天佑社

「最近十ヶ月間の感想文」四十章と詩十數篇を收む。全篇を通じて主張するところ、婦人の獨立、婦人の勞働、社會の改善、生活の向上、無私の愛、平和の鼓吹。就中最も激烈に鼓吹するところは、婦人の經濟的獨立にある。幾分過激、奇矯の感なきにあらずと雖も、時弊に的中するところ尠からず。殊に夫の財力を浪費し、奢侈怠惰を事とする一部の婦人には、頂門の一針たるべし。詩は特に誦すべし。(中等上級以上、評論)

第 4 回 (大正八年四月四日)

495 逸話の泉 第七・八編 高島平三郎著

初版各 1 冊 四六判各 400 頁 1.60 洛陽堂

此の叢書の評價は既に定まつて動かない。(初等上級以上中等、修養)

496 新作童話 星の世界から 小川未明著

初版 1 冊 四六判 336 頁 0.90 浅草區柳橋通り 岡村書店

「星の世界から」以下「まだ見ぬ町へ」まで二十一篇の童話を収めて居る。時々子供にはむづかし過ぎる言ひまはしや、高尚な語句がないでもないが、凡て面白く、文學者の筆として首肯せらるゝ佳作である。(初等以上、童話)

497 史蹟めぐり 大類伸著

初版 1冊 菊判半蔵 366頁 1.20 日本橋區本石町 博文館

東京から始めて、東北、甲信、名古屋、越前、京都、大阪、奈良、嚴島、中國、箱崎太宰府附近、熊本城を、著者の旅行と感想とに基いて、優しい筆で記したもので、純雅な、懷古的な、奥床しい筆致を示して居る。極めて代表的な所を採つて、極めて簡明に處理してあるから、幾分物足らぬ感もあるが、學生修學旅行の参考書、旅行家の伴侶として、頗る良書である。紀行文範としても上々である。(中等以上歴史、地理)

498 國民の精神的基礎 加藤咄堂著

初版 1冊 四六判 328頁 1.60 日本橋區 大倉書店

國民精神の素地、大陸文化の影響、武士的精神の顯現、國民的自覺の曙光、世界的自覺と國民精神等の諸章に亘つて、日本歴史を思想史、文明史風に取扱つたもの。特に獨創の見識なく、又感激を惹起する所は少いが、著者の主張たる尊皇民本の主義は、つねに其の經緯をなし、史實の國民精神的方面に於て啓發する所が大きい。用語、引用文の難解な所が往々ある。(中等上級以上大人、思想)

499 大失敗と大成功 原坦嶺著

初版 1冊 四六判 374頁 1.60 赤坂區榎坂町 松本商會

失敗の原因、失敗に處する道、失敗豫防策の三篇に分つて、「不幸なる運命」「自惚れ」「機會を造れ」「自助自主」「二兎を追ふ勿れ」「恒産と恒心」等凡そ百ヶ條にわたる心得を書いて居る。洗練に幾分の餘地があり、清新の氣の幾分足らぬ嫌はあるが、極めて眞面目な修養書である。(中等上級以上、修養)

500 安樂椅子 成澤玲川著

初版 1冊 四六判 268頁 1.60 神田區淡路町 泰山房

「飛行機と自動車」「婦人」「男子」「戀愛と結婚」「禽獸」「子供」「田吾作」

「雜囊」等の數篇に分つて、西洋(主として英米、而して獨佛も少しはある。)の新聞雜誌に現はれたカリカチュア、ポンチ、洒落等を繪と共に引用し、或は譯を付け、或は註を付け、最後に「著者の巻」として、自作の分を加へてある。可笑しみのなかに深長の意味を寓し、諧諷と警戒と智慧とを與へ、英語に興味ある人には、口語體英語の稽古になる氣輕な品位ある讀物と云つてよい。只原畫をそのまま寫眞にした爲に、文字が讀めない所の多いことは缺點で、二三解釋の誤謬と共に、訂正を希望する。(中等上級以上、雜)

501 通俗世界大戰史 上卷 早稻田大學編輯部著

再版 1冊 四六判 542頁 1.50 牛込 早稻田大學出版部

通俗世界全史の一部を單行本にしたもので、全部を八篇に分ち、錯綜した今次大戰の經緯を精細平易に説いてある。箕作博士の同名書と共に、我が國人の是非讀むべき良書である。只第三篇中、獨逸人の殘虐を證明する實例は、具體的に過ぎて、振撼を與へる憾がないでもない。(大人、歴史)

502 東西英雄一夕話 三宅雄次郎著

再版 1冊 三六判 330頁 2.00 芝區佐久間町 政教社

嘗て大阪朝日に連掲されたもので、古今の英雄を東西相對比して活躍せしめ、宛然一篇の世界政治史を成して居る。かくして英雄個々の手腕經歷を知るのみならず、東西兩洋社會の推移を學ぶことが出来る文章は簡明、直截、潑刺たるものがある。東洋史、西洋史の一般を學んだ人には實に良好の史談である。(大人、物語)

第 5 回 (大正八年五月二十八日)

503 外相の奇病 永代靜雄著

初版 1冊 四六判 290頁 0.90 京橋區南紺屋町 實業之日本社

怪行者惡漢伊能六郎が、祕藥を用ひて、外交の祕密を盗み、之を利用して豪奢を極め、多くの人が其の手に惑はされて居る。それを一種の知心力を有する少年理學士高野欣之が觀破し、伊能の獨探なることを道破し、終に裁判を受けさせると云ふ筋。伊能六郎、遠野外相、玉置侯爵、山國公等を始め、二三の文士は皆現代にモデルありて、大人に

- は一々微笑まれる。毒がなく痛快な探偵談である。(初等以上、小説)
- 504 **媾和條件の基礎をなせるウキルソン氏の雄辯** 國際日本協會編
初版 1冊 四六判 62頁 0.20 京橋區元數寄屋町 横山出版部
國際日本協會叢書第一篇・新聞紙上に現はれたウキルソン氏の演説を翻譯して排列し、更に同氏の略傳、及びアメリカ國民に宣した教書等を添へて居る。ウキルソンの思想を知るに手頃のものである。(中等上級、雜)
- 505 **黒偉人ブツカー・ワシントン傳** 佐々木秀一抄譯
再版 1冊 三六判 284頁 1.00 京橋區南傳馬町 目黒書店
幼少の時奴隷解放の令が布かれ、四百萬の在米黒奴の却つて非常な悲境に置かれたのを救はうと志し、殆んど想像の外なる苦難を嘗めて終に、教育を以て此の大事業を遂げ、現代米國の最大人格と仰がれて數年前に逝去したブツカー・ワシントンの奮闘史である。投機的好運兒といふ印象を與ふる尋常の苦學談など、全然其の選を異にし、偏見を抑ふる米國社會の理想主義の背景と共に、讀んで感激措く能はざるものであらう。(中等中級以上、傳記)
- 506 **七 婦 人** 天野雄彦著
初版 1冊 四六判 270頁 1.20 牛込區市谷田町 秀文社
細香女史、山陽夫人、政宗の保姆、星巖夫人、雲濱夫人、息軒夫人淡窓の妹と云ふ七婦人の傳である。之等の婦人が、碩學、偉人の背後に活躍して、如何なる内助、如何なる刺戟を與へたかを、面白く生々と叙してあつて、不知不識の間に、女性の天職、女性の尊嚴を自覺させる。觀察點も叙述の態も、ありふれた良妻賢母書と異なり頗る面白い。(中等以上、評傳)
- 507 **ナイチンゲイル物語** 松尾孝輔著
初版 1冊 四六判 188頁 1.00 麴町區麴町三 丁未出版社
「芽ばへ」より「永世の國へ」まで十二章、嬢の博大なる愛の力の表現を以て終始してゐる。類書に擧げざる點は、嬢の人格逸事を鮮明にする爲に、當時の新聞雜誌等に材料を求めて英國社會を描出した所にある。詩句、聖語の引用、著者の道德觀、人生觀の挿入、情趣ある行文は、世の中傷謔を意とせず、毅然として獻身犠牲の道に邁進したフ

- ローレンス・ナイチンゲイルを現代人の眼前に活躍せしめてゐる。(中等以上一般、傳記)
- 508 **女子書翰文寶鑑** 村山熊太編
初版 1冊 四六判 568頁 1.70 東京澁橋町柏木 啓文堂
一見尋常の書簡文集に似て居るが、實際は古今の名翰二百を集めて手紙の模範を示すのみならず、手紙に書くべき知識、即ち社會生活に必須なる常識を與へる爲に多大の注意が拂はれて居る。此の點、文章教育に對する著者の理想の閃きとも見るべく、高等女學校、女子師範其の他同程度の素養ある婦人に、書翰の好伴侶、修養の良師友であらう。(中等以上、雜)
- 509 **逸話の泉 第九篇** 高島平三郎編
初版 1冊 四六判 396頁 1.60 洛陽堂
日本古今の女性に關する逸話凡そ三百七十篇を蒐めたもの。大半は既に人口に膾炙せる貞女、孝女、節婦の話であり、又斷片的梗概的にして、感興深からざるは惜しむべし。(中等下級、修養)
- 510 **世界文明の新紀元** 姉崎正治著
初版 1冊 菊判半裁 498頁 1.50 日本橋區本石町 博文館
十九世紀文明の總勘定、戦後の世界をどうするか、人本主義の實行等二十餘篇。著者が十八年の昔、獨逸文化の空虚、危険、害惡を豫言したのが、今度の戦争の結末に於て命中したことは、著者の誇であらう。因襲的に獨逸文明で出来た日本人の頭に、此の大眞理を叩き込んで、新しき世界の思想運動に、立ち後れさせまいとする眞劍の努力が全卷に横溢して居る。自信を失つて迷つて居る現代に、寔に良い藥である。文章の嚴密なるは殊に喜ばしい。(大人、思想)
- 511 **小泉先生 そのほか** 厨川白村著
五版 1冊 四六判 436頁 1.70 大阪市南區安堂寺橋通 積善館
卷頭に故ラフカディオ・ハーン(小泉八雲氏)の東京帝大教授時代の講義が、アメリカで出版されるにあたりコーリツヂ以來英文學の第一人者と推されるハーンの印象を第一篇とし題目として居る。上下果して虚榮の罪か、病的性慾、同性性慾、わかき藝術家のむれ等十七篇を挿んで、最後に、平和の勝利一篇を、戦争終結の記念に附録して、理想主

義を鼓吹して居る。時代思潮、哲學、文藝をぬきにしては、政治も經濟も、軍事も教育も凡て立ち行かぬ、と云ふ自覺は、實用萬能の我が國にも次第に起つて來たが、此の著は此の要求を満たすに最良の書の一つである。全篇に一貫する教育上の主張の如きは、教育界に是非推奨したい性質のものである。總じて中等には難解、又惡結果を及ぼす憂あれど、文學に興味を持つ人、英佛文學に關係ある人、頭の硬化しかけた人には、好伴侶であらう。(大人、文學)

第 6 回 (大正八年六月四日)

趣味の地理叢書 白井規一、島田牛稚共編

512 世界の名勝くらべ 第四編

初版 1 冊 四六判 160 頁

513 南極北極の探検 第五編

初版 1 冊 四六判 150 頁

514 天界地界の秘密 第六編

初版 1 冊 四六判 172 頁 各 0.40 日本橋區本石町 博文館

白井、島田兩訓導の此の企ては我が國の少年に科學の趣味を鼓吹する點に於て大なる使命を果すものである。吾々は教育實際家の手によつて、此の方面の開拓を熱望して止まないものであると同時に、其の極めて困難な事業であることを思はざるを得ない。其の困難の第一は即ち筆である。この三書の如きも、筆の潤ひ、筆の錆びがまだまだ缺けて居る。(初等上級、理科)

515 遺言 大谷靈泉編

初版 1 冊 四六判 318 頁 1.50 洛陽堂

楠公櫻井の遺訓、以下乃木大將より坂本中將へ、まで二百三十餘の、我が國先賢の遺言や辭世等を集めたものである。修養上如何にも意味の深いものであるが、此の種の材料には先賢の個性境遇の了解が必要缺くべからざるものであるにも拘らず、本書には夫れが缺けて居る。その爲に、偉人の精神の解し難いこと、之に感激し難いこと等の遺憾を禁じ得ない。(中等中級以上、修養)

516 日 日 の 論 語 大野佐吉、井上宗助共編

初版 1 冊 三六判 642 頁 1.80 京橋區南傳馬町 目黒書店

論語を一年三百六十五日に配當して、初めに本文を和文に書き下し次に解釋、終に漢文、而して上欄に英文を載せたものである。一年で論語の和漢洋の稽古が出来る。頗る氣の利いた仕組である。三百六十五日に配當することは、無意味だと云ふ批評を免れぬかも知れないが解釋も簡明、語學の爲め、修養の爲め、良書と云ふべきである。(中等上級、修養)

517 漫書 極樂めぐり 近藤浩一路著

初版 1 冊 四六判布装 196 頁 0.90 日本橋區鐵砲町 磯部甲陽堂

著者の山陰其の他の旅行土産である。生活難の實際と幻覺とによつて笑ふ餘裕と機會とを失ひ、苦笑とガス笑とより笑ひ方を知らぬ様になりかけた現代人をして、眞理と無邪氣とに笑はしめる本書はたとへ纏つた收得の自覺は與へずとも、有用の書物と云ふべきである。(大人、雜)

518 金 の 世 の 中 安田善三郎著

初版 1 冊 袖珍 388 頁 1.20 牛込區神樂町 東亞堂

書名が如何にも悪い。内容は名が連想させる拜金、唯物、主我の思想とは大ちがひで、健全な精神と强健な身體と云ふ無限の資本を以て勤儉貯蓄、個人的にも社會的にも、優越な生存の基礎を確立すべきを説き、貨殖の方法、事業經營と投資、生活の標準等、實際問題に及んで居る。武陵桃源の夢の破れて、途中の階段を飛び越して、一途に金に墮せんとする現代に、此の健全な成功者が此の堅實なる教訓は、蓋し有用の學と云ふべきであらう。(大人、修養)

519 百 姓 道 志津光郎著

初版 1 冊 四六判 227 頁 1.00 日本橋區鐵砲町 磯部甲陽堂

商工業の勃興は賀すべきことながら、其の弊は、農業を忘れ、農村の荒廢を來たし、社會の健全を毒するに至つた。著者は此の點につきては父祖の憂憤に靈感を享け、農業が凡ての職業の根本として、最も重んずべきものなることを、縦横無盡に力説して居る。あまり力を入

れ過ぎた爲に、或は都會の人々に反感を抱かせるかも知れないが、所謂進歩的の人士は之によつて大に反省すべく、靜的地方人士は、之によつて大に自信を得るであらう。(大人、雜)

520 獨言對話 三宅雪嶺著

初版 1冊 三六判 612頁 2.20 日本橋本石町 至誠堂

著者の演説、雜誌上の論説等を集めて、處世、人物、時事、婦人及び家庭、講演、雜の六部門に編纂したもの。随分古いものも加はつて居るが、とに角現代を指導する穩健有益の書である。(大人、雜)

第 7 回 (大正八年七月五日)

521 母を慕ひて 野邊地天馬著

初版 1冊 四六判 342頁 1.50 麴町區麴町三 丁未出版社

「母の行衛」以下内外十五箇國に亘る教訓物語二十九編を集めたものである。宗教的色彩が濃厚過ぎるのと、日本に關する材料が少いのと假名遣の誤りがかなりあることは缺點であるが、總じて著者の望むやうに、美しい情緒と、勇ましい精神と、明るい希望とを與へることは出来る。(初等上級、童話)

522 逸話の泉 第十一・十二編 高島平三郎編

各1冊 四六判 400頁餘 1.60 洛陽堂

本書の紹介は第九編までで既に盡して居る。(中等、修養)

523 リンコルン 内ヶ崎作三郎著

初版 1冊 菊判 424頁 2.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社

世界英傑傳叢書の第九編。リンコルンの崇拜者たる著者が幾多の參考書中から其の材料を按配して書き下したもので、文章にも熱があり、記述は極めて詳細である。北米スプリング・フィールドの野に眠つて居る苦學力行の偉人リンコルンの大なる人格を追懷するに十分である。(中等以上、傳記)

524 國史美談 中卷 北垣恭次郎著

初版 1冊 四六判 274頁 1.10 實業之日本社

足利義滿と義持、關東管領と永享の亂、以下徳川家康と秀忠に至るまでを興味深く記述し、終りに年表を附して記憶に便し、日本歴史の大

要を述べつゝ、巧みに國民的美談を紹介してある。(中等以上、歴史)

525 修養鑑 明治兩陛下盛徳記 末松謙澄著

初版 1冊 四六判 324頁 1.00 日本橋區本石町 博文館

明治兩陛下の御聖盛徳に就いて末松子爵が博く材料を集め、又直接見聞し奉つた事を記述したもので、著者が著者だけに、兩陛下の御上を記し奉つたもので本書の如く詳細で精確なものはない。價も亦廉である。(中等以上、修養)

526 花の下みち 藤井瑞枝著

初版 1冊 四六判 302頁 1.30 京橋區南紺屋町 實業之日本社

跡見花蹊女史の古稀を賀する爲に舊門下生たる著者が師の口授及び日記を材料として編したるもの、女史が幼より具さに艱難を嘗め遂に今日に至つたのは好個の立志傳として年少女子を刺戟するに足るであらう。漢詩和歌及び書畫を多數に挿入してある。(中等以上、修養)

527 法幢 本多日生著

初版 1冊 四六判 426頁 1.60 日本橋區本石町 博文館

道、國民道德、國民思想の三篇に分ち、數十章に亘つて現代國民の歸嚮を明かにせんとしたもので、自序に海軍大學の學生に對する講演を纏めたものであるといふ。佛教殊に日蓮宗に立脚して國民道德の大要を平易に説き明して居り、一般の讀物として推奨する價值がある。(大人、修養)

第 8 回 (大正八年九月八日)

528 新作お伽 五しきの鳥 横田桃水著

初版 1冊 四六判 236頁 0.70 下谷區坂本町 泰明館

背景の記述が乏しいため、子供に十分想像させ難い所もあり、事實上の不合理のあまり甚だしい所があり、教訓にわざとらしい所もあり又内容の單純に比して文章の程度の高い嫌があるけれども、發表法の巧妙、簡潔、精鍊なところ、兒童讀物として良書。(初等上級、童話)

529 平民首相 原敬と其周圍 木倉幾三郎著

初版 1冊 三六判 226頁 1.00 神田區旅籠町 戦後經營調査會
 「原敬論」百十頁。原氏の生立から今日までの奮闘生活を抒し、隱忍にして果斷、妄動を避くると同時に停滯を憎み、縦横の機略を發揮しながら、温厚の情誼克く人を養ひ、妥協、迎合に躊躇せぬかと思へば大義に殉じて世俗の褒貶に耳を貸さぬ。實に端倪すべからざる其の才幹を巧妙簡潔に記して居る。然も、原氏の永久の生命は、今後宗教的統一の境地に入るにあらざれば、畢に得べからず、只一代の才として終らざらんことを、囑して以て筆を擱く所、本書が低級の月旦にあらざるを思はしめる。「其周圍」中の「床次内相」は著者の評的態度に最も適當する人格者で、稍美化し過ぎた嫌もあるが、「原敬傳」と共に優良の讀物である。他の四篇は内容貧弱、有つても無くともよい。(中等上級以上、評論)

530 ロシアの現實 片上伸著

初版 1冊 四六判 376頁 1.70 芝區三田功運町 至文堂
 早大教授、ロシア文學の專攻者たる著者が、戦争中ロシアに滞在して、觀察經驗したところを土臺として、各方面に亘つてロシアの現状を描いたもの。田園生活あり、學校の遠足あり、劇壇の近狀あり文學者の消息あり、その他日本及び日本人の行動に對するロシア人の感想、ケレンスキーの成敗、レーニン優勢とロシアの國民性等、興味ある題材と、透徹せる觀察とを、誇張せず遠慮せず、平易に面白く記したところ、近來の好著である。(中等上級以上、社會)

531 我が往く處 岡本米藏著

五版 1冊 四六判 199頁 1.40 神田區錦町三 培風館
 著者が岡山市でなした講演の要項を精鍊したものである。序論に於て前著「牛」及び「簞笥」に發表した著者の信仰と立場とを述べ、本論に於て、日本國民の短所を指摘し、之が補正の道を絶叫して居る。序論は稍いや味を感じさせるけれども、本論は、著者の世界的知識と不羈の信念とを経とし、豊富な事實を緯として、實に讀者を魅するの力がある。(中等上級、修養)

532 曙 光 土井晩翠著

初版 1冊 袖珍 337頁 1.20 日本橋區本町 金港堂

晩翠一流の新詩五十餘篇と、校歌數篇、新作短歌數十句を収めて居る。詩としては情熱に乏しく、佶屈の用語が多く單調にして清新の氣を缺いて居る。併し、其の主張は正に新しき時代を築かんず意氣ありと云ふべく、又良讀物である。(中等初級以上、文學)

533 赤門ちちら蟲 藤村峰雄著

再版 1冊 四六判 230頁 1.00 神田區錦町三 培風館

赤門生活の文學である。ありふれた學校生活紹介の文字とは聊か撰を異にし、讀物として價值がある。只あまりブライトサイドのみを採つた嫌がある。がこれも又已むを得ないか。(中等上級、雜)

534 日本アルプスと秩父巡禮 田部重治著

初版 1冊 三六判 342頁 1.30 神田區小川町 北星堂

著者の稍古き經驗印象を發表したもの。登山案内としては、雜駁にして印象的に過ぎ、著者踏破の時代と山様に夥しき變化ありて、登山者を失敗せしむる憂あり。併し、既に此の山々を経験した人の讀物としては、共鳴多き書き振りで、山岳趣味の鼓吹に大に力がある。一書の中に斯くひろく取り入れた點は、類書中に比類がない。(中等上級以上、地理)

535 悲しき笛 有本芳水著

初版 1冊 菊判半截 200頁 0.65 京橋區南紺屋町 實業之日本社

春夏秋冬各百首程の短歌と、十幾篇の長詩とを収めて居る。「ふる郷」「旅人」等と同じく、極めて平易な調で、柔かな情緒を上品に流露し、感傷に過ぎた感じも與へない。然もよく自然に感銘して居る。(中等初級、文學)

536 通俗講話 電氣の世界 堀七藏著

初版 1冊 四六判 456頁 2.20 神田區小川町 敬文館

電氣に關する最新までの研究を網羅し、工學の方面からの材料も加ふ。寫真版や圖なども、もつとあつてよいが、相當澤山挿入してあり、内容もよく整頓されて居る。只通俗講話としては、學的排列に囚はれ過ぎて居る感がある。又此の程度の讀者には原語の頭註など入れたい。又郵便や爲替のことはなくもがなである。併し通常起る電氣に關する

疑問は大概此の書で解決せられる良書である。(中等上級、理科)

537 **我が植物観** 草野俊助著

初版 1冊 四六判 289頁 1.50 日本橋區鐵砲町 磯部甲陽堂

植物に関する興味ある問題を捉へて断片的に説いたもの。人生に関する方面あり、哲學的方面あり、文學的方面あり、専門家には珍しからねど、書きあらはし面白く、議論亦面白し。文章の内容に比し稍劣れる感あるは惜しむべし。(中等上級以上、理科)

538 **新茶話** 薄田泣菫著

初版 1冊 菊判半裁 406頁 1.20 芝區芝公園 玄文社

「後の茶話」以後最近まで、大阪毎日に掲載した小品の一部である。清新の氣に満ちた話を、洒脫な氣の利いた、而して可なり強い筆で書いてある。道德を説くでもなく、世を慨するでもないが、所々諷刺、皮肉を感じしめる。面白い中に常識を養はせ、緊張し切つた現代生活には、よい讀物である。(中等上級以上、隨筆)

539 **少女對話 ベルの音** 濫澤青花著

初版 1冊 四六判 228頁 0.80 京橋區南紺屋町 實業之日本社

人物、場所、時を明かにして、對話の練習に供した書物。單純な筋の中に幽趣情想の自ら溢れて居て、少年諸君に清新の氣を起させる。讀物としてもよく、學藝會等の材料にもよい。(初等上級以上、戯曲)

540 **古寺巡禮** 和辻哲郎著

初版 1冊 四六判 344頁 2.00 神田區南神保町 岩波書店

奈良及びその近郊の古寺を巡遊し、美術的價值のある建築、彫刻、繪畫等を鑑賞した時の感想録である。専門家の説明でないから、理路を辿つた記載でないが、藝術品に對して、心行くばかり翫賞を恣にし其所に喚起された感興を、流麗な筆を以て簡明に發表したもので少しく美術の趣味あり、歴史の知識ある者には、實に卷を掩ふを忘れしむる程である。特徴を示すコロタイプ版の選擇も要を得て居る。(大人美術)

541 **地上地にひそむもの** 島田清次郎著

初版 1冊 四六判 345頁 1.20 牛込區矢來町 新潮社

不幸な境遇におかれた中學生を主人公として、その母の愛、小學同級女生との間に双方から起る自然の愛情、校長と擔任教師と體操教師との溫酷兩種の態度、隨所に隱見する哲學上、宗教上の偉大なる創見と疑問、之等は僅々二十才の青年著者の筆に成つたとは思はれず、殊に少しも飾らぬ文章で讀者を引張つて行く所、實に千鈞の力がある。實業家、藝者屋の内幕等、社會の裏面、眞相等、耽溺して得たのでなく逆境に置かれて觀察した所を曝露して、吾人に教ふ所少くない。(大人、文學)

542 **悲痛三年** 鈴木春治著

初版 1冊 菊判半裁 140頁 0.60 洛陽堂

小學校教師たる著者が、身の上に取りたる三年間の悲痛を告白したもの。文は空想に出でたる筆のすさびではなく、敬虔眞摯なる著者の痛感した現實生活である。材料は著者個人のものであるが、之によつて人生の眞味を感じせしむるに足り、涙の中に光を與ふる好著と云ふてよい。(大人、隨筆)

543 **戦時行脚 青い赤毛布** 八田三喜著

初版 1冊 四六判 401頁 1.50 京橋區銀座 大日本圖書株式會社

日本語の「赤毛布」をアメリカでは「グリーン」と云ふ。依つて「二つ三つ赤毛布の青さかな」と一句作つて題名とした。旅行中の報告を兼ねた手紙と日記との一部の記念出版物である。何でも率直に飾らぬ發表、大に痛快である。學校の事が中心ではあるが、戦時の歐洲社會を知るに足る。(大人、紀行)

第 9 回 (大正八年十月四日)

544 **南蠻探検** 西川甲平著

初版 1冊 四六判 261頁 1.20 神田區三崎町 文藝書院

朝日新聞記者たる著者が、印度、新嘉坡等に於て實驗した鰐魚狩、虎狩、獅子狩、野象狩等を記したもので、附録には、遠州灘の鰹漁の實驗談を添へ、其の間、印度獨立運動や白人の態度等を挿んで居る。痛快、壯烈、筆亦雄勁、多少佶屈の文字があるけれども、愉快に讀め

る。大體に於て、讀者の氣宇を大ならしむる材料である上に、少しく頭を以て讀む人には白色人對黃色人の激烈なる感情や、日英同盟問題等に關する著者のヒントが、極めて味深きを感じしめる。(初等上級以上、讀物)

545 趣味の旅 古跡めぐり 笹川臨風著

初版 1冊 菊判410頁 1.20 日本橋區本石町 博文館

日本全國にわたつて、著者が實地踏破した古跡を二十あまり選んで、あつさり、面白く書いた紀行文である。著者の史觀もうかがはれ、文章も良い。(中等上級以上、紀行)

546 たましひ 高峰博著

初版 1冊 菊判半截348頁 0.80 小石川區小日向臺町 良書普及會

學窓新話第二編。表題の碎けて居るのに引きかへ、内容は頗る充實して居る。即ち腦髓に關する研究の歴史や、その新しい研究を述べて人間の精神を著者が、其の專攻の學理から説明して居る。而して迷信や怪談の醫學的解釋、精神の衛生、修養の問題、受験の教訓等を加へ且つ索引をも附録した、近頃珍らしい親切的な、然も文學的用意をも忘れぬ優良の書物である。實生活から脅威を痛感し、然も從來の非科學的定型的安心の無力が暴露せられた時代に於て、科學の光を此の方面に投げ、然も科學者の陥り易き器械化を避けたのは、寔に感謝すべきである。(中等上級以上、理科)

547 向陵三年 山岡柏郎著

初版 1冊 四六判452頁 1.40 日本橋區本石町 博文館

著者が、一高時代の追想である。入學試験通過後の感想から、寮歌、新渡戸先生、野球試合、基督教青年會等の記事を通じて、青年期の美しい感激を味はせてゐる。宗教的色彩の激烈なことは、蓋し著者の面目を示すものであらうが、新渡戸校長を中心に流露する愛情と憧憬とは實に一篇無韻の詩であり、同時に現代青年を毒せんとする輕佻の氣風を警むる教條である。(中等上級、雜)

548 東西偉人臨終語錄 高橋五郎著

初版 1冊 四六判202頁 1.50 京橋區桶町 大燈閣

東西古今の學者、政治家、軍人等三十餘人の性格と境遇とを解剖批評して、其の臨終の言の由つて來る所を明かにして居る。人物の取り方が普遍的、組織的でなく、英書からの材料が多過ぎ、引例考證の該博が時に脱線となり、臨終語でないものがあり、文章が漢文直譯體の域を脱せず、固有名詞の發音に如何はしいのがある等、缺點も少くないけれども、氏獨特の哲學と健全な評眼とから出る、美化と筆誅との力は、蓋し青年修養に資する所大なるべきを思はしめる。(中等上級以上、修養)

549 激動の中を行く 興謝野晶子著

初版 1冊 四六判250頁 1.40 小石川區表町 アルス

政治、外交、教育、藝術、生活、選舉、勞働、思想等、あらゆる社會現象に對する犀利なる觀察と峻烈なる批評と、皆理想と哲學と眞實とから割り出されて居り、頑迷に對する鋒尖の鋭いのみならず、又輕薄な世論、殊に噪沍な女流批評家に對する戰陣の頼しさは、敬服に値する。文化主義といひ、汎勞働主義と云ひ、表題となれる巴里雜沓の「激動の中を行く」自己の歩みの固きを主張する精神に發して居る。婦人改造は勿論、日本社會改造の大問題を捉へて居る。(大人、思想)

550 赤門だより 志摩五郎著

初版 1冊 菊判半截200頁 0.75 牛込區神樂町 東亞堂

高校から大學への移り際から筆を起して、大學生活中の事件や、運動部の有様や、其の外、「一高ロマンス」「目白より」などと云ふ書物と類似した挿話を集めたものである。文章に骨折の見えるのは、大によい。赤門の紹介として、必ずしも包括的ではないが、面白く出来て居る。(中等上級以上、雜)

551 平和の青年 佐藤鋼次郎著

初版 1冊 三六判314頁 1.00 日本橋區本石町 博文館

亡國の徑路、學校は總てこれ兵營、世界の穢多村、東亞豈一人の鐵木眞なからんや、次の戦争等總て二十編、外に附録として佐渡丸遭難記と青少年軍事教練との二篇がある。本篇は著者が一團の青年を率ゐて、滿蒙の野に旅行し、白人の異常の活動、日本人の不作法、自然の大寶庫等を見て、大に悟る所あつて歸つて來るといふ仕組、要するに

大國民になれといふ趣旨を鳩翁道話式にのべたものである。佐渡丸遭難記は、本書中、眞に人を動かす力ある唯一のもの、と云つてよいであらう。(大人、修養)

第 10 回 (大正八年十一月四日)

552 逸話讀本 第一學年 藤川 淡水 著

初版 1 冊 四六判 151 頁 0.45 神田區小川町 敬文館

ヨクマナビ、ヨクアソベ以下二十五篇の逸話を収む。内容は修身の助となるものが多い。用語が程度にはづれ、印刷がちよいちよい間違ひ、分別書法が區々になり、六號活字を加へたる等、形式上に幾分遺憾な點がある。又目に訴へる趣味美育の方面には、大に著者の再考を請ひたい所がある。(初等初級、修養)

553 小學お伽話 沼田 笠峯 著

初版 1 冊 四六判 231 頁 0.65 日本橋區本石町三 博文館

「各篇とも興味を本位としてではありませんが、廣い意義での教訓を含ませることを忘れては居ません。」と云ふ著者の例言は十分に實證されて居る。子供の想像を満足させる要件が備つて居り、下品な思想や譬喩が無く、用語も發表法も、又假名遣ひの細かい所までもよく注意された優良の讀物である。(初等中級、童話)

554 闘牛 馬場 孤蝶 著

初版 1 冊 三六判 368 頁 1.50 麴町區飯田町 天佑社

シェンキキツチのスペイン風俗「闘牛」の譯を巻頭に、以下隨筆十數篇を集む。文學としての響の高い中に、天才は努力に歸する立場から發する修養の力を閃かし、頽廢氣分を排斥する態度に源する警世の教を匂はせて居る。(中等上級以上、隨筆)

555 教育者の思想と生活 三浦 修吾 著

初版 1 冊 四六判 414 頁 2.00 神田區表神保町七 大同館

災難病苦等あらゆる人生の苦難を経て終に、人間内在の偉大なる力を把捉し得たる教育家、三浦修吾氏の生活史、思想史に織り込まれた教育事象の觀察である。「N子の臨終」に其の頂點を示す「愛」は、本書をして情熱あり、魅力あり、人の肺腑を衝くに至らしめて居る。得意の

教育者、失意の教育者、共に讀むべく、殊に師範上級生、若き教育家の必讀を勧めたい。(中等上級以上、修養)

556 三角の眼 百瀬 しづ子 著

初版 1 冊 三六判 223 頁 1.20 赤坂區臺町 弘道閣

著者が讀賣新聞記者時代に、名流婦人を訪問して得た談話、婦人及び婦人問題についての觀察描寫、其の他婦人を中心とした隨筆等を集めたもの。大概一度新聞に掲載されたもの。職業婦人訪問記の一篇が現代婦人努力の事實を示して、逸情を警しむる力を持つ。「水の上」の一篇が或は青年男女を誤まらしむることなきかを思はしめる外、平穩無事、今一息の深みなきを憾ましめる。(大人、隨筆)

557 一人の女 新渡戸 稻造 著

初版 1 冊 四六判 311 頁 1.50 京橋區南紺屋町 實業之日本社

大部分は過去二三年に亘つて「婦人世界」に發表されたものであるが可なり改削されて居る。表題は一人の婦人であるが、内容は、多數の然も實在せる婦人に就いて色々の實例を蒐めたもの。修養の力で強くなつた例、亡父を慕つて誘惑に勝つた例、窮地に立つて天命を悟つた例上京して誘惑にかゝつた例、年下の書生に欺かれた例等、生きた教訓に満ちて居る。「信仰の力に依りて」、「寡婦に同情して誤解さる」等は、殊に人を動かす力がある。(中等上級以上、修養)

558 わかき婦人の結婚と自覺 沼田 笠峯 著

初版 1 冊 四六判 286 頁 1.60 洛陽堂

近頃喧ましくなつた問題を手際よく纏めたもの、結婚問題、日常生活、心の糧の三篇に分け、近代思想發展史(最近の部に觸れず)を附録して居る。所説甚だ穩當だが、信仰なく感激なき、平板のものである(中等上級、修養)

559 愛兒の躰と愛兒の教育 樋口 長市 著

初版 1 冊 四六判布裝 294 頁 1.50 京橋區南鍋町 隆文館

一名「家庭と學校との中間問題」。目次が示す通り、教師にも家庭にも、痒い所に手の届いた注意に満ちて居る。筆がよくまはつて、形容が巧みで、誠に面白く讀ませる。多少大袈裟に聞える程の快文字である。(大人、教育、家庭)

560 和 顔 愛 話 釋 宗 演 著

初版 1 冊 菊判半裁 290 頁 1.00 日本橋區本石町三 博文館

「女の社交は遊戲に非ず」、「女の贅澤は獨立心の缺乏」、「苦を楽しむ女となれ」、「人爲の美を脱せよ」等、現代婦人を警しむる文字に満ちて居る。墮落もし、苦悶もし、後半生を光榮に満ちた得道説教の師として活動して、最近寂に入つた圓覺寺管長たる著者の聲は、深遠にして理に走らず、禪より出で、禪臭なく、一讀清涼を覺えしめる。「岩野泡鳴問題と肉」の如きは、禪門の高師でなければ言ひ得ぬ所、通じて再讀翫味すべきもの。(中等上級以上、修養)

561 ろ し あ 童 話 集 昇 曙 夢 譯 編

初版 1 冊 四六判 358 頁 1.30 日本橋區南茅場町 大倉書店

杜翁、クルイロフ外三氏の創作を譯したものである。子供向きの内容であるが、子供に直接讀ませるには、文の形式、材料の排列等、幾多の缺點があらう。心ある人々が研究の目的に、或は兒童教養の資料に供するならば、誠に優良の書であらう。(大人、童話)

562 講和會議を目撃して 中 野 正 剛 著

初版 1 冊 四六判 450 頁 2.00 麹町區 東方時論社

巴里平和會議に牧野全權と共に出發して、親しく全權と交はり、一行の行動を觀察しアメリカに於ける日本、歐大陸に於ける日本を目撃し、駐在の使節も、特派の使臣も、共に機を見るの明なく、策を畫するの力なく國威悉く泥土に委せられたるを慨し、一月にして前途知るべく全局推すべしとて、早く歸朝して筆に舌に帝國の人心を新たにすの運動を起した憂國の叫びである。文化主義的國家主義を主張して、言々皆血、句々悉く涙、同胞總て熟讀省察すべき著述である。(大人、評論)

第 11 回 (大正八年十二月二日)

563 黄 金 の 獅 子 吉岡郷甫、高野辰之著

初版 1 冊 四六判 198 頁 0.65 京橋區南傳馬町二の六 春陽堂

黄金の獅子外十一篇、西洋の材料と日本のとを交互に配置してある用語文體、假名遣が國定讀本に準じてある點は、此の書物の一得點で

あらう。趣味本位といふ點からは、尙幾分の餘地がある。(初等中級以上、童話)

564 名 將 回 顧 錄 原田政右衛門編

初版 1 冊 四六判 262 頁 1.20 神田駿河臺 國民書院

奥、大島以下八將軍の、日清・日露實戰の經驗を、指月原田中尉が記述したもの。本書の長とする所は、三軍を叱咤する主將の苦心を知るに輕便といふ點である。幼年學校豫科などには良い本であり、中學初年級にも面白からう。(中等初級、戰記)

565 屍 の 中 よ り 大 倉 桃 郎 著

初版 1 冊 四六判 514 頁 1.60 本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會

日露戰爭中旅順攻圍の一兵卒が、無名山攻戰から開城まで、攻戰に關係した自己と周圍とを、有りのままに記述したもので、所謂新しい思想の青年の告白である。内容の方で、死を恐るるの觀念に出發して居るのは士氣を鼓舞する所以でないとの批評があらう。けれども今後帝國の戦ふべき戦争は、恐らく持久戰であらう。さうすると、ウェリントンが、「戦場に出ると恐怖の爲に脚がふるへる、併し之を自制して戦ふ時初めて意義ある勇氣を自覺し得るものである。」と云つた自覺の活動を必要とし、修養の徹底せぬ大部分の兵卒に、附け元氣で夢中に活動させることは、むしろ禁物である。故に此の自覺せる青年の戦場の心理は、結局眞に力ある士氣の根柢を爲すものである。形式の點に於ては往年の肉弾以上の戦争文學であるとの評さへあるが、抒述の巧妙は確かに認められるに拘らず、あまり實名を避け過ぎた事、少々面倒臭い程冗漫な所のあるのは、遺憾である。けれども近頃の良著と云つてよからう。(中等中級、戰記)

566 腦 味 嚙 高 峰 博 著

再版 1 冊 菊判半裁 316 頁 0.85 小石川區 良書普及會

現代文明に伴ふ精神機能の障害を、醫學上から、趣味深く、平易に實際的に説いたものである。第九回報告書に推奨した「たましひ」と同様、科學者の取扱と文學的潤色とは、本書の特色である。強ひて註文を付ければ、精神活動の積極的指導が單に附録に片付けてあること、脳味噌其のものの解説をはじめ、或る項目については、物足らぬ

感じがあること等である。(中等上級以上、生理)

567 歡喜 第一篇 後藤静香著

再版 1 冊 四六判 410 頁 1.80 東京西大久保 希望社出版部

雑誌「希望」に載せた材料を、樂園、希望、奮闘、感激、警鐘、修養の六篇に分類排列し、之に多少新しき材料を加へたもの。著者は「希望」の主幹、修養團の幹事長、成女學校教諭、東京高師に數學を専攻したである。此の書は逆境に泣く若い婦人には、萬軍の味方とならう。(中等以上、修養)

568 労働問題講話 植田好太郎編

初版 1 冊 四六判 340 頁 1.50 本郷區弓町 日本評論社

編者が緒論と結論とに相當する部分を、現代此の問題の權威とする書物から譯出し、中に米田庄太郎、賀川豊彦、山川均、山川菊枝、北澤新次郎等の専門學者の講話を挿んで居る。労働運動の哲學的基礎を與ふる點に於て、誠に現代の良書である。今日は、物質に拘泥した見解より脱し得ない程度の労働問題に固着して居るが故に、社會を害すること甚だしい。若し本書の教ふる如き、大理想の下に此の運動が行はれたならば社會の改進黨も期して待つべきであらう。(大人、思想)

569 露國大革命記 郡山幸男譯

初版 1 冊 四六判 272 頁 1.20 東京巢鴨宮下 縦横社

紐育トリビュンの外報部長、アイザック・ドン・レヴキン氏の原著露國民主思想の起原は佛國革命にありとして、爾來一百年、露國に於ける民主と專制との惡戰を述べ、次に今次大戰に際して、此の思想が如何なる行動に現はれしかを詳細に説いて居る。調査に不行届なしと保證し難いにしても、露西亞研究の参考にはならう。(大人、雜)

570 改造の叫び 馬場恒吾著

四版 1 冊 四六判 96 頁 0.50 京橋區日吉町 民友社

國民新聞から巴里講和會議に派遣された著者の報告である。本書の表題と表装とが輕佻を暗示する如く議論に獨斷あり、思想に雜駁の跡あり、調子に急激あり、官僚をのみ標的とする嫌ありと雖も明快透徹労働者の責任、普通選舉、列國の弱點、退船の自由、労働委員會等真相に觸れ、核心を把へ得た議論、傾聴すべきもの尠くない。(大人、

社會)

571 立言十一章國政夜話 岡田泰藏著

初版 1 冊 四六判 314 頁 1.00 日本橋區本石町三 博文館

元衆議院議員たる著者の社會問題、政治問題に對する意見である。經綸と國情、中産階級の維持發達、關稅制度の改革等に關する立言十一章學的素養深き著者が、實際生活に奮闘の經驗を積んでの立論で、必ずしも卓抜ではないが穩健中正である。政治家の教育論、大に味ふべきものがある。只難語句の爲に讀み苦しき嫌ひのあるのは遺憾である。(大人、評論)

572 幸福者 武者小路實篤著

初版 1 冊 四六判 196 頁 1.00 牛込區神樂町 叢文閣

新しい村に一人の僧が偶然來た。行雲流水の去來に任せ、樹下石上を家とする沙門の身。圖らず村の人々と懇意になつて、此所に永住する。村人は、日夕に接して、其の崇高なる人格に愈々敬服する。若い婦人なども庵室に對坐して道を聽く、中傷や讒誣が、新聞に表はれる名聲を傷ける爲に、藝妓などを夜おしかけさせて、誘惑しようとする。その女が却つて信者になる。是程有徳の高僧でありながら、常に自己の不徳罪惡を反省する偉い人である。所がやがて行衛不明になる。多分敵に殺されたのであらう、といふ筋である。事實の詮議は餘計の話。文藝としては、著者獨得の筆力に不足を感じしめるが、修養書として珍しい良い書物である。教育者の是非讀むべき書、一般修養に志す人士の再讀すべき書。(大人、文藝)

第 12・13 回 (大正八年二月二日——三月五日)

573 七面鳥の踊 鈴木三重吉著

初版 1 冊 四六判 200 頁 0.65 京橋區南傳馬町 春陽堂

世界童話集第十三篇。上品で趣味深く、文章に他の企て及ばぬ用意が窺はれる。(初等中級以上、童話)

574 童話集 熊野詣り 沖野岩三郎著

初版 1 冊 四六判 199 頁 1.00 芝區南佐久間町 和田書店

新進作家たる著者が、郷國紀州熊野あたりの傳説、世話、幼時の追憶

等を集めた、地方的色彩の鮮明なものである。童話と云ひ條、所謂斯道の老大家の惰性的の作物とは大に趣を異にし、優に文學者の作品たる價值がある。極めて眞學な、筆の達者な讀物で、今少し碎いて書きたいと思はれる節がないでもない。(初等上級以上、童話)

- 575 砲 臺 島 葛 原 幽 著
1 冊 四六判 0.90 日本橋區本石町三 博文館

大正二年から三四年間「少年世界」に載せたもの。著者少年時代の事實記錄である。少年の趣味を研究して其の鍵を掴んだ著者の用意周到さは、頁毎に見える。用語、事實に多小時代ばなれのした所があるけれども、有趣有益の讀物である。(初等上級以上、讀物)

- 576 世界 寶 玉 集 楠 山 正 雄 篇
1 冊 3.30 神田區裏神保町 富山房

世界中の面白い話を澤山に集めて居る。文章極めて麗暢、苦勞がない。(中等中級以上、童話)

- 577 教訓 お 伽 夜 話 巖 谷 小 波 著
1 冊 1.80 日本橋區本石町 博文館

月並的の臭味ありとは云へ、上品でいや味がなく、面白く心持ちよく讀まれる。「教訓」と思はないで讀むべきものか。繪に苦心せられたのは没すべからざる本書の長所である。(初等、童話)

- 578 大 法 螺 鈴 木 三 重 吉 著
1 冊 0.65 京橋區南傳馬町二の六 春陽堂

世界童話集第十四編。大法螺と珊瑚踊の焚火、龍退治、星のお告の四篇を収む。支那、ロシア、伊太利の話、上品で、窮屈でなく、童話の上々と云ふべし。(初等上級、童話)

- 579 麥 笛 平 井 晚 村 著
初版 1 冊 菊判半裁 196 頁 1.20 芝公園 玄文社

大正五六年頃の作歌一口語詩一約八十篇を集めたもので、輕快な氣分のうちに思ひきり人の心を惹きつける力を持つて居る。挿畫が五六あり、是亦極めて氣の利いたものである。(中等、詩歌)

- 580 自然界と人間界 木 戸 忠 太 郎 著
1 冊 1.00 日本橋區本石町三 博文館

天體の疱瘡、三角形と自然及人生、人生地文學上より見たる遠山雪風景地文學上より見たる海邊松、地球の體格検査、自然界のデモクラシー等、著者の頭が多方面の趣味に満ちて居ることを思はせる。實際、取材多面奇拔、筆に魅力あり、一讀卷を措く能はざるもの、面白き間に新知識を得ること極めて大。地理學上より見たる南滿鐵道、地文學上より見たる滿洲及朝鮮と日本の二篇の如きは、國民必讀の警世文字。(中等中級以上、理科)

- 581 世 界 の ゾ 記 小 野 賢 一 郎 著
1 冊 三六判 330 頁 1.50 神田區鍛冶町七 正報社

大正八年三月末から約半年、印度洋、地中海を経て渡英し、ロンドン、パリ、ニューヨーク等を経て歸朝するまでの印象記。深みは十分でないが、國、人種、戰について同胞の考ふべき種を澤山に収めて居る。(中等中級以上、紀行)

- 582 出 發 の 準 備 三 宅 雪 嶺 著
1 冊 1.50 日本橋區本石町 博文館

「中學世界」に連載したるもの、甲でも乙でもプラスでも、マイナスでもよいと云ふ不徹底的の議論を徹底的に進めて、人を首肯せしむる點は正に著者でなくては出来ないところである。特に青年の爲に書かれただけに材料も文章も青年にしつくり合つて居る。(中等上級以上、修養)

- 583 戰爭の 讀美者 トライチユケ 石 黒 魯 平 譯
1 冊 0.75 神田區中猿樂町十七 中外印刷株式會社

マキシミリアン・ミツゲが第百三十篇として書いた「ハインリツヒ・フォン・トライチユケ」を譯したもの。トライチユケの傳記に筆を起してプロシア覇業の爲に働いた經緯を録し、その戰爭哲學を紹介し、英國を惡罵する要點を採り、最後に、統一運動に於けるトライチユケを解剖して、一々英國側に猛烈な批評を加へて居る。戰時敵愾心挑發の動機に出たものであらうが、英獨の感情關係を見、國家主義、軍國主義等に就て、目下帝國民の考ふべき、幾多の材料を提供して居る。文に譯

臭なく、然も筆力のゆるまざる所、譯者苦心の存するを見る。(中等上級、雜)

584 赤い鳥 童謡 第1集 鈴木三重吉編

初版 1冊 菊判28頁 0.60 日本橋區箔屋町 赤い鳥社

かなりや以下五篇、北原白秋、西條八十兩氏の作歌、成田爲三氏の作曲にかかる。詩味豊富な歌に、旋律美妙的な曲を施し、落付いた三色版を加へて、印刷から装幀まで徹頭徹尾趣味向上に十二分の努力を示して居る。優良な音楽を奪はれた日本の子供に、而して我國の家庭に斯くの如き方面の開拓を試みたのは、大に意義あることである。母たる人に第一に推奨する。(中等以上、音楽)

585 教員物語 志垣寛著

初版 1冊 三六判345頁 1.30 神田區北神保町 弘道館

九州の師範學校を出て、奈良女高師の訓導に拔擢せられ、後退いて雑誌記者となつた著者の自傳といふべきものである。教師の悲痛な生活の偽らざる告白である。筆がまはりすぎて輕浮を感じしめる所もあるが、現代教育界の一面を描破したもの。(大人、雜)

586 生物界の神秘 松村松年著

1冊 2.30 警醒社

生物界の疑問、生物の目的、生物界の均衡、蟻の社會生活、等十五項材料豊富、専門家の参考にもなるであらうが、一般の参考書であらる。文章暢達を缺くは惜し。(大人、理科)

587 日本の労働問題 鈴木文治著

1冊 1.50 海外殖民學校

労働問題の骨子に筆を起して、資本家自覺論、労働者自覺論、工場法論、労働組合論等於て、資本家の横暴を慨し、労働者の輕舉を戒め、法律の不徹底を痛論し、労働者の人格向上、生活の安定を期する上から労働組合の必要を力説して居る。米國労働會議出席記、巴里講話會議出席記等は、歐米の事情を知るに足る。最後に解決法として、普通選舉、労働組合の實行を以て基礎として居る。最近の問題について大筋を知るには適當な書物で、殊に政治家、資本家、教育家の讀むべきものである。(大人、社會)

第14回 (大正九年四月九日)

588 金の鈴 野邊地天馬著

初版 1冊 四六判301頁 1.50 麴町區麴町三 丁未出版社

お母様の夢以下、子供にふさはしいお伽噺や實話を五十八篇集めて居る。取材何れも純潔、文章もやさしく美しい。(初等中級以上、童話)

589 野薔薇の約束 吉屋信子著

初版 1冊 菊判半裁260頁 1.40 洛陽堂

野薔薇の約束以下十二篇、全部敬語體で書かれ、言葉遣ひがこなれて居る。詩趣に富み高尚にして深味あるも、翻案的臭味の脱せぬ所がある。従つて子供の頭には著者の豫想通りの印象が與へられぬかも知れない。(初等上級以上、童話)

590 ロシア秘話 闇を行く人 大泉黒石著

初版 1冊 四六判380頁 1.70 神田區南神保町 日進閣

十三個の小話と附録に「露西亞の傳説俗謡の研究」が載せてある。十三個の小話中「露西亞水郷印象記」を除けば、何れも露國革命の生んだ悲劇で、著者見聞の事實談である。讀むに忍びない様な悲惨事ばかりである。著者の筆力には既に定評あり、革命悲劇の實相を眼前に髣髴せしめる。(大人、雜)

591 奇話哀話 田中貢太郎著

初版 1冊 四六判378頁 1.50 日進閣

青の洞物語以下十三篇、徳川時代の情話あり、日獨役の挿話あり、文藝作品としての價值は勿論、通俗讀物としても優良。丸山教祖物語松本騒動の如きは特に趣味多い題材である。(大人、雜)

592 改造されたる婦人訓 谷本富著

初版 1冊 四六判492頁 3.80 京橋區南鍋町 隆文館

著者が過去數年間、諸雑誌に掲載した論文を、理論、比較、應用の三門に分つて纏めたもの。内外の婦人問題に對し、時事問題に對して該博な知識と奔放の批評とを以て、縦横に論議した所、極めて痛快で

ある。只博士の損な癖がチヨイチヨイ出たり、又獨斷の個所がチヨイチヨイ見られる。纏つた主張とはならぬかも知れぬが、婦人自覺の時代の産物として、意義ありと云ふべし。定價高きに過ぎぬか。(大人、修養)

593 労働問題の眞髓

瀬川源司 編

初版 1 冊 四六判 252 頁 1.50

本郷區湯島六 博友社

國際労働會議使節發程の前に出されたものであるが、今日となつては益々良い書物である。高野岩三郎、鈴木文治兩氏の國際労働問題、北澤新次郎、阿部秀助兩氏の組合及び罷業論、賀川豊彦、西川光二兩氏の労働運動論、平塚らいてう女史の婦人労働論、森戸辰男氏の協調論、佐野利器氏の住宅論、森莊三郎氏の保險論、植田好太郎氏の時間論、山川均氏の賃銀論等を收む。附録、實生活の立場より男工三人、女工二人の主張は、抑々労働問題が、何の邊まで進んで居るかを示す重要な文字である。(大人、社會)

第 15 回 (大正九年六月二日)

594 ペルシア魔神物語

巖谷小波 譯

初版 1 冊 四六判 335 頁 1.90

牛込區榎町 集成社

ゼー即ち善良な魔神が、是から智慧を學ぼうとする美しい子供達に向つて、語つた物語である。不思議な世界の旅行、怖ろしい冒険等荒唐無稽には違ひないが、波斯式の濃厚な色彩を以て、楽しい自由な想像の世界を爲して居る。譯文が少し困難かも知れない。(初等上級、童話)

595 母の讀本

井田静夫 著

初版 1 冊 四六判 360 頁 2.00

京橋區南鍋町 隆文館

母性の問題から、躰け方、學業についてのこと、課外讀物のこと、遊戲のこと、日曜休暇の暮らせ方、家庭教師の問題、衛生上の注意、等、二十三項に分ちて、一々具體的の解説を試み、所説概して正當である。教育者側から家庭に對して求むる要點を飲み込んだ人、書き方が極めて平易であるから、高等小學卒業程度の父母に十分わかる。(大人、教育)

596 母樣論

小野政方 著

初版 1 冊 菊判半裁 333 頁 1.80

京橋區山元町 新光社

婦人問題の喧轟以上に女子は母としての責務を第一に必ず遂行せねばならぬといふ立場で、母の使命、價值を理論と實際とから論じて居る。穩健掌實な説である。(中等上級以上、修養)

597 愛と生活と

山田わか 著

初版 1 冊 菊判半裁 261 頁 1.30

神田區裏神保町 三徳社

家庭中心主義の下に、女子の生活に愛の規範を垂れて居る。穩健着實な思想であつて、若い女子に讀ませてよい。假名遣の誤多し。(中等上級、修養)

爐邊叢書

598 赤子塚の話

柳田國男 著

599 おとら狐の話

柳田國男 共著
早川孝太郎

600 奥州のザシキワラシの話

佐々木喜善 著

601 神を助けた話

柳田國男 著

初版 4 冊 各三六判 90 頁乃至 140 頁 各 0.40

芝公園 玄文社

諸國傳説、古記録等から拾ひ集めて、簡単に現代風に書き改めたもの。なかなか珍しいものもあるが、やゝ斷片すぎて研究材料としてはよいが、趣味讀物としては不十分であらう。(大人、雜)

602 戀愛の社會的意義

山田わか 著

初版 1 冊 四六判 327 頁 1.80

本郷區湯島 東洋出版社

清き愛を以て結婚の根本とすべく、従つて從來の結婚法は間違つて居る、社會は家庭を中心とする、従つて家庭を外に職業に趨く婦人は間違つて居る、と説く物。基督教の靈的愛とエレン・ケーの地上の愛との調和を求むる著者は、深く廣い研究により、家庭と母性とを以て文明の根本を説かうとして居る。新味あり、熱あり、然も質實、健全なること、婦人問題を扱つた書中稀有なものである。(大人、思想)

第 16 回 (大正九年七月二日)

- 603 標準日本お伽文庫上^{日本}童話 森林太郎、鈴木三重吉、松村武雄、馬淵冷佑共著
5 版 1 冊 四六判 206 頁 1.80 神田區錦町三 培風館
日本の所謂五大噺を、片假名本位で、面白味を添へること、品位を高めること、などに注意して、書きこなししたもの。作爲の加はりて、興味を殺ぐこともあるが、よく出来て居る。どうしたものか、舌切雀の出来、尤もわるし。繪も劣つて居る。(初等、童話)
- 604 國史美談下卷 北垣恭次郎著
初版 1 冊 四六判 405 頁 1.50 京橋區南紺屋町 實業之日本社
家光、家綱からペリ来朝まで、即ち徳川時代の事變、人物等を時代順に見てある。史學専門にして話方の名人たる教育家の著作たる面目躍如、總ルビ付きで難解の憂なく面白く讀まれる。(初等上級以上、歴史)
- 605 聖地巡禮 一高樹治會編
初版 1 冊 三六判 316 頁 1.50 實業之日本社
第一高等學校在學生中の日蓮信仰者の集まつて作つたもの。日蓮の遺蹟、人格、閱歴等が、若々しい筆と、美しい自然の風景とに織り出されて、面白味も可なりある。當今物質的に傾き、無信仰に終らうとする者の多い時、青年に讀ましめて其の効あるべしと認む。(中等上級以上、紀行)
- 606 法難 坪内逍遙著
再版 1 冊 四六判 196 頁 2.30 實業之日本社
名劇として定評あり、讀物としても甚だ面白い。第五幕第二場の法華問答の如きは、修養資料としても偉大なものである。(中等上級以上、戯曲)
- 607 趣味の旅 南都と西京 佐々木恒清著
初版 1 冊 三六判 232 頁 1.60 神田區裏神保町 博文館
奈良、京都並にその附近の寺塔佛閣に見える古美術や風趣に對する感想と紀行とを集めたもの。奈良に生れ、京大に學んだ著者は、人の氣付かぬ所に筆を用ひて居る。文章にも味あり、面白し。(中等上級、

- 紀行)
- 608 日蓮主義 仁者必ず勇あり 佐藤鐵太郎著
初版 1 冊 四六判 236 頁 1.80 日本橋區人形町 東盛堂
佐藤海軍中將の講演を集めたもの。全體を貫く精神は、我が國體の善美優秀なることと、日蓮の教義が我が國家の思想に適合してゐることとの、二つである。獨斷もあり、附會もあるが、中將の信念の強さと、憂國の至情の切實さとが、紙面に躍動して居る。(中等上級以上、修養)
- 609 子供の聞きたがる話 發明發見の巻 原田三夫著
初版 1 冊 四六判 253 頁 1.50 神田區錦町 誠文館
専門家の手に成つた通俗書として、誠に優良のものである。自動車以下十九篇、要を得て讀み易し。(初等上級以上、理科)
- 610 世界改造の人人 伊東圭一郎著
初版 1 冊 四六判 182 頁 1.10 京橋區南紺屋町 實業之日本社
佛のボアンカレー以下、英・佛・米・伊・露の現代名士十四人の、閱歴、性行、手腕等を記したもの。小冊子で、最も長いロイドジョージの記事さへ、僅かに十六頁に過ぎない程であるから、稍物足らぬ感じもするが、文章も簡潔で要領を得て居る。(中等上級以上、傳記)
- 611 婦人生活の改善 鳩山春子著
初版 1 冊 四六判 319 頁 2.20 神田區表猿樂町 先進堂
著者が關係して居る學校や會合などで、最近に講演せられた要領を集めたもの。婦人に對する修養談、處世訓で、澁澤男の青年訓に相當するもの。改善と題してあるが、所謂改造革命の調子でなく、中正穩健である。(高女上級以上、修養)
- 612 子供のおもちや教育 服部北溪著
初版 1 冊 四六判 200 頁 1.20 日本橋區本石町三 博文館
子供の玩具を教育的に見て、親たる者の注意を促したもの。平凡な見解もあるが、家庭教育を啓發する所も少くない。楽しんで讀むといふ程には行かないが、眞に子を受する親の讀むべき書である。(大人、教育)

613 花 物 語 吉屋信子 著

初版 1 冊 菊判半裁 200 頁 1.50 洛陽堂

鈴蘭以下雛芥子まで二十種の花に、それぞれ由緒を付けた假作物語
街氣あり稚氣ある書き方であるが、それだけ若い女子には面白く受け
られるであらう。(高女、小説)

614 屋根裏の二處女 吉屋信子 著

初版 1 冊 四六判 503 頁 2.50 洛陽堂

同性の戀愛を書いたとも見え、宗教の形式を罵つたとも見え、又女
として人として自覺する經路を書いたとも見える。とに角繊細な筆致
で、次第次第に人を惹き付ける所は、流石に新進の女流作家の力を思
はしめる。(高女上級以上、小説)

615 赤 い 鳥 童謡 第2集 鈴木三重吉 編

1 冊 菊判 30 頁 0.60 日本橋區箔屋町 赤い鳥社

舌切雀以下六篇の童謡に曲を附し、繪を添へたもの。歌は北原白秋
西條八十兩氏の手になり、曲は成田爲三氏の手になる。歌は何れも詩
趣充溢、あはて床屋、舌切雀、驚の小屋等最も面白し。子供に直接與
ふる童謡としては、將來幾多の研究を要すべく、従つて本書は親に提
供し、研究家に見てもらふべき性質のものとして、無比の價値を有す
といふべし。装禎、印刷、繪畫、用紙等、如何にも心地よし。(中等
以上、音樂)

616 友 情 武者小路實篤 著

初版 1 冊 四六判 217 頁 2.30 東京南千住 以文館

プロットに於ては敢て珍しいことなし。只作者獨特の手の届いた描
寫はいつもながら敬服に値する。氣持のよい面白い小説。教育上から
見れば、青年男女が讀んで、戀愛といふ不思議な現象に對する免疫
注射になる。(中等上級以上、小説)

617 それからの漱石の猫 三 四 郎 著

初版 1 冊 三六判 437 頁 1.70 麴町區麴町三 日本書院

「吾輩は猫である」の續篇として、漱石の後進が自由意思で作つたも
の。「先生としては出来なかつた」猫の蘇生を企てた作者の苦心は、實に
その二十頁を費させた。「猫」に比べては、確かに見劣りがするけれど

も、單獨に見ればなかなかの勞作で、面白し。(中等上級以上、小説)

618 新 エ ミ ール ウエルズ原著、三浦關造抄譯

初版 1 冊 四六判 466 頁 2.80 京橋區南鍋町 隆文館

名著「ジョーント・ペター」の抄譯。エミール、ヨアンの男女兒が、幼
時の教育、思想の發達、性の發動、人生觀の構成に至る經過を叙す。
偉大なる叔父オスワルド、偏見多き三人の叔母、社會階級、學校等を之
に配して、兩兒が自己の天性を獨自に發揚する狀を述ぶ。原著者は現
代英國の批評家として重きを爲す思想家、從來の英國國民思想、精神
政治を評倒して、世の耳目を動かせる人。随つてエミールの言動は
著者の教育觀、社會觀、哲學觀、宗教觀を語り、大戰に覺醒せる英國
民に新理想を與ふるものとして、各方面に、多大の刺戟を與へた。巧
な譯文とは云はれない。誤字が多い。(大人、教育)

619 どうして小兒を育てるか ストーカー夫人著、中村八郎譯

初版 1 冊 四六判 440 頁 2.30 小石川區表町 アルス

ストーカー夫人が己が女子キニフツドを育てた經驗を、親切丁寧に
書いたもの。幼時に働く才能から、スピーチ、自然、お伽、音樂、作
文、遊戲、韻文、外國語、數學、娛樂、想像、訓練、刑罰、健康、ユ
ーゼニクス等に觸れて居て、夫人の博學、熱心實に敬服すべきものが
ある。譯文も巧み、實際教育書として優良と認む。(大人、教育)

第 17 回 (大正九年九月七日)

620 一本足の兵隊 鈴木三重吉 著

1 冊 四六判 184 頁 0.85 京橋區南傳馬町 春陽堂

一本足の兵隊以下十一篇のお噺話集である。此の種の讀物に於ける
著者の位置は既に定評がある。著者は「かういふ種類の讀みものの多
くに對して、或る警告と誘掖とに役立つことを信じてゐる。」と言つて
ゐる。(初等上級、童話)

621 すゞめ百まで 藤川淡水 著

1 冊 四六判 264 頁 0.90 小石川區大塚窪町 おはなし社

何れも短篇であるが筆致がキビキビしてゐるせいか清新の氣味に富
んでゐる。實際子供に讀ませて見ても面白がるやうだ。但し餘りに他愛

の無い様な氣もする。(初等上級以上、童話)

622 少女對話集

江口千代子著

1冊 四六判 216頁 1.60

麻布區新網町 竹内書店

少女の讀物として此の書位趣味と深味とのあるものは一寸見當らぬ。凡て少女の對話で脚本的に出来てゐる。多くの短篇を集めてゐるが、何れも純潔無垢の感じに満ちてゐる。而かも其の中に一種の教訓をあどけない人達の顔に感じさせる風にうまく仕組んである。(初等上級以上、小説)

623 傳説のライン

松山淳著

1冊 四六判 303頁 2.60

洛陽堂

レウス・スペンスの著「ラインの傳説及英雄物語」の中の面白さうなもの四十篇を抜萃して補譯したものである。すべて趣味のあるべき材料であるが、惜しい事には、文章が未だ十分にこなれてゐない。内容は概ね戀物語であるが、頗る純な清いものである。(中等上級以上、物語)

624 伊藤仁齋と其の教育

増澤淑著

1冊 四六判 162頁 1.00

京橋區入舟町五 明治出版社

極めて眞面目な書物である。仁齋先生の學徳、爲人、教化の事績等紙上に躍如として讀者をして一讀景仰の念に堪へざらしむ。(中等上級以上、傳記)

625 戦後歐米見聞録

近衛文麿著

1冊 四六判 245頁 1.80

麴町區下二番町 外交時報社

西園寺特使に隨伴して歐洲に赴き、親しく見聞したものと、歸途別に米國に廻りて是亦親しく見聞したものとを書き集めてある。記事、感想、評論、相交錯してとりどりに面白く、一讀卷を措くに忍びざるの感がある。(中等上級以上、紀行)

626 林檎の味

三浦修吾著

1冊 四六判 314頁 1.80

神田區表神保町 大同館

林檎の味以下五十一小篇の隨筆集である。全篇を通じて、人生を眞面目に生きて行かうとする著者の眞摯な態度がよく顯はれてゐる。文章も極めて流暢平淡で氣持がよい。(中等上級以上、隨筆)

627 夜の海

福永梶歌著

1冊 四六判 224頁 1.20

下谷區上野櫻木町 東京評論社

夜の海外六篇を集めた小説集である。どの篇もどの篇も生活の壓迫といふことを深刻に描き出してゐる。眞面目に生活といふことを考へさせられ、息苦しい程緊張してゐる作品である。だが「村岡校長の失策」、「仲爺」などは少し見劣りがするやうだ。(中等上級以上、小説)

628 改造の歐洲より

加藤直士著

1冊 四六判 480頁 2.50

京橋區南紺屋町 實業之日本社

著者が世界大戰中引續き彼地に滞在して見聞した事を大阪毎日及び東京日日の兩新聞に寄稿したものの中から比較的價值あるもの百餘篇を採録したものである。(中等上級以上、雜)

629 女人創造

興謝野晶子著

1冊 四六判 267頁 2.20

神田區駿河臺 白水社

久しい間現代の女として如何いふ風の生き方をしたらば自身に満足出来るかと思ひ悩んだ結果、一つの目標を見附けて安心が出来た。その目標は創造の生活であつて、昔の工人が一枚の皿を作るにも自己の全人を打込んで、そこに王侯も知らない生き甲斐を味はつたやうに、昨日までに自分の表現しなかつた何物かを創造して行くのが、何よりも充實した生活であるといふ實感から、生活問題、思想問題、婦人運動などに關する著者の意見四十餘篇を載せたもの。議論の立場が定つてゐる上に意見の表現の仕方が如何にもテキパキしてゐて氣持が好い(中等上級以上、思想)

630 茶の味

奥田正造著

1冊 三六判 126頁 1.00

東京市外池袋 成蹊學園

成蹊女學校に於て茶道を課する精神を説いたもので、流派をはなれて其の根本の「道」を窮むるものである。茶道などいづても本書は決して形式の末を云々するものではなく、禪的修養の價值を高唱して、人生救済の眞諦をねらはうとしてゐるのだ。茶道の悟入から來た足利徳川時代の逸話美談、實に一讀三唱の値がある。物慾に逆上せ切つてゐる今日の時勢には最も良い清涼劑として推奨する。(大人、修養)

- 631 野 の 幸 葛原幽作歌、小松耕輔作曲
1冊 0.20 小石川區表町一〇九 アルス
歌詞は極く輕快に出来てゐるし、内容もしつくりと少女の氣分に合ふ。(中等以上、音樂)
- 632 僕には娶る妻がない 池田小きく著
1冊 三六判296頁 1.50 神田區北神保町 弘道館
表題だけ見ると何だか不眞面目さうであるが、内容はさうでない。樺山といふ現代すれのしない男が、シテの格で、現代すれのした瀬戸川といふその友がワキといつた格で仕組まれてある。瀬戸川は既に所謂現代的な結婚をしてゐる所から、何とか樺山にも自分の方で細君を世話しようと努めてゐる。其の候補者の品定めから、樺山は現代の社會の傾向、教育の趨勢が女を妻といふ性格から全く奪ひ去つて了つたといふ悲哀をシミジミ感じて「僕には娶る妻がない」と叫ぶ。對話の形で、こまかく項を逐うて痛論してゐる。多少偏した見方もあらうが確かに一面の諷刺として面白い。(大人、雜)
- 633 文 藝 往 來 菊池寛著
1冊 四六判271頁 1.60 小石川區表町一〇九 アルス
感想小品隨筆、劇論、文藝評論、翻譯の四部からなる。はじめの感想小品隨筆中には如何にも言ひ得て痛快なものがある。劇論演劇論の中にはかなり力を入れたものもあるが、氏の小説ほどに人を動さぬ。中でシングやゴオルスワジイ論中、氏の感想を述べる點は新しい見解もあつて立派なものだ。(大人、文學)
- 634 第 一 歩 正親町季薫著
1冊 四六判320頁 2.00 本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會
貴族である著者が自ら一般民衆の群に投じて、之から活動しようとする第一歩に當つて、自己の立場を世に示さうとしたもの。自叙傳と隨筆翻譯などを収めてある。(大人、隨筆)
- 635 春 宵 綺 語 田中貢太郎著
1冊 三五判356頁 1.70 神田區南神保町 日新聞
「祖先のまぼろし」、「社會主義に携つた人々」など二十一篇を集めた文集である。大半は昔を材料にしたもの、其の他は現代を描いたもの

- である。前者はローマンス風の書振り、後者は普通の描寫法。文章は可なりあかぬけがしてゐる、人をひきつける力も少しはある。(大人隨筆)
- 636 佛 蹟 巡 禮 行 鹿子木員信著
1冊 四六判274頁 2.60 京橋區桶町 大燈閣
朝日新聞に掲載したものである。著者が親しく印度に渡つて佛蹟を経巡りたる感想やら紹介やらを書いたものである。多く寫眞や地圖などを挿んである。(大人、紀行)
- 637 改造途上の歐米社會見物 田川大吉郎著
1冊 四六判406頁 2.00 本郷區弓町 日本評論社
政治家の眼に映つた改造途上の歐米を、政治家の頭で比較したり批判したりして書いたものである。(大人、社會)
- 638 洋 行 茶 話 小野賢一郎著
1冊 三五判314頁 1.80 神田區鍛冶町七 正報社
著者外遊中の所見を書き集めた隨筆體のものである。チョツと面白い、肩が凝らず、「茶話」とはよくつけたものである。(大人隨筆)
- 639 改造の歐米より 田子一民著
1冊 四六判378頁 2.80 神田區駿河臺 白水社
「戦禍と社會心」から説き起し、宗教的信仰を絶叫し、個人より國家への覺醒を例證して邦人の反省を促さうといふのが、本書を一貫してゐる趣旨である。殊に教育の改善を高唱してゐる邊は大に聞くべき所がある。(大人、社會、雜)
- 第 18 回 (大正九年十月一日)
- 640 迷ひ子の家鴨 鈴木善太郎著
1冊 四六判218頁 1.90 牛込區神樂町二の十一 文泉堂
迷ひ子の家鴨以下十五篇の童話集である。幽遠な想像と豊富な文學美とを持つた童話集で、兒童の頭に深い印象を刻むものであらう。餘り神經過敏な子供には讀ませたくないが、普通の子供にはかういふもので想像を豊富にしてやりたい。挿繪は初山滋氏のもので新味があつて面白い。(初等上級以上、童話)

641 子供の聞きたがる話 天文地文の巻 原田三夫著

1冊 四六判 241頁 1.50 神田區錦町一の十九 誠文堂

天文、地文の事柄を題材として、分りにくい事を分りよく解説して、所謂子供の聞きたがるやうな事を面白く記述してある。併し子供にはやはりむづかしすぎる。基本學科を一通り受けた中學二三年以上の生徒に適してゐる。但しこれを材料にして子供に話してやるにはよい本だ。眞理の爲に従容として焼き殺されたプルノーの話や、虚榮を戒めたカシオピアの傳説などは修身的に見ても好い材料である。天體を説くに天體圖、雲を説くに彩色した雲の圖を挿入して欲しかった。(中等、理科)

642 亞米利加記念帖 水上瀧太郎著

1冊 四六判 392頁 2.50 芝區三田一の十三 國文堂

初の四篇は作者が亞米利加ケンブリツヂにゐた時分と英國へ渡る時とに遭遇した事柄のスケッチ、後の方は皆芝居の見物記。その芝居の内、初の三つは外國で見たもの、後の二つは日本で見たもの。いづれもとりに面白く書いてある作者の態度も上品で溫雅であり、作品も教育上から見て健全なものである。外國の風俗、習慣に興味を持つ人々、芝居の好きな人々などにはよい本である。(大人、隨筆)

643 薔薇香 岡本米藏著

1冊 四六判 412頁 3.50 神田區錦町三の十七 培風館

米國が戦争によつて博愛、努力、犠牲の權化となつてゐるといふ見解を米國の現状に徴して記載し、我が國人をして他山の石たらしめんとし著はされた書である。文章が時代に遅れてゐるやうな嫌はあるが、内容には感ずべく銘すべき事柄が多い。(大人、雜)

644 象牙の塔を出て 厨川白村著

1冊 四六判 274頁 2.80 京橋區尾張町二の十五 福永書店

「象牙の塔を出て」の項目で十六篇、「觀照享樂の生活」で五篇、「藝術より社會改造」へで五篇、其の他數種の題目で、文藝に關する所説、批評紹介等をしたものである。文藝に興味ある人々の讀物として好適。(大人、文學)

645 愛の詩集 室生犀星著

1冊 四六判 248頁 2.30 牛込區横寺町四三 泰英閣

明るい暖かい無邪氣な心持を種々な題材で歌うた口語詩集である。口語の中に眞の韻致を解し得るやうに一般の國民がなるまでにはまだ時日があらう。その道を平にしてくれるのは、かういふ作者のかういふ努力であらう。(大人、詩歌)

第 19 回 (大正九年十月二十九日)

646 利口な驢馬の物語 本野久子譯

1冊 四六判 350頁 2.50 京橋區尾張町二の十五 警醒社

「佛蘭西の貴婦人で、有名な學者であるセギュール伯爵夫人が、お孫さん達の教育の爲に」書いたのを、譯者が「非常に面白く讀んで、日本のお子様方にもお目にかけたい」といふところから翻譯したものである。其の筋は「佛蘭西の片田舎の百姓家に飼はれてゐた驢馬が、自分を可愛がつてくれた飼主の子供にした」身の上の話で、一頭の利口な驢馬の數奇な運命を述べたものである。しかし、其の結論が「主人の待遇によつて幸福にもなり、不幸にもなり、友達にも、又敵にもなる」とあり、貴族の孫さん達には適當な教訓であるかも知れないが、身を捨て、主人の爲に盡す被役者の心掛としては十分でない。(初等中級、童話)

647 たから舟 松本苦味著

1冊 四六判 376頁 2.30 京橋區新榮町五の七 大倉書店

世界十八ヶ國の童話集を輯めたもので、「ねぼけ小僧出世物語」以下廿五篇だけ採録されてある。いかなる童話が眞に兒童に歡迎されるかについては、可成研究の餘地もあらうが、一體にあまり教訓めいたものは、どうも嫌氣を起させる。此の點から見て、斯の書に採擇された童話は多く氣持のいいものである。たゞ第二の「一撃九匹」といふのは、ある仕立屋が、屢々狡猾な手段で人を瞞すことばかりが書いてある。これはどうかと思はれる。(初等上級、童話)

648 あんぽんたん 松山思水著

1冊 四六判 172頁 1.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社

喜劇、喜歌劇など二十七篇を輯めたもの。自序に「毒にも藥にもならないところが價值のあるところ」とあるが、それほど無邪氣なもの

とは思はれない。教訓を寓したものもあり、中には純真な少青年に讀ませてどうかと思はれるものもある。しかし此の類の書物の少い現在としては、薦めてもいいと思ふ。(中等、戯曲)

649 大國民の根柢 増田義一著

1冊 四六判 379頁 1.80 京橋區南紺屋町 實業之日本社

世界大戰後の今日、責任觀念に満ち、訓練あり包容力に富める歐米強國に鑑みて、須く從來の偏狹なる島國根性を捨て、大國民的修養をせざるべからざる所以を説き、其の徳目並に修養の法を挙げたものである。別に新説といふ程のこともなく、偉人傑士の言行の如きもありふれたものではあるけれども、著者の所期は達せられるであらう。(中等以上、修養)

650 人生の行路 村上專精著

1冊 四六判 371頁 2.00 小石川區原町六 丙午出版社

極めてわかりよく人生の行路について説いたもので、穩健平淡に過ぎて讀者に強い感激を起させる點はどうかと思はれるが、圖書館などに備へて、青年團や一般向の讀物とするには適當であらう。(中等以上、修養)

651 武藏野の草と人 太田三郎著

1冊 四六判 426頁 3.00 神田區表神保町一〇 金星堂

畫家たる著者が武藏野を中心として、其の叙景、感想、紀行等を集めたもので、其の間に著者得意のスケッチを、八十數葉挿入してゐる「武藏野三千年」を始めとして、一般に表現の方法が概念的である爲にまだ實際に行つて見ない人には、其の景色を想像するに苦しむやうなところもあるが、流暢な文と滋味のあるスケッチと相まつて、趣味の人には是非勸めたい書である。(大人、隨筆)

第 20 回 (大正十年一月二十九日)

652 ワシントン物語 野邊地天馬著

1冊 四六判 322頁 2.30 麹町區麹町三丁目 丁未出版社

「私はこの偉人を米國人として薦めるのではない、たゞ最も善良なる偉人として薦めるのだ。」と著者の序文にある通り、本書は人としての

ワシントンの一代を感激の情を以て書いたものである。傳記といふものが兎角平凡に陥り易いものであるだけ、これも材料といひ、排列といひ、格別に新機軸を出したところはないが、併し波瀾に富んだワシントンの一生を要領よく納めたのはよい。欲をいへば文章が今一段と洗練されて欲しい。(初等上級以上、傳記)

653 神様のお伽噺 藤川淡水著

1冊 四六判 246頁 1.50 神田區錦町一の十九 新光社

天の岩戸以下二十八篇の神話を分りやすく記述したもの、面白くてたまらぬといふ程のものではないが、古典的なものを平易にお伽風に記した處に採るべき點がある。(初等中級以上、童話)

654 かなりや物語 鈴木三重吉著

1冊 四六判 178頁 0.85 京橋區南傳馬町二の六 春陽堂

世界童話集第十七篇。「かなりや物語」を初め、五篇の御伽噺を集めたもの。「二人の蛙」といふ話の外は皆外國物である。一番短い「二人の蛙」が暗示にも富んで居り一番面白く、一番長い「かなりや物語」その他三つは、筋の變化はあるが、別して面白いといふほどのものではない。(初等上級、童話)

655 人魚のねがひ 蘆谷重常著

四六判 248頁 1.50 京橋區尾張町二の十五 警醒社

人魚のねがひ以下十二篇の童話集。單に童話といふ點から見では從來のものに比してどれ程の特色があらうとも思はれぬが、作者が文の推敲に骨折つてゐる點に敬意を拂ふ。初めの「人魚のねがひ」が一番面白いやうである。(初等上級、童話)

656 ふるさと 島崎藤村著

1冊 三六判 241頁 1.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社

さきに出た「幼きものに」の姉妹篇で、著者が幼い愛兒達に自分の生れ故郷の木曾の話や、生ひたちのことなどを語りきかせる風に出てゐる。何れも斷片的な御伽風の小話であるが、その中に木曾の地方色がよく現はれて居り、詩人の無邪氣な少年時代が面白く描かれてゐる。唯ところどころ子供には難解な暗示風の語句が混つてゐるのと誤植のあるのは遺憾である。(初等上級以上、童話)

657 古事記物語

鈴木三重吉著

1冊 四六判 194頁 0.98

東京府下高田町 赤い鳥社

「赤い鳥の本」叢書の第一冊。古事記のやうな古典的なものを少年讀物に柔らげるのはかなりむづかしい事であるが、著者の筆は此のむづかしい事をかなり巧みに仕遂げてゐる。慾をいへば原書の内容に餘り忠實すぎた事が、此の本の藝術的使命を傷けはしなかつたか。(初等中級以上、童話)

658 尋常小學自習讀本

玉井幸助著

1冊 菊判 230頁 1.30

京橋區南紺屋町 實業之日本社

國定讀本の補充教材、つまり副讀本として小學兒童に讀ませる爲に書かれたもので、「日本開國の思ひ出」以下二十五篇、地理、歴史、理化に関する興味ある材料、又は文學的な小話、美文等を載せ、難語句に簡単な解釋を施して自習用に資してある。國定讀本と聯絡をとつて、兒童の國語能力を増進しようとする用意の行きとどいてゐる本である。(初等、國語)

659 増補日本史蹟 上巻、中巻

熊田葦城著

1冊 三六判 610頁 2.60

京橋區桶町

大燈閣

報知新聞に掲げたものを修正増補したもの。史蹟に據つて、國史を叙したもので、主として忠孝節義に関するものを録して武士道の鼓舞に力め、浮華輕佻に流れんとする時弊を矯めんとせる著者の意は嘉すべきである。文體簡古、現代の青年には多少耳遠いかとも思はれるが、一種の文として頗る趣味が多い。(中等上級以上、歴史)

660 最新知識 子供の聞きたがる話

電氣磁氣の巻

原田三夫著

1冊 四六判 270頁 1.50

神田區錦町一の十九 誠文堂

理科の知識をたゞ讀み物だけで授けようといふのは無理な事であるが、かういふ書物によつて、理科方面の興味を喚起させる事が出来る。本書は平易によく書いてあるが、その寫眞版の多くが西洋の書物からそのまゝ借用したらしいのは感心せぬ。(中等中級以上、理科)

661 内 實 の 力

三宅雪嶺著

1冊 四五判 272頁 1.80

小石川區表町一〇九 アルス

時代に應ずる青年訓として、頗る滋味に富んだ書物である。該博な

知識を有する著者の特色がよく發揮せられて、咬みしめれば、咬みしめるだけ味が出るといふやうな趣がある。一般青年の讀物としてもよい書である。(中等上級以上、修養)

662 子供の心

高崎能樹著

1冊 四六判 210頁 1.20

洛陽堂

無邪氣な幼兒の言動をありのまゝに描き、その一つ一つに著者の評言を加へ、以て世の母への訓にしようとの目的で書いたものである。全篇溫雅な情味を以て讀まされるが、時々嚴肅な反省を促される處もある。尙全篇に溢れてゐる宗教的氣分が信者以外の讀者に對しても別に悪い感じを起させないのも此の書の一特色であらう。上品な意味の深い書である。若き母親などにも、一般向として薦めたい。(中等上級以上、修養)

663 地の果まで

吉屋のぶ子著

1冊 四六判 556頁 3.00

洛陽堂

地の果までも奮闘的生活で行かう、正義で行かう、愛情で行かうといふ意味を盛つた小説である。文藝的價值についてはさほど言ふべきほどのものもないが、家庭小説として清い感情を味はせる點で推薦する。特に婦人向と限らず、まず一般の家庭讀物としてもよからう。(大人、小説)

664 歡

喜 第二卷

後藤静香著

1冊 四六判 262頁 2.00

東京西大久保二三六 希望社

希望に満ちた心持で歡喜の世渡りをする様にと勧めた書である。平易な通俗な雑話の間に、修養に資すべき事柄が、かなり讀者を引きつける力を以て書いてある。餘り高い程度の教育を受けぬ婦人の讀物として適當なものである。(大人、修養)

665 超 然 錄

高橋作衛著

1冊 四六判 172頁 1.50

京橋區南紺屋町 實業之日本社

材料は多く日清戰役の從軍、日露役後の歐洲の旅行等に見聞せる事などで、かみしめて味のある教訓談も、思はず吹き出させる滑稽談もある。要するに肩の張らぬ興味に富んだ讀物である。(大人、隨筆)

666 日 曜

曜

水上瀧太郎著

1冊 四六判402頁 2.80 芝區三田一ノ一三 國文堂

「日曜」と「友情」との二篇ををさめてある。「日曜」は大家のぼんちが修業の爲、大阪の銀行へ勤めさせられ、悪い下宿屋にゐるうち、ある金ぶらやで會つた女を好奇心から跡をつけると、それが同僚の老人の姪であることが知れ、その老人と一緒に酒を飲んだあげく、やはり好奇心から、その姪を貰はうと思ひつき、とうとう話がきまつてしまふ。そこへ姪の戀人が來て文句をつける。結局姪の決心一つとなつて「あんな娘をしょひこまされるのを逃れた。」話。初の方が少しだらだらしてゐるが、気分はよく出てゐる。少しく戯曲的な、拵へたやうな處もあるが一體が面白く書けてゐる。「友情」の方は、友人思ひの主人公が、久しぶりに迎へた友人の餘りに世間に持てゝ交際社會にも忙しがる不満の感を抱くさまを述べたもの。短い、此の方が「日曜」よりはいい。(大人、小説)

667 法悦の一境 大谷光演著

1冊 三六判184頁 2.40 京橋區南橫町十八 廣文堂

光演師の法話四十九則を内田疎夫氏が筆録して關西日報に連載したものを集めたのである。師はその表題を、「信仰に生きたる人との雑話」とする考であつたといふが、如何にもその方が一卷の内容を連想し易いやうな心持がする。師は句佛上人として夙に俳壇に一家を成した人であるだけ、此の書も一面より見れば俳味、二者一體となつて卷中に横溢してゐる味は、一讀卷を措く能はざるの感がある。實に人間味があつて、しかも人間離れのした、云ひがたい味のある書である。(大人、修養)

回 21 回 (大正十年二月二十四日)

668 幼児に聞かせる御話、 日本幼稚園協會編

1冊 四六判517頁 3.80 日本橋區大傳馬町二 内田老鶴園

東京女高師附屬幼稚園で、多年兒童にきかした話を約百篇輯めたもの、その材料のとり方は極めて多方面で、東西古今に涉つて、お伽噺傳説、現代文學などを自在に改良してをる。中には甚だあつけない感じのするものもあるが、いはゆるお伽噺に伴ふ弊害はどの話にも無い

やうである。たゞ材料の提供者が六七名もあるために、文章として統一を缺いてゐる憾みはある。附録の「幼児教育の手段としてのお話」「お話のしまひ方」は獨創に富んだ有益のものである。(幼稚園、初等下級、童話)

669 天の聲人の聲 小林一郎著

1冊 四六判458頁 2.30 神田區表神保町 大同館

天籟ともいふべき東西の佳言三百を採り、或はその由來を説き、或は之を評論したものである。著者が序文にいふやうな「うるはしきものを求め、偉なるものを慕ふ念」が到るところにあらはれてゐる。和漢洋を交互に排列したのも、堅苦しい材料に倦怠を來たさしめる患ひを少くしてよい。しかし、原據を漢文に採つたものの中には、純乎たる漢文直譯をしたため、一般の讀者には解しにくいと思ふ。(中等上級以上、修養)

670 東京日々 通俗講話 第1編 枝元枝風著

1冊 四六判419頁 2.80 京橋區尾張町二の十五 警醒社

有益にして且つ興味ある理科的題材を流暢なる文章を以て、通俗的に解し易く記述したもの、科學的思想普及のため、かゝる書の多く世に出ることを望む。(中等以上、科學)

671 若き男女へ 本間久雄、原田實編譯

1冊 四六判374頁 2.40 麹町區飯田町 天祐社

エレンケイの思想について、「兩性問題」、「社會問題」、「教養問題」の三篇に分つて編譯したもので、女史の思想全般をうかがふことができる。その倫理説や道德論や、日本人固有の國民性から觀ればどうかと思はれる主張もあるが、思想問題研究の材料としては、参考になることが少くない。(大人、思想)

第 22 回 (大正十年三月三十日)

672 心のふる郷 岩下小葉著

1冊 四六判204頁 1.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社

みなしご以下九篇の少女小説を集めたもの。罪のないもの、教訓を

含めたものなど、とりどりである。大人から見ると作りすぎた技巧が見えすいたり、あつけなかつたりする類のものが多いけれど、相當の感興を起させるであらう。(初等上級、小説)

673 日米若し戦はば 藤 鋼 次 郎 著

1 冊 四六判 249 頁 2.50 京橋區 目黒分店

今の人妄りに米國を恐るれども、一度決心して起たばその勝つことは必せりとの主張を、物質精神兩方面より明らかにし、國民一般を激勵せんと心より筆を呵したるもの。きびきびしたる筆致なく、今少し精確なる材料と論述を望みたきも、讀みて教へらるゝところが多い。面白さも相當にある。(中等上級以上、雜)

674 眞 珠 夫 人 前篇 後篇 菊 地 寛 著

2 冊 四六判 前篇 320 頁 後篇 384 頁 各 1.70

牛込區矢來町三 新潮社

貴族の家に寵愛されて育つた一女性——その女性の父は剛直で清廉であつたけれど金持の爲に壓迫され、またその金持によつて自分の愛嬢をも翻弄せられんとして悲慘な境遇に陥り、遂に一家は破滅せんとするに至つた。それを見兼ねて、その女性が遂に一身を犠牲に供し、その金持や、女を翻弄せんとする多くの若き男性を復讐的態度を以て呪詛せんと企てた生涯とその心理變遷の過程を叙したものである。新聞小説の弊として、小説の筋に餘り作爲の過ぎた點がないでもないがしかし現代生活のあらゆる場合を巧みに取入れ、しかもその背景思想には、作者の現代社會に對する眞摯なる批判が織り込まれてある。讀んで面白きのみならず、色々のことを考へさせる作である。(大人、小説)

675 環 境 生 田 長 江 著

1 冊 四六判 240 頁 1.20 新潮社

所謂極惡非道を働いた多くの犯罪人を主人公とし、告白自傳の體裁に書き下した小説である。文章もよく、構想も面白く殊に環境が如何に吾人の行爲を支配する力の大なるかにつき、深き注意を以て書いた作品である。剛情で反抗的な精神の所有者が、自己の環境によつて如何に展開して行くか、犯罪者と普通人とはどう異つて居るか、犯罪者

はどうして出るか、改悛の情の切實なる初犯者が何故再犯三犯を重ねるか、それ等の問題を巧みに取扱つた作品である。(大人、小説)

676 じゃじゃ馬馴らし 坪 内 逍 遙 譯

1 冊 四六判 225 頁 2.50 牛込區早稻田 大學出版部

ふざけた芝居ではあるが、沙翁劇の翻譯としては正本とも臺本ともいふべきものであり、殊に譯者が譯者だけに文章は洗練せられて渾然たるものがある。(大人、戯曲)

第 23 回 (大正十年四月二十五日)

677 あわて木兎 大 井 冷 光 著

初版 1 冊 四六判 84 頁 0.50 芝區愛宕町 至文社

時事新報社の雑誌記者として、又御伽講演者として殊に最近一年間は童話劇といふ物を形作る爲に努力して來た著者の童話劇の第一集で記念すべき出版である。内容は「あわて木兎」、「オルガン裁判」、「三人の客」、「一粒の豆」の四つで、極めて舞臺面の變化に富んだ上品なものである。たゞ數篇の歌曲がついてゐるが、これはその後改作されてゐるから、本書のものにはよらない方がよいだらう。(初等上級、戯曲)

678 薔 薇 の 踊 子 德 永 す み 子 著

初版 1 冊 菊判半裁 298 頁 1.80 小石川區表町一〇九 アルス

十八篇の童話を集めたもの。童話そのものは別に新しみの加はつた點もないが、文章はよく出来て居り、中に挿んだ小唄にも面白いのが多い。著者は「自分の子供に話してやるものとして作つた」といつてゐる。たしかにそれだけの用意のある本である。(初等中級以上、童話)

679 趣味の 實のある話 上の巻 横 尾 眞 琴 著

初版 1 冊 四六判 196 頁 1.00 神田區小川町四一 敬文館

在來ありふれた話の中から内容に取柄のあるもの三十五篇を選んだもの。空想の作品とはちがつて、此の種の内容は趣味に缺ける嫌のあるものだが、本書は此の點にも餘程見どころがある。(初等中級以上、童話)

680 子供の聞きたがる話 生理衛生の巻 化学工業の巻 原田三夫著

初版 各1冊 四六判313頁 1.50 神田區錦町一 誠文堂

理科的の知識を子供に知らせる事は大切な事である。此の書物は此の點で良好なものであるが、惜しい事には文章の洗練が足りない爲に興味を喚起する點に力が足りなからうと思はれる。(初等上級以上中等初級、理科)

681 冒險少年島 加藤朝鳥著

初版 1冊 四六判236頁 1.50 神田區錦町一の十九 新光社

日本の少年團を乗せた飛行船が絶海の一孤島に落ちた。一團は此の島を少年島と命名し、こゝに新領土を開拓し、數年間居住した。その間に海賊との戦闘、半島の探検、新文明の吸収、新船の建造、怪老人との邂逅、少年島の爆發等の事件に遭遇した事を十七回に亘り書き連ねたものでする。ロビンソン物語を粉本としたもので、日本少年に海事思想を鼓吹する目的を含めたものであらう。文章に油ののつてゐない點は惜しい。(初等上級、小説)

682 趣味の動物 飯塚啓著

初版 1冊 四六判327頁 2.20 神田區南神保町 日進堂

動物に関する種々の珍しい事實を述べたもので、どんな人が何處を讀んでも面白く又有益な書物である。専門の大家が學術普及の爲にかういふ通俗書を書かれる事については深く感謝しなければならぬ。(中等以上、理科)

683 現實を直視して 中野正剛著

初版 1冊 四六判424頁 2.80 神田錦町二の三 善文社

十一篇の論文を集めたもの。何れも議論透徹、これによつて現實を直視すべく導かれる事が尠くあるまい。殊に「太鹽中齋を憶ふ」「英雄の環境を偲んで」の二論文などは興味津々として讀者の胸を衝くものがある。(中等上級以上、思想)

684 人と超人 細田枯萍譯

初版 1冊 四六判399頁 2.30 神田區小川町 敬文館

バーナード・ショウの劇を譯したもの。難解の評あるショウの物を

これだけに譯しこなしたのは手腕である。譯文も仲々流暢に出来てゐる。此の作にあらはれた人生の觀方については、直ちに賛成の出来かねる點もあるが、かういふ考へ方も他山の石であらう。(大人、戯曲)

685 婦人に味方して 平井満著

1冊 四六判330頁 2.50 芝區三田一 三田書房

傳統的婦人觀を打破し「婦人よ覺めざるべからず」と絶叫したものである。「兩性關係の進化」、「職業婦人の使命」等の一般的問題と、「新婦人協會の新提案」、「坪内士行君の告白を讀む」の如き時事問題とにつき三十餘項の意見を提出したもの。著者が熱心な研究者であることは、その材料の豊富なこと、それを縦横に驅使してゐる事によつて窺はれる。惜しい事には著者も亦近時婦人解放論の多くに見るが如く「人としてあるべき女のみを觀、女としてあるべき女」を見てゐないやうに思はれる。(大人、思想)

686 政治一新論 武藤山治著

1冊 初版 四六判56頁 0.30 麹町區内幸町 ダイヤモンド社

現代政治の腐敗民心の唯物的墮落を歎じ、且新奇と人氣とを競ふ學者論客の不謹慎を慨し、近世産業組織の實際から、資本家の必要を力説し、實業家と政治家との結合を罪惡とし、日本銀行制度改正、取引所改正等につき實際的立論をなし、官營の不可なる理論を諸方面に適用して、内外法軍の四省以外一切民間に移すことの時勢に適せる事を力説す。資本家、私學派と目せられるやうな議論の傾向と、感情的に他をけなすやうな點とがあるけれども、主張は時弊に適中してゐる。(大人、政治)

687 荒 編 志賀直哉著

初版 1冊 四六判379頁 2.80 京橋區南傳馬町二の六 春陽堂

「山の生活にて」以下十八篇の短篇小説及び小品文を集めた物。嘗て「白樺の林」の中に収めたものなども入つてゐる。概してあつさりとしたもので、特に引きつけられるやうな強い力を持つたものはないが、すべて上品な作といつてよからう。「眞鶴」、「網走まで」、「祖母の爲に」などはとりどりに面白い。「剃刀」は思ひきつた悲劇であるか全篇中最も生氣のある作と思はれる。(大人、小説)

- 688 信仰の悦び 宮川 經輝 著
初版 1 冊 三六判 352 頁 2.30 北海道旭川 旭屋書店
著者が大阪の教會で三年間信徒に話したキリスト教の説教を集めたもの。信仰を求める人にとつてはよき伴侶となるであらう。(大人、宗教)

- 689 社會の動搖と精神的覺醒 姉崎 正治 著
初版 1 冊 四六判 335 頁 2.20 日本橋本石町三 博文館
大正七年の四分の三を動亂の歐洲に過した著者が、昨年夏帝國大學に於ける公開講演に「人生の改造と弱者の力」、「階級意識と恩義觀念」の二篇を附録として公刊したものである。弘く宗教と文化との相關交渉より現代人心の動搖、社會的困難と宗等の關係を論じたものである。思想問題に興味を有する者の好讀物である。(大人、思想)

第 24 回 (大正十年五月二十六日)

- 690 珍談百一篇 横山 又次郎 著
1 冊 2.30 牛込區早稻田 早稻田大學出版部
埋もれた寶の山以下百一篇を収む。理科的、地理的、歴史的各種の珍談を集めたもので、何れも讀んで面白く、且有益な話のみである。書き振りも至極平易で讀み易く、小學中學生のみならず、一般人士の讀物としても、肩の凝らぬ至極通俗的な所に理科的、地理的の智識が養はれる有益な本である。(初等以上一般、理科)

- 691 日本忠孝畫譚 水村 小舟 著
1 冊 1.20 神田區錦町一の一九 誠文堂
日本歴史上著名な忠臣孝子の逸話をはじめ、それに因んだ勇ましい話、悲しい話、面白い話を集めたものである。至極眞面目な態度で畫かれてあり、其の取材も亦極めて穩當である。挿繪も中々立派で普通の少年ものには珍らしい方である。價も非常に低廉である。(初等、童話)

- 692 赤い鳥童謡第4集 北原白秋、西條八十共著
1 冊 0.80 東京府下高田町 赤い鳥社
北原白秋、西條八十兩氏の童謡に新進作曲家が曲を附した童謡集で

- ある。全篇興味と新し味に満ちてゐる。(初等、音樂)
693 平易なる皇室論 永田 秀次郎 著
1 冊 四六判 1.50 神田區小川町四一 敬文館
嘗て東京日日に連載したる論文を纏めたもの、全篇は九章から成り、我が皇室の尊嚴を説いて我等同胞の光榮と自重とを力説してゐる。思想動搖の甚しい今日、かゝる書のあらはれたるは賀すべきである。(大人、思想)

- 694 若き婦人の思想生活 沼田 笠峰 著
1 冊 四六判 2.30 洛陽堂
著者は流石に此の方面の研究者だけあつて、觀方にも説き方にも首肯される節節が多い。先づ人としての道德を論じ、次に婦人としての徳操と思想問題とを論じたもの、穩健で平易でしかも興趣に富んでゐる。(大人、思想)

- 695 洋行赤毛布 福良 虎雄 著
1 冊 四六判 2.00 丸の内昭和ビル 日本評論社
著者が華府に於て開かれた第一回労働會議に參列し、歸途歐洲各國を漫遊した時の土産話を纏めたもので、曾て大阪毎日新聞に連載された紀行である。赤毛布とは題すれど至極眞面目なもので、所謂赤毛布式の滑稽味に乏しい代りにまた、眞率な溫雅な氣分が味はれる。(大人、紀行)

第 25 回 (大正十年六月二十七日)

- 696 蟻のお國 長田 秀雄 著
1 冊 四六判 236 頁 1.70 京橋區南紺屋町 實業之日本社
蟻の國(支那傳説、淳于髡の故事)を初め八篇の童話と、二つの童話劇とを集めたもの。殆ど全部が空想的なものである。従つて神經質な兒童には讀ませぬがよい。それと同時に、想像力の乏しい兒童には之を導く一助ともなるであらう。卷頭蟻の國の外は、あまり力が入つてゐないやうに思はれる。(初等中級、童話)

- 697 輕い王女 矢口 達 譯
1 冊 四六判 215 頁 1.30 牛込區津久戸町 精華書院
世界童話名作集の第三編。輕い王女、美しい乙女と怪しい獸、三人

の王子の三篇を納めてある。軽い王女以外の二篇は、みちかいもので附録のやうな観がある。第一と第三の話は魔法使の話で、それが悪行の結果魔力を失ふとか、亡びるとかいふ結びになつてゐて、邪は正に勝たずといふやうな寓意が見えてゐる。第二の話は親切な獣の話で、一寸筋は變つてゐるが、何れも空想的なお伽物である。文は平易ですらりとしてゐる。(初等中級、童話)

698 少女美談 熊田葦城著

1冊 四六判 234頁 1.50 京橋區南紺屋町 實業之日本社

二歳以上十六歳以下の少女の善行美談を収めたもの。別に年齢不詳のものを加へて全部九十七篇、いづれも面白い讀物である。但し文章が少し難解だ。その上取材が何れも異常な事柄であり、且時代も違ふから、子供が直ちに取つて手本とすることはできない。従つて家庭の長者が讀んで語りきかせるものとして適當であらう。年齢で彙類排列してある事などは、教育者が讀んで兒童の心理推移の考察に資する事ができようと思ふ。(中等初級以上、物語)

699 少年美談 熊田葦城著

1冊 四六判 360頁 2.00 實業之日本社

前記少女美談の姉妹篇。専ら十六歳以下の少年の善行美事を蒐録し一歳から十六歳まですべて百九十五篇。それぞれに面白い。十六歳の部からは材料も豊富になり、その記事も光彩を増して来るやうに見える。他は前評に準ずる。(初等上級以上、物語)

700 女學校時代 沼田笠峰著

1冊 菊判半裁 365頁 1.70 洛陽堂

著者の「手帳の中より」から大部分の材料を採り、更に多少の新作を加へて改訂出版したもの。「學校の花」以下八十篇の短い文を集めたもので、文學すきな女學生の作文でも見るやうな氣がする。深い思索とか強い感激とかいふものは少しも認められないが、軽い讀物として薦めてよからう。(中等、隨筆)

701 漫畫展覽會 漫畫會同人著

1冊 四六判 130頁 0.50 日本橋區鐵砲町六 磯部甲陽堂

山田、岡本、近藤、小川、服部、清水、池部、在田、小林の所謂漫

畫同人が、各々得意な漫畫を描いて、それに滑稽な文を加へたもの。「親の光金の光」「ボロ着て歸郷するまで」を始め八つの題材、何れも中學生の弱點を巧みにつかまへて寸鐵骨をさす。銷夏の候寝ころんで讀む種類のものであるが、毒にはならず相當に藥もあるやうに思はれる。中學下級生では讀んで茶目風を増長させるやうな事があるかも知れぬが、上級の生徒にはたしかに無邪氣な娛樂的讀物である。(中等中級以上、漫畫)

702 珍太郎日記 佐々木邦著

1冊 菊判半裁 340頁 1.50 日本橋區檜物町 弘學館

少年珍太郎を主人公として、その家庭生活を日記體で書いた小説。滑稽もあり諷刺もあり皮肉もあつて、漱石の猫にあやかつたところがあるやうな作である。上品度を缺くが無駄に費す時間をこんなもので慰めたらよからうといふ程度のもの。(中等、小説)

703 大國難に面して 長島隆二著

1冊 四六判 331頁 2.70 神田區錦町二の三 人文書院

米國、支那、シベリヤ、社會主義、過激思想。我が國の現状は政治上にも經濟上にも思想上にも、危険と混亂との渦の中に立つてゐる有様である。著者の所謂大國難に面してゐるのである。この境地にある日本最近の政治と議會と外交とを痛烈に眞摯に論難し、國民的政治の黎明が一日も早く輝かんことを翹望したのが本書の精神である。内容は政戰大觀、舊勢力の廢墟に立ちて、世界的暴風の襲來に面する日本世界的平和と日本の使命、政戰後記の五章から成つてゐる。(大人、思想)

704 野聖桃水 宮崎安右衛門著

1冊 大和綴 68枚 1.50 京都市下珠數屋町 丁字屋

曹洞宗の高僧桃水の傳記。此の書の主な部分は面山和尚の桃水和尚傳贊である。文は必ずしも今日に喜ばれる形式のものではないが、桃水和尚に心から私淑した人の書いたものだけあつて、桃水の野聖ぶりを發揮して十分な趣がある。和尚の行狀は、權利の主張、利害の打算以外多く考へることの出來ぬ現代の吾々にとつて、一服の清涼劑たるを失はない。(大人、傳記)

705 私の電車觀及汽車觀

三宅恒方 著

1冊 菊判半裁 176頁 0.85 京橋區南傳馬町二の六 春陽堂

博物學者たる博士が、その専門たる生物學的見地から人間の諸相を傍觀して、折にふれちよいちよいと書いた短文(電車觀三十一篇、汽車觀十七篇、最後に汽船觀一篇)を集めたもの。その諸相を傍觀するに最も都合のよい電車及び汽車内でやつたといふ所から書名が生れてゐる。笑はせられるものや、なるほどと背かれるものや、とりどりで一寸面白い。肩のこらぬ讀物。(大人、隨筆)

706 人間禮拜

興謝野晶子 著

1冊 四六判 346頁 2.60 麴町區飯田町一の二 天祐社

著者の感想集の第十篇で、主として大正九年中の執筆にかゝるもの批評あり、論說あり、主張あり、紀行あり、凡て五十二篇。擒はれずと思ひきつた鮮かな書きぶりをしてゐる所に著者の天分が示されてゐる。(大人、隨筆)

707 ヘボ胡瓜

岡本一平 著

1冊 四六判 234頁 2.00 本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會

漫畫と漫文で全篇をなしたもの。所謂漫畫氣分を漲らしてゐるが、どこかに眞摯な嚴肅なところもあつて、讀後襟を正すやうな心持を起させられる。全篇著者生ひ立ちを叙したものとも見られ、著者を中心としていろいろな人物が出て来る。それを著者は凡て漫畫的に眺めて書いてゐるが、その中には人を酔はすに足る笑と涙とが包まれてゐる好著である。(大人、漫畫)

708 十二夜

坪内逍遙 譯

1冊 四六判 214頁 2.50 牛込區 早稻田大學出版部

セキスピヤの喜劇トウエルヴス・ナイトの譯。沙翁學者にして劇文學通、而も脚本に才筆を有する博士の譯だけあつて、むづかしいかけ言葉などを自在に譯出してゐるところは敬服すべきである。(大人、戯曲)

第 26 回 (大正十年七月二十九日)

709 日本神話 上卷

森林太郎 外三氏 撰

四六判 215頁 1.80

神田區錦町三 培風館

さきに出版された日本童話の姉妹篇で、材料の選擇も文章の形式もよほど念を入れたもの。小學低學年兒童にとつて、好個の讀物である(初等初級、童話)

710 小猫の鈴

葛原シゲル 著

1冊 四六判半裁 100頁 0.80 神田區表神保町四 文正堂

小猫の鈴以下六十三篇、何れも著者近作の童謡を集めたもので清新な作が少くない。中でも「小猫の鈴」、「鐘」、「山に降る雨」、「秋が來た」、「水溜」、「伊勢蝦」等は詩情の豊富な作であるが、子供の喜ぶのは「朝顔」、「鸚鵡」、「菱餅」、「お玉じやくし」、「しやぼん玉」等であらう。(初等、童話)

711 中學生の黄金生活

平澤金之助 著

1冊 四六判 370頁 2.00 神田區裏神保町 富山房

中學生の爲に、眞面目に中學生活を考察して書いたもの、學校の内容、勉強法、修養法、野外運動等を初め、外國の學校の大體の模様など、中學生の心得となるべき事を親切に網羅して居る。(中等、修養)

712 家庭に於ける新婦人

村上寛 著

1冊 四六判 386頁 3.50 京橋區南鍋町 隆文館

大阪朝日の記者たる著者が地方を巡回講演した婦人に關する講演をまとめたもの。書名には「家庭に於ける」と冠してあるが、内容は廣く社會上の婦人についても論じてある。婦人の力を向上させ、その人格を高めて、新時代に適應した婦人を得ようといふ理想のもとに説かれたものである。(大人、修養)

713 デラムエル・ブース

山室軍平 著

1冊 四六判 411頁 1.50 神田區一橋通町 救世軍出版部

救世軍總司令官たるデラムエル・ブースを中心として、その父なる救世軍創立者ウィリアム・ブース大將、及びその周圍の人々の宗教的奮闘の事蹟を述べたものである。記述はやゝ冗漫の嫌があるけれども、文章平易で何人にもたやすく讀まれるやうに書き下してある。かういふ博愛的精神と奮闘的社會事業とを廣く紹介することが現時の我が國情に照して有意義なものと思はれる。(大人、傳記)

714 若返り健康法

佐藤壽 著

1 冊 三五判 396 頁 1.50 麴町區麴町三 日本書院

生命に関する諸種の學說經驗等に基づいて、保健長壽の方法を説いたもので、一般的衛生書として適當なものである。唯餘りに消極的に傾いて、積極的體力増進の方面を排する傾向のあるのは遺憾に思はれる。文章も通俗としては今少し平易であつてほしい。(大人、體育)

715 獨立者の宣言 曉 鳥 敏 著

1 冊 四六判 424 頁 2.50 京都市下珠數屋町 丁字屋

大正五年の末から九年の秋までの間に雑誌「汎濫」や「精野界」やに公にした隨筆を集めたものである。「人に頼らず、神佛に依らず、運命を恐れず、周圍に束縛せられぬやうに育つた自由の人の魂の叫と姿とを描き出したもの」と著者自ら言つてゐる。(大人、思想)

716 兩性問題大觀 島 村 民 藏 著

1 冊 四六判 321 頁 2.50 芝區三田二の一 國文堂

泰西の文豪や思想家の作品中に現はれた該問題に対する意見や主張を集めたもの。著者は單なる他説の集成ではないといつてゐるが、その主観は餘り鮮明には示されてゐないやうである。(大人、思想)

717 私どもの主張 有島、森本、吉野共著

1 冊 四六判 310 頁 2.00 京橋區尾張町 文化生活研究會

有島武郎、森本厚吉、吉野作造の三氏が、文化生活研究會の事業として、各自の意見を講演したものの筆記である。時代に應ずる文化的生活をなさんとするにはどういふ事を考へ、どういふ方法をとつて行かねばならぬものかといふ事を述べたもので、その所論は必ずしも直ちに採つて實行し得べきもののみではないが、因襲の殻を脱して目覺めた生活に入らうと望む現代人にとつて、力強い指導と暗示とを與へる。文も平易で至極面白く讀まれる。(大人、思想)

718 軍備制限論 尾 崎 行 雄 著

1 冊 四六判 246 頁 1.50 神田區錦町三の八 紀山堂

世界の大問題たる軍備制限に關し、英米と協議するの提唱について著者が述べた所を、内田文廣氏が編んだ物である。體裁は尾崎氏の意見を細かに紹介して、それに對する世評、統計等を集め大にこの運動を宣傳したものである。目次のないこと、行文が少しくだしくぎ

ごちない節のあるのは遺憾である。(大人、政治)

719 日本から日本へ 徳富健次郎・愛共著

2 冊 四六判 東の巻 618 頁 西の巻 454 頁 各 5.00

日本橋區大傳馬鹽町一 金尾文淵堂

横書式だからかういふ組み方の本を讀んだ事のない者にとつては頗る讀みづらいが、とにかく思ひ切つて横書式のかうした讀物を提供してくれた事を嬉しく思ふ。内容は別に目新しい事もない。世界一週紀行で、文章も特別の苦心推敲を経たものとは見えぬ書き放しものである。自分が書けば賣れるといふ自信を持つてゐる著者が、毎日たんねんにつけておいた日記を、そのまま公にしたものと評して誤りなからう。(大人、紀行)

第 27 回 (大正十年九月二十日)

720 兎の電報 北 原 白 秋 著

1 冊 四六判 121 頁 1.90 小石川區表町一〇九 アルス

三十六の童謡を集め、初山、矢部兩氏の挿繪三十六を挿み、緋繻子に金文字の美しい表紙、口繪挿繪に三色版を五つも入れた美しい本。従つて定價も高く贅澤な本。童謡の材料も暖かな布團にくるまつて天國の夢でも見てゐるやうなものばかり。「離れ小島の」「今夜のお月様」など、詩趣の豊富なものと思ふが、子供の心理にびつたりしない。眞に子供と思はれるのは巻頭の「兎の電報」や「とんからこ」くらゐのもの、他は大人の頭で子供の國をのぞいてゐるやうな感がある。挿繪も、大人の趣味で描いてある。「肩ぐるま」の挿繪の如きは、まいまいつぶろを明瞭に表はした滑稽味のあるものの方が、遙かに子供に喜ばれると思ふ。(初等中級以上、童謡)

721 都に憧がれて 天 野 藤 男 著

1 冊 菊判半裁 124 頁 1.30 神田區美土代町三の十四 親愛社

著者が、活動寫眞に採らせる爲に仕組んだ小説で、田園の一少女が都に憧れて上京し、意外な悲しい境遇にあつて、さて歸郷して見ると、やはり眞實の幸福は野にあつたと思つて喜ぶといふ筋のもので、文章もすらすらと面白く讀める。ただ本書の目的からいへば總ルビにした

方がよかつた。定價は書物のすべてから見て高すぎる。(中等、大人小説)

722 大正新立志傳 爲 藤五郎 著

1 冊 四六判 210 頁 1.30 本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會

嘗て雑誌「中學世界」に連載されて讀者に多大の感化を與へたもの。未知數を残して現代に活躍してゐる二十名士が少壯時代の奮闘生活を巧みに叙したもので、材料もよく、文章も面白く、なかなか讀者の心を引付ける。青年の讀物として、讀者を感奮興起せしめるものが多い。(中等以上、傳記)

723 懺悔の生活 西田天香 著

1 冊 四六判 408 頁 2.50 麴町區内山下町 春秋社

著者は報酬を得んが爲に働くべからず、報酬などは全然念頭におかず、我を無にして働け、かくすれば楽しく生きる事ができるといふ信念のもとに自ら之を實行してゐる人である。此の本はその演説したのもをもととして編述され、讀者に清く強い感動を與へる點が多い。義務を忘れて權利のみを主張せんとする現代に於て特に推奨したく思ふ。(中等以上、修養)

第 28 回 (大正十年十一月二十一日)

724 東宮御外遊記 鷺尾浩 著

1 冊 四六判 242 頁 2.20 日本橋區本銀町二の八 冬夏社

平易に面白く書いてある。所々に地理的説明を加へたのも、少年の自習讀物としてはよい趣向である。挿繪が多く装幀もかなり美しいが定價はちと高すぎる。(初等上級以上、紀行)

725 尋常小學自習讀本 三四年の巻 玉井幸助 著

1 冊 菊判 246 頁 1.30 京橋區南紺屋町 實業之日本社

先に出版された「五六年の巻」の姉妹篇である。材料も面白く文章もよほど練つてある。殊に小學讀本の程度に準據し、かつ難語句に註解をつけてある點は、小學兒童の讀物として最もふさはしい。(初等中級、讀本)

726 日の出づるまで 茅野雅子 著

1 冊 四六判 238 頁 1.50 小石川區戸崎町九〇 創文社

母と子叢書の第四篇。少年少女長篇讀物と銘を打ち、十四五歳の少女を主人公として、その家庭のいきさつに小さな胸を痛めるといふ少女向の小説。これといふ程感心すべき點もないが、平易流暢な文ですらりと書いてある。(中等初級、小説)

727 佛蘭西印象記 吉江孤雁 著

1 冊 四六判 292 頁 2.20 牛込區津久戸町六 精華書院

著者がフランスに遊學して居た時の印象記である。第一には戦時から戦勝までのパリの生活を、第二には主として藝術上の印象を、第三には海洋航海中の経験をあつめてある。文章もよく内容もかなり面白い。(中等上級以上、隨筆)

728 女 山田わか 譯

1 冊 四六判 460 頁 2.80 麴町區平河町 耕文堂

マダレン・マルクスの原著。若い女を主人公として、女の赤裸々な自由なそして眞實な性情を表はさうとした思想小説である。女性問題に關して讀者にかなり豊富な暗示を與へる。譯文に今少し生彩があつたらばと惜しく思はれる。(大人、小説)

729 山上の展望 下田將美 著

1 冊 四六判 600 頁 3.50 牛込區市谷田町一の十六 昭文堂

大正八年から十年までロンドンを根據として大戰に關する評論感想を事實に基づいて叙説し、嘗て時事新報に連載したものを集録したものである。緻密な觀察と平易な文とによつて讀者を飽かしめぬ力がある。前篇は「展望せる改造の國々」、後篇は「山を下りて」と題して居る。後篇の方に一般の感興を引くものが多いかと思ふ。(大人、評論)

730 坂崎出羽守 山本有三 著

1 冊 四六判 250 頁 1.00 牛込區矢來町三 新潮社

市村座で上場されて有名になつた坂崎出羽守を初め、他の脚本一幕物二篇、三幕物一篇を集めてある。後の三篇は何れも世話物で、一は中産階級、他は労働者階級の内情を描出したもので、何れもかなり深刻に穿つた所があり、とりどりに面白く讀まれる。(大人、戯曲)